

碁經精妙

卷一

第三一五号
第一二函

79

4079

1



林元美先生著

碁經精妙

嚮小行々示の碁經衆妙乃後篇よりして右書よりいへる隅
回の換得附子の類を核合失地の中へのお込地の中は生る子
その外のいゝを糸をこのこと先生数年の勞を以てし書に傳へ
唐お法人のお碁をも合刻を以て終て變化の妙術を悉く
片々いふたまは圍碁をたしむ難を常々いへる石のかけり
をて熟覽ありはふのづから上達する人の

東都書舗

青藤閣主人謹白



碁經精妙敘

清陳祺芳有云。天下事莫難於讀書。莫
奇於用兵。餘俱平且易耳。確哉言。弈雖
云小數。殆無讀書之難。用兵之奇而有
之。奚可易而談耶。蓋弈之為物。不過三
尺之枰。兩匱白黑子。而圖書之數。陰陽
之動靜。王政帝治之象。彘乎存。少有壘
隙。輒為人所乘。照察稍不至。立致後時。



青少

三月

夫機神鬼不能揣其變化。故世有畢生
殫之乎茲。而終不入品者。其難可想也。
邛隆二百禩。文物之懿。越軼前古。於是
乎。絕藝之士。駢肩出。乃若今日。善奕人
之夥。在昔所未嘗前聞。西土康熙以還。
文藝平振。閻若璩曰。圍碁之術。後人實
勝古人四子。彼固不能望本邦國手。然
在彼若此。亦可嘉尚。弈道之盛。自他百

度之振作。可推也。已。爛柯林君。迹者著
碁經精妙。其所輯。咸從前高品。所商確
之布置。而西土國碁手談附焉。洵稱詳
博。人克諳熟斯書。隨其資之高下。夫人
可以有進益。林君之慕斯編。豈齷齪
於一藝。即所以黼黻國家昇平之盛
也。林君雖以工弈鳴。而其人則嗜學。饒
有風流。予間与之評騭。今古英杰。則卓

尔一碩儒也。訂文詩。談風月。則藹然韵
人騷士也。泊觀其与人對弈。妙著奇思。
出眾憲表。斯其人之隨時變動。不拘一
隅。足以窺其存之神化無端倪矣。
天保し未秋孟初四日

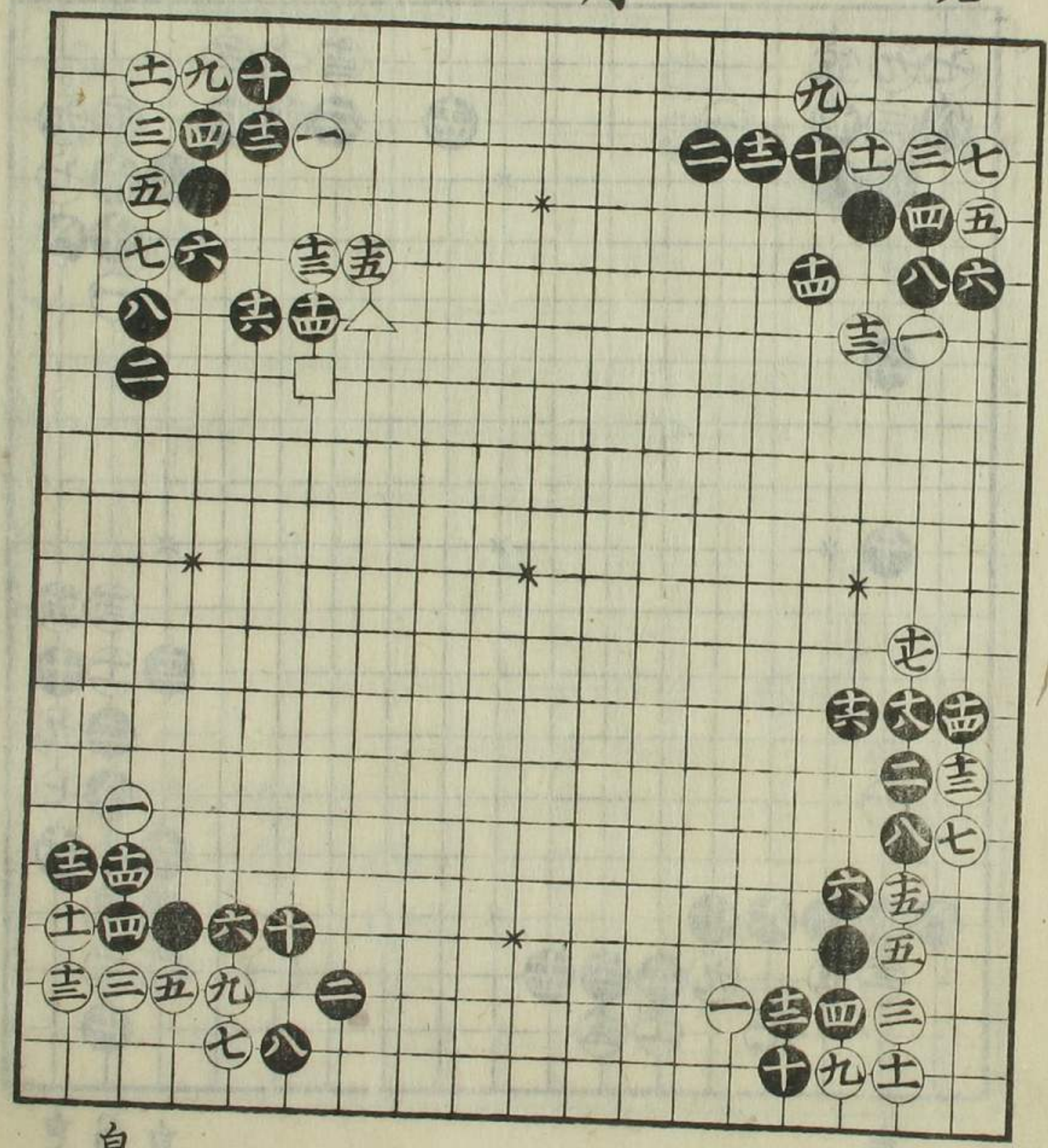
紫溟古賀煜撰



菱湖卷大任書



皂



皂先

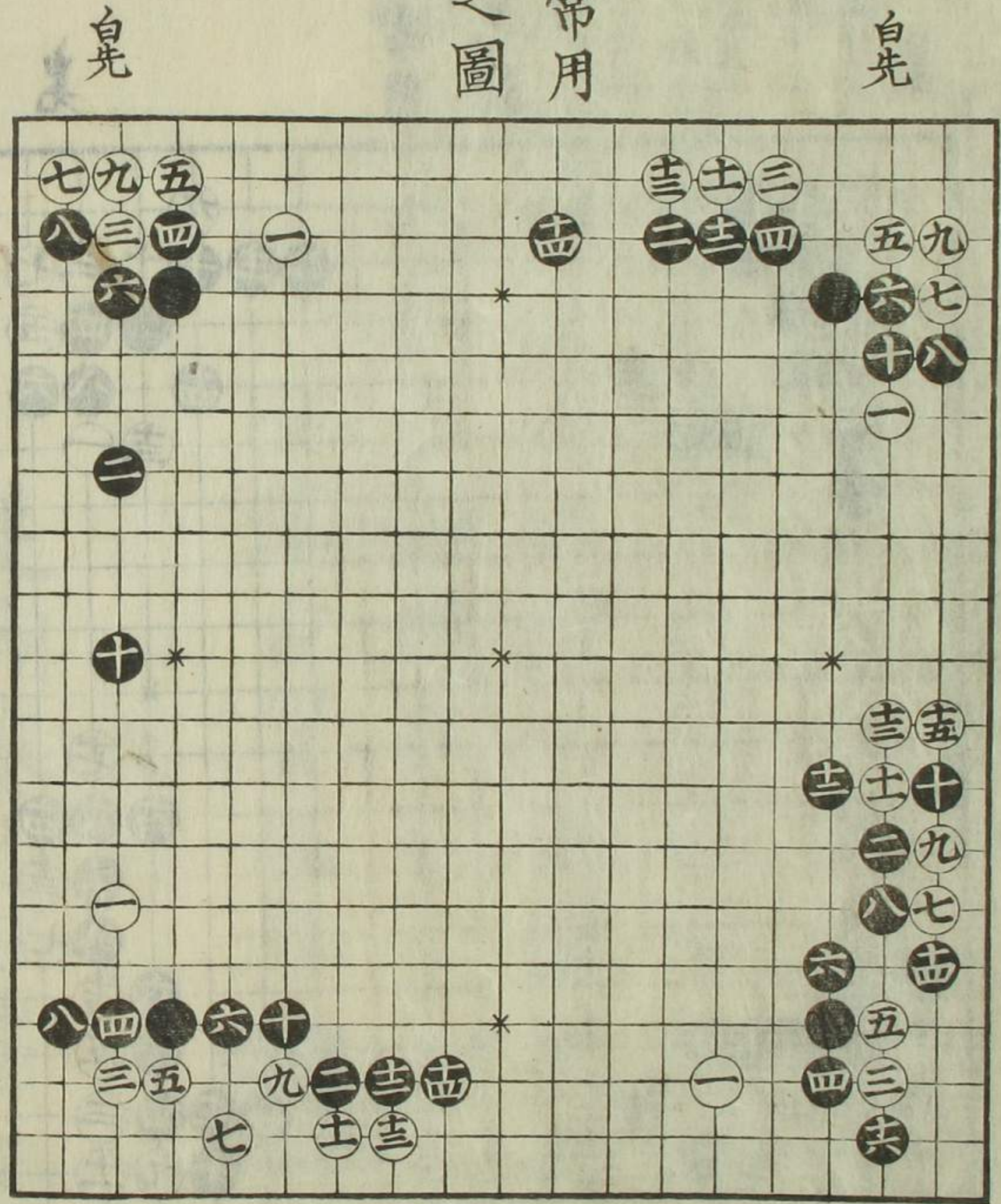
皂先

四隅常用
定石之圖

十五の手と七
印は打し時ハ
十六を□此印ハ
おちる所よ
るとちよ

精鈔卷一

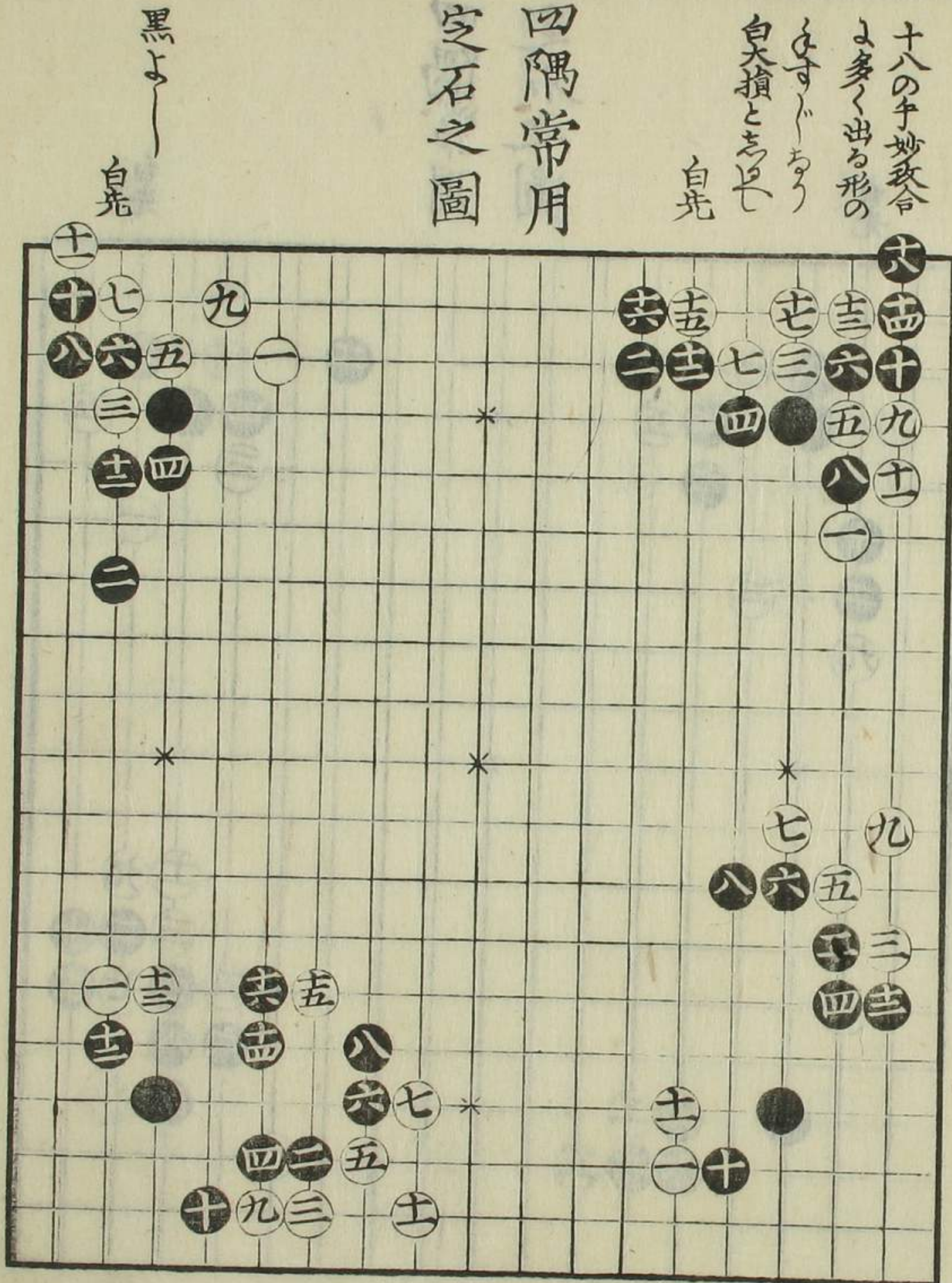
四隅常用
定石之圖



白土の多く
損なり
白先

四隅常用
定石之圖

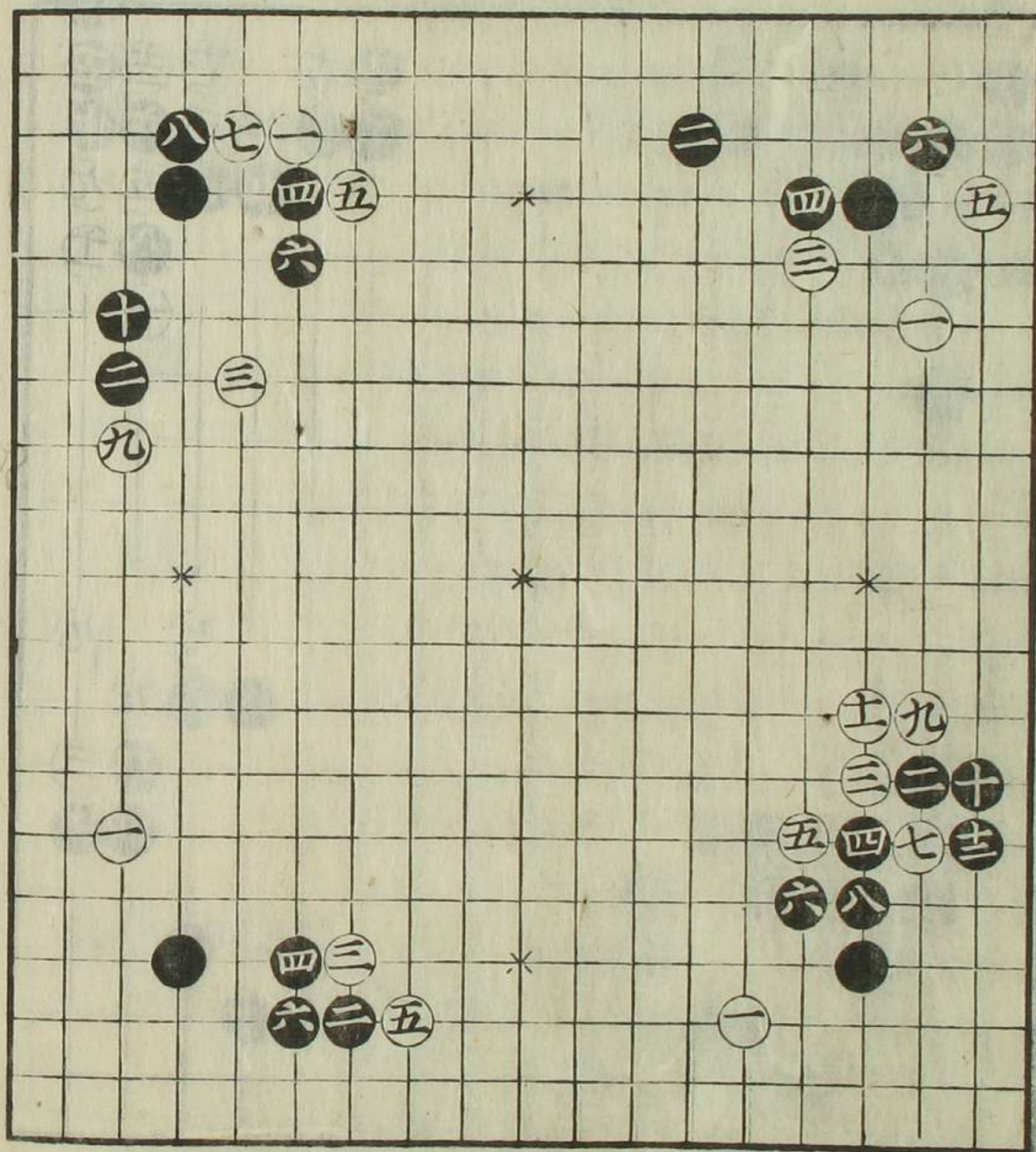
十八の手妙致合
よ多く出る形の
よすかちり
白損と云はし
白先



白先

白先

四隅常用
定石之圖



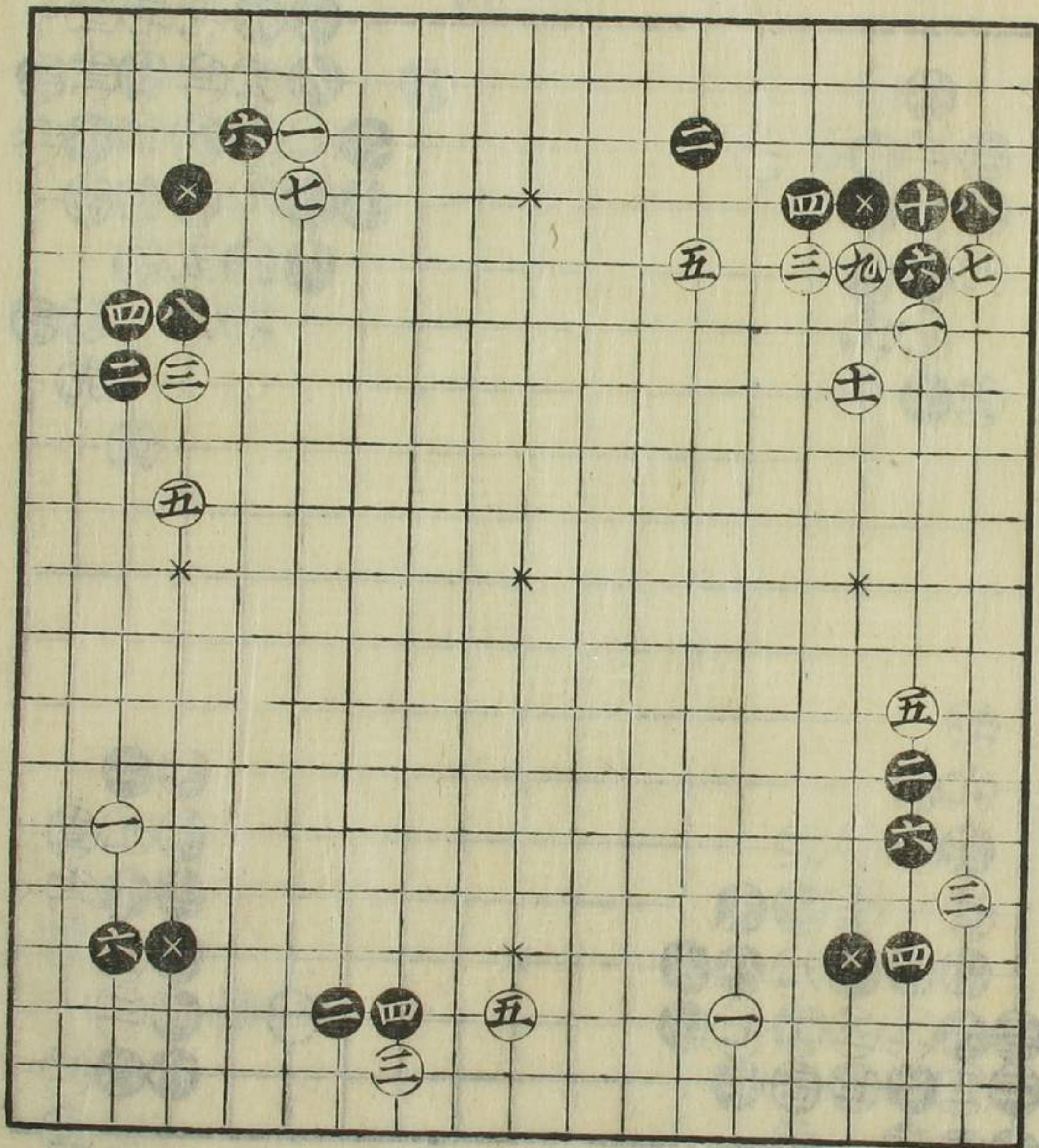
白先

白先

白先

白先

四隅常用
定石之圖



白先

白先

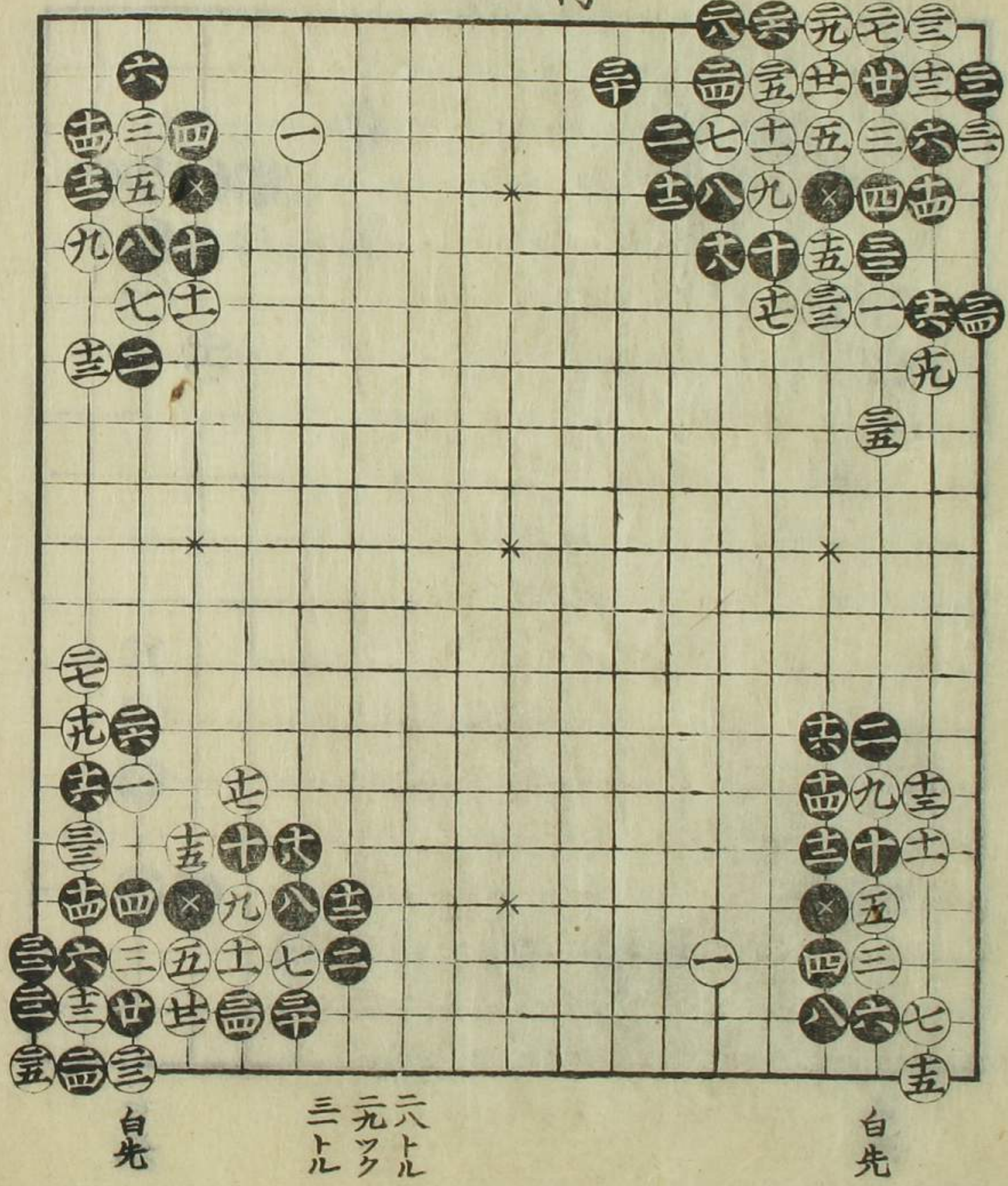
白先

白先

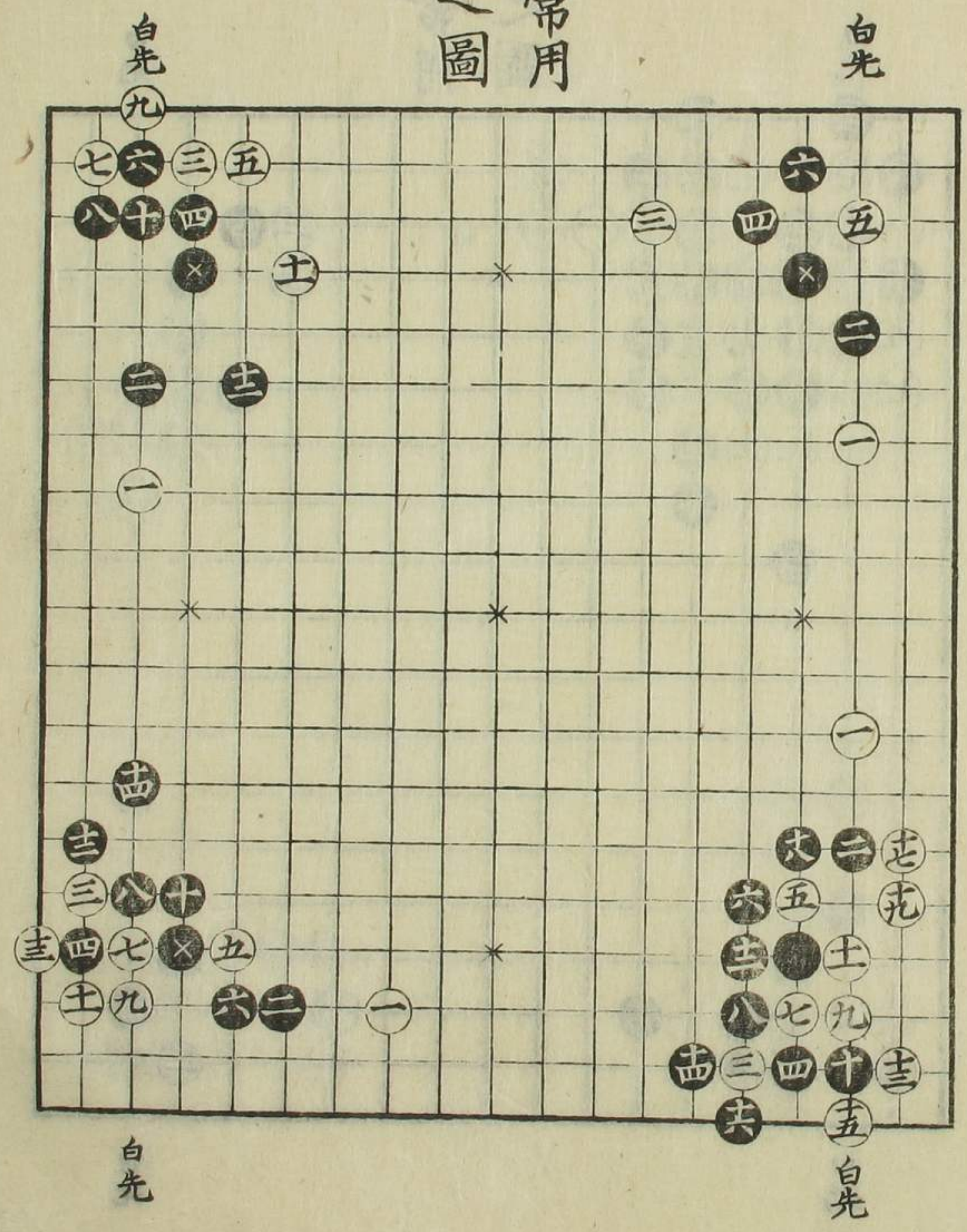
六の手取まゝ
と知る

四隅常用
定石之圖

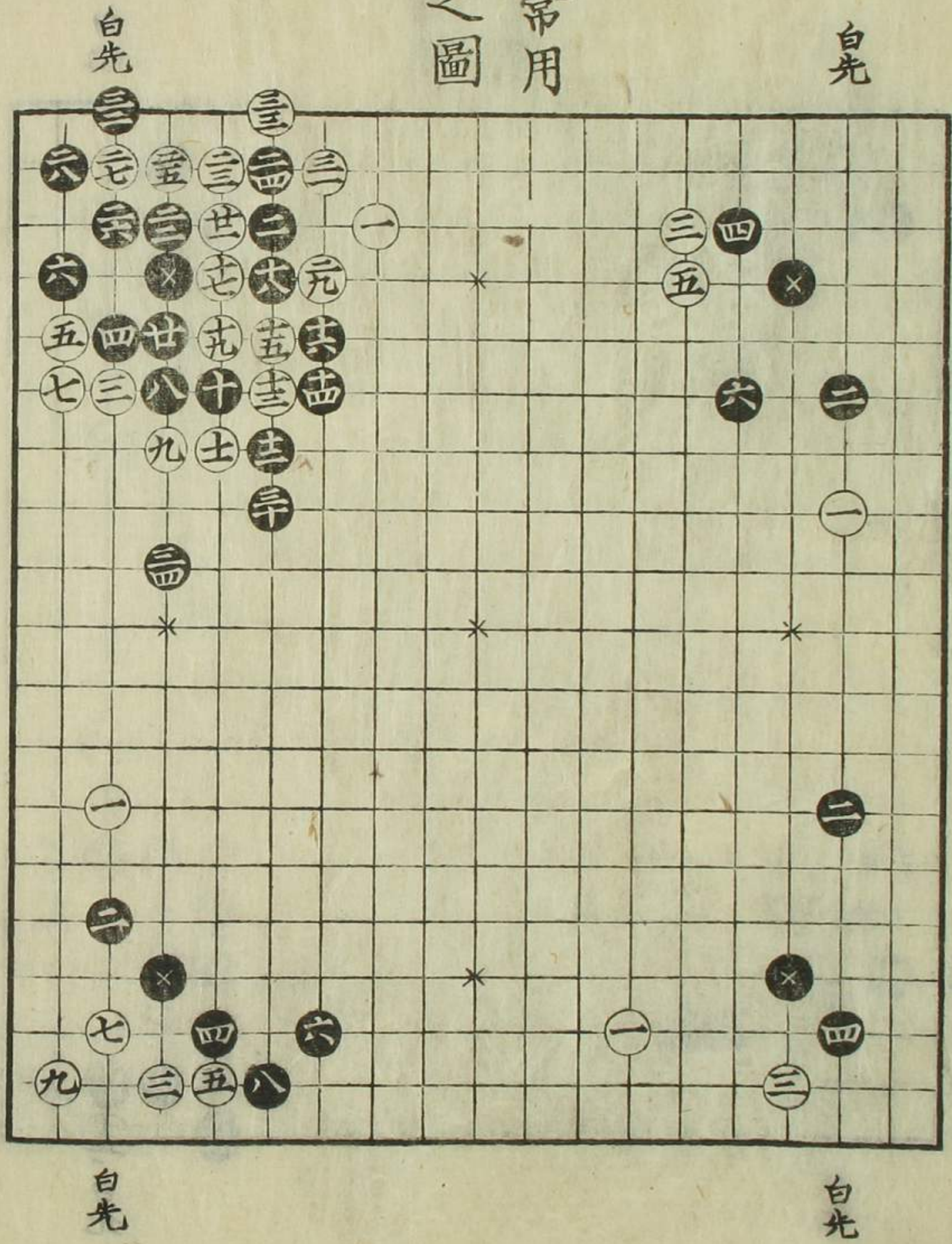
八の取り
は



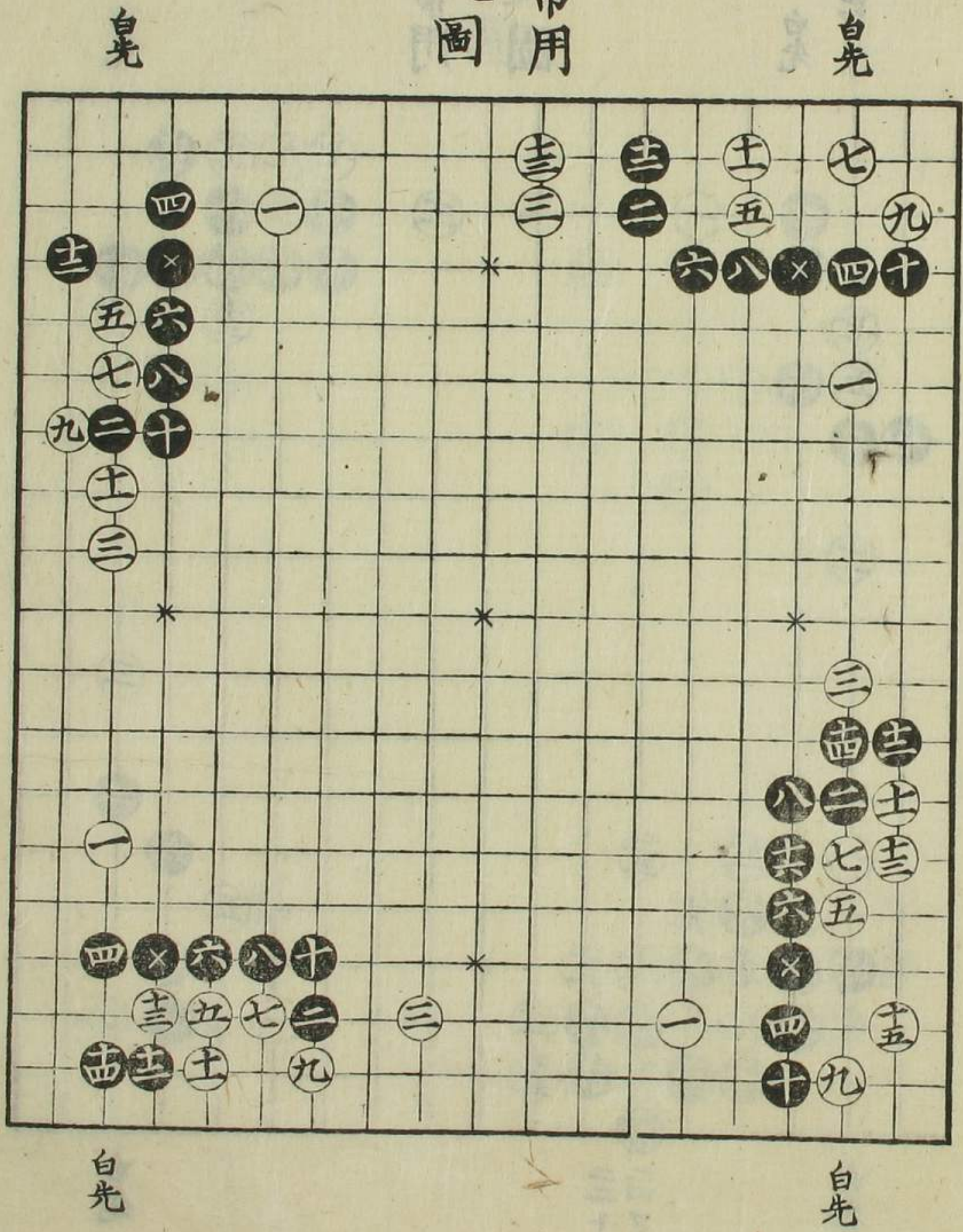
四隅常用
定石之圖



四隅常用
定石之圖

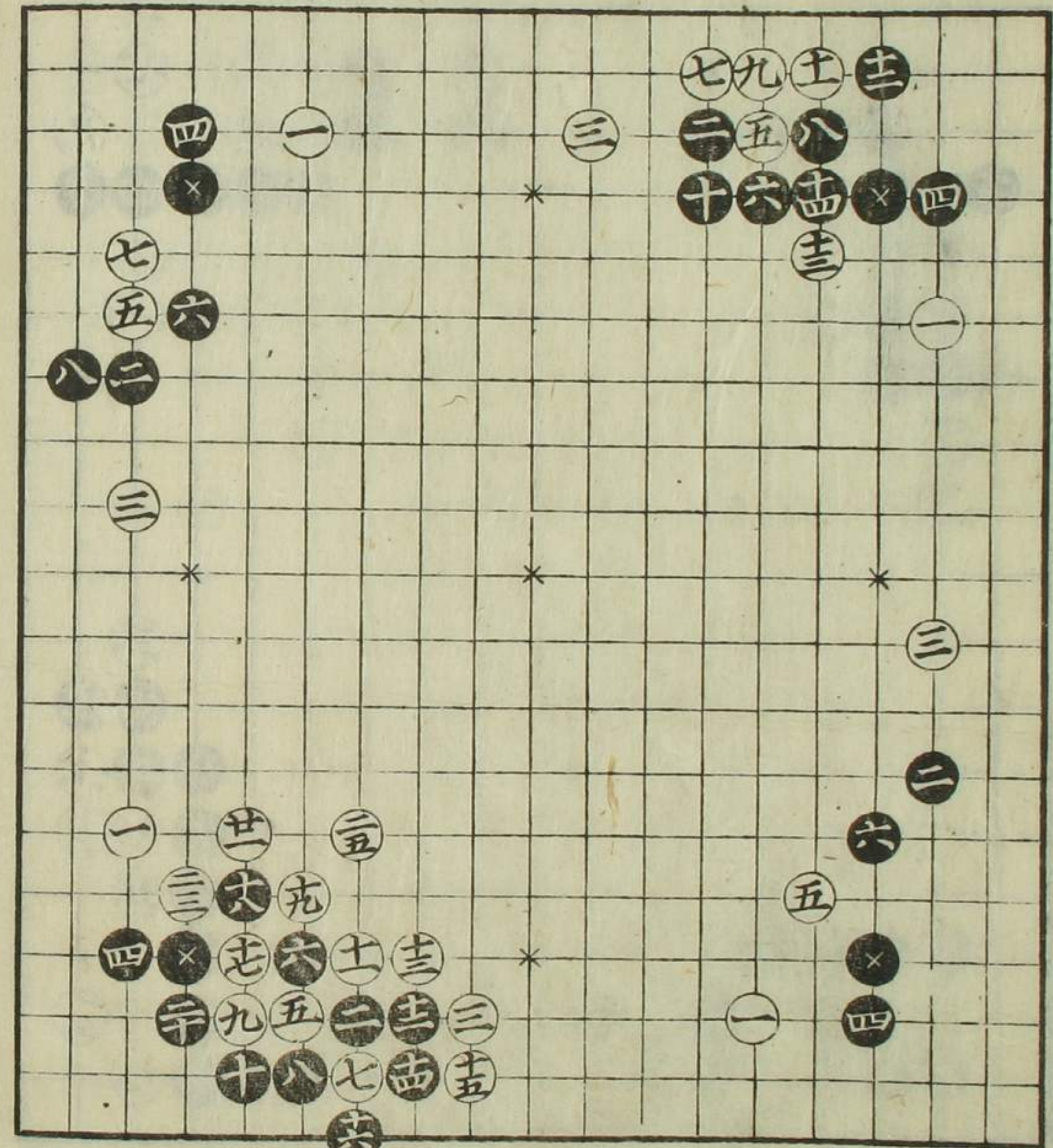


四隅常用
定石之圖



四隅常用
定石之圖

白先
白子のみ



白先

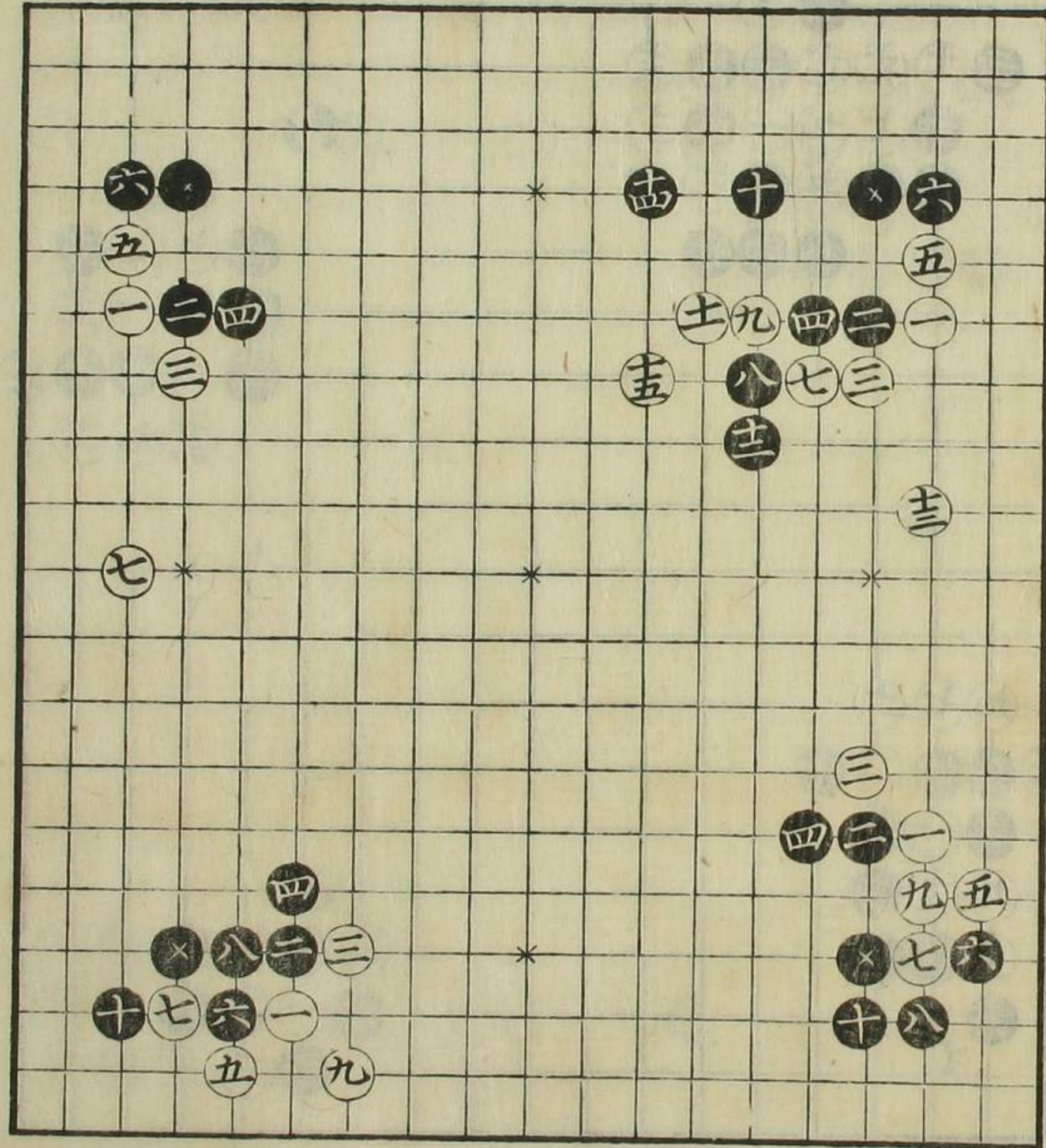
三トル
二ツク

白先

附伸之圖

白先

白先

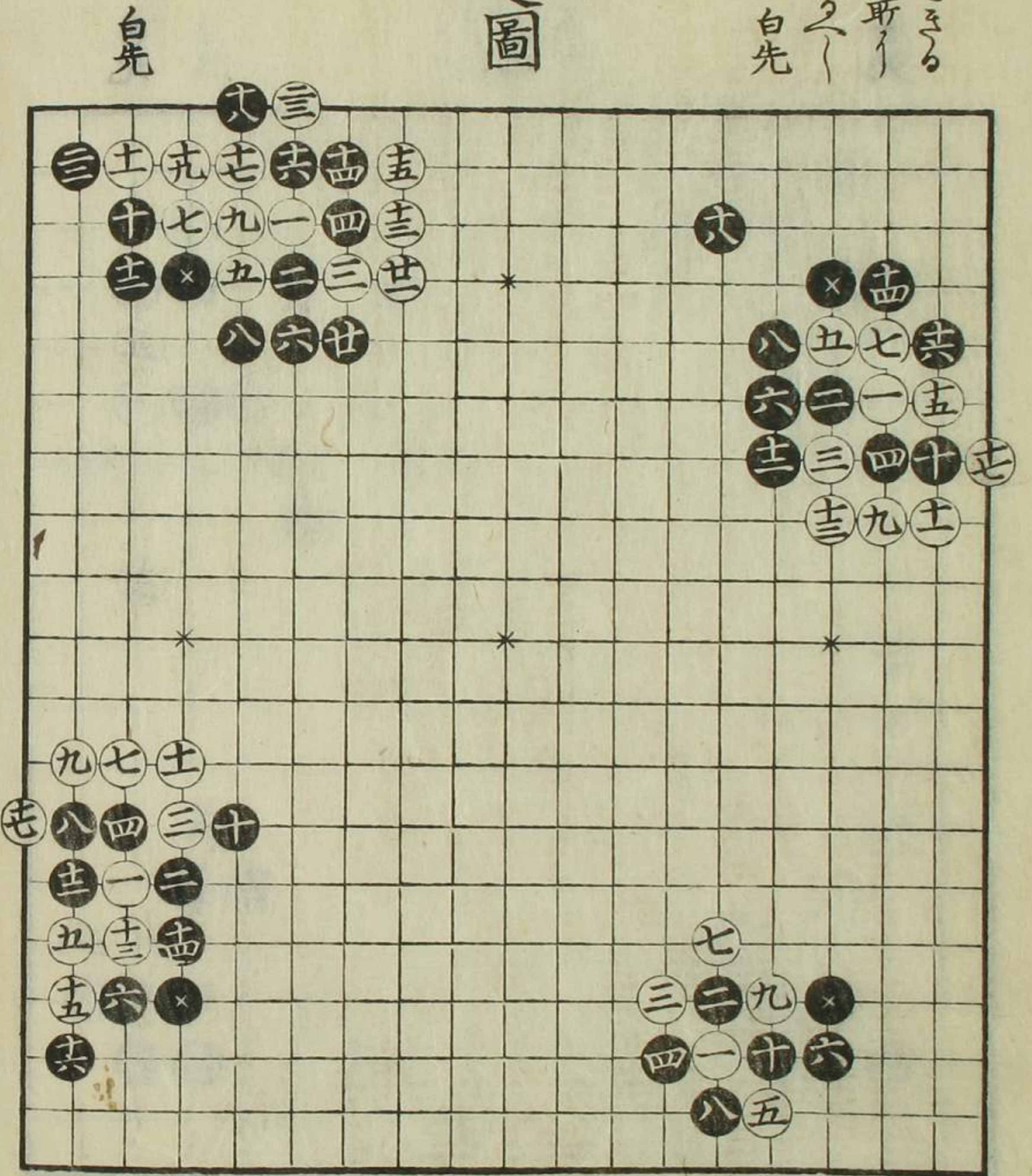


白先

白先

惣く四とさる
手損あり所
ふるとさる

附断之圖



白先

白先

白先

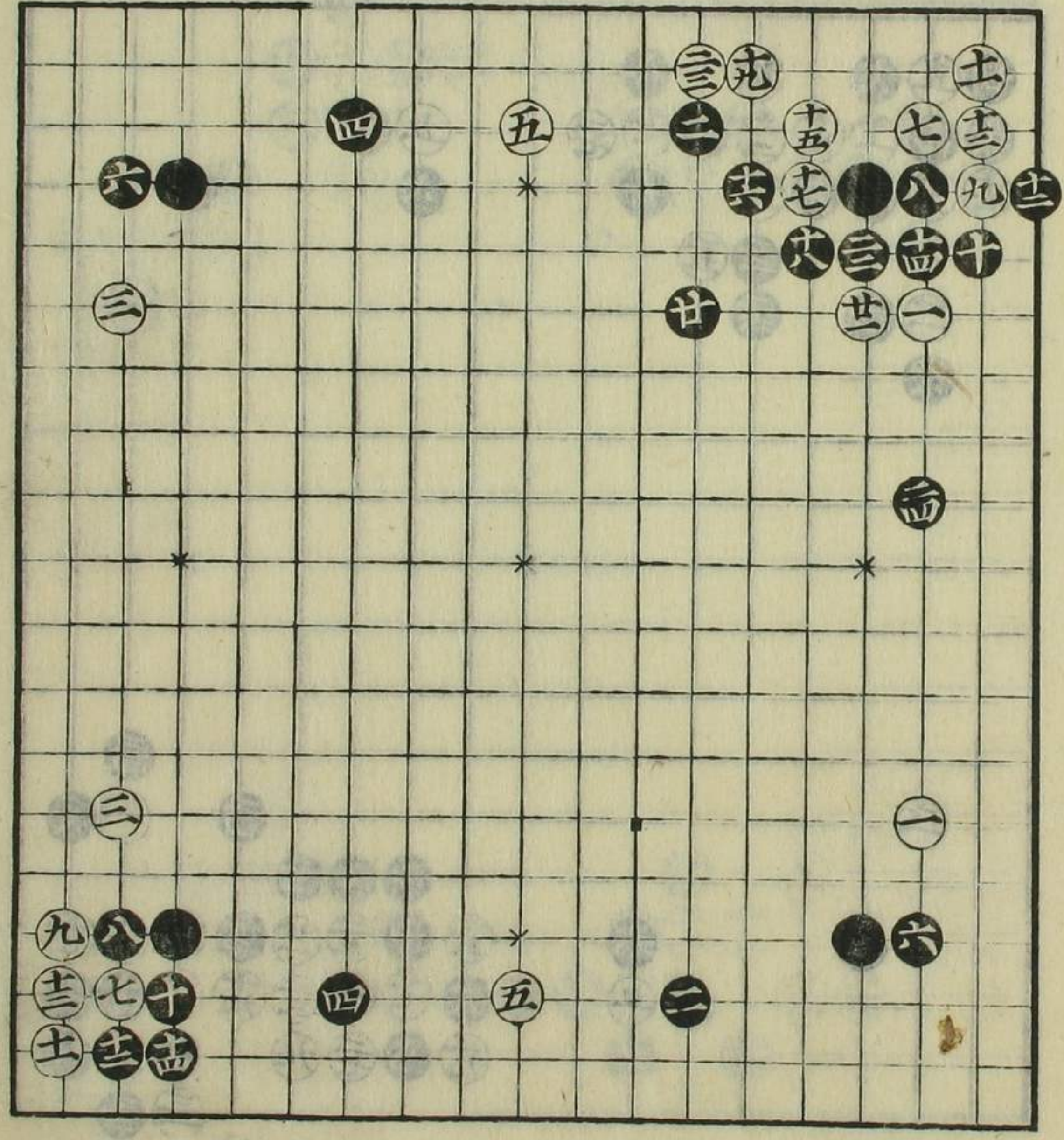
白の手あり

十六の手傳あり
廿の手あり

白先

附断之圖

五の手俗な板
割とふ

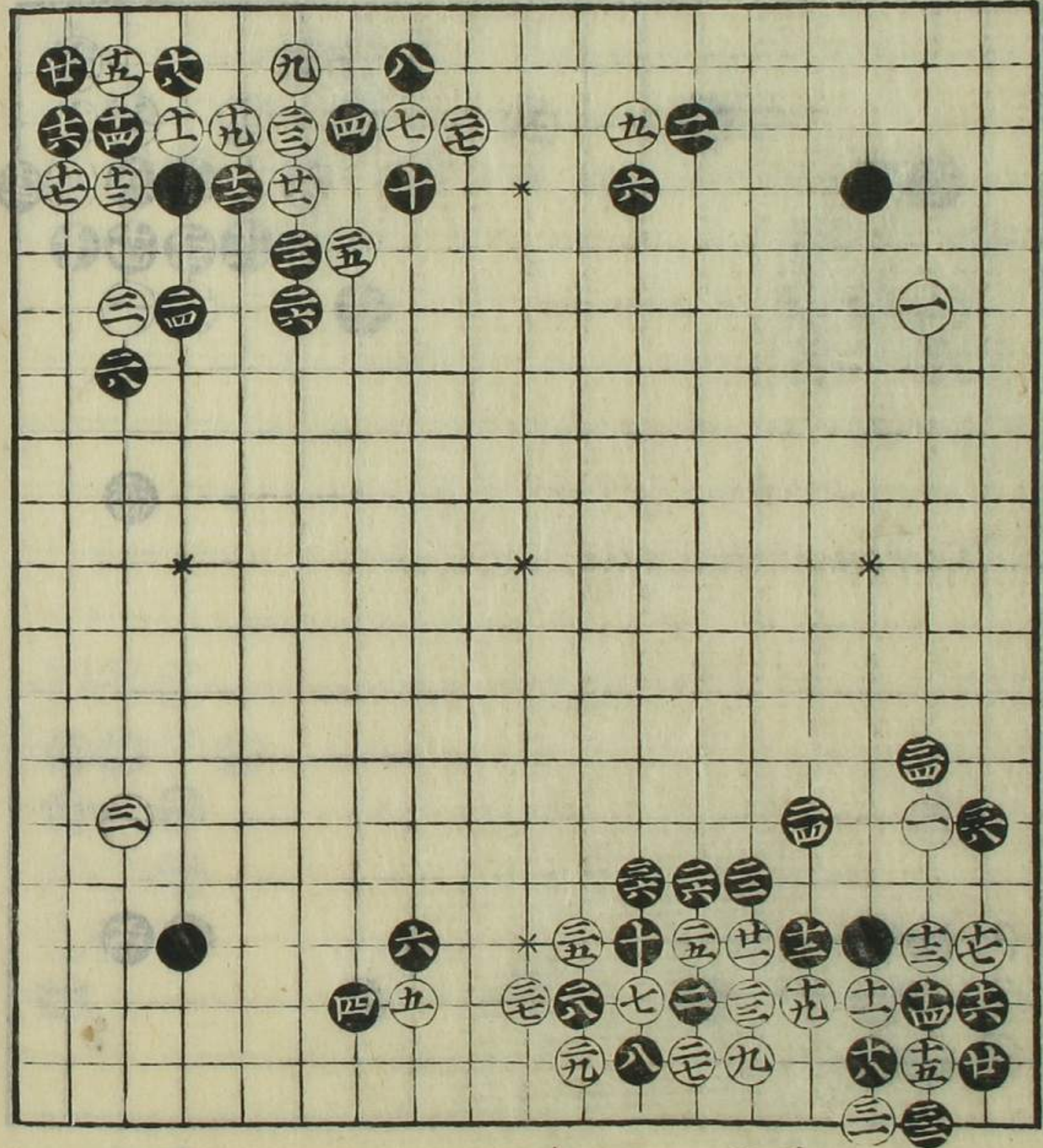


白先

兩附之圖

白先

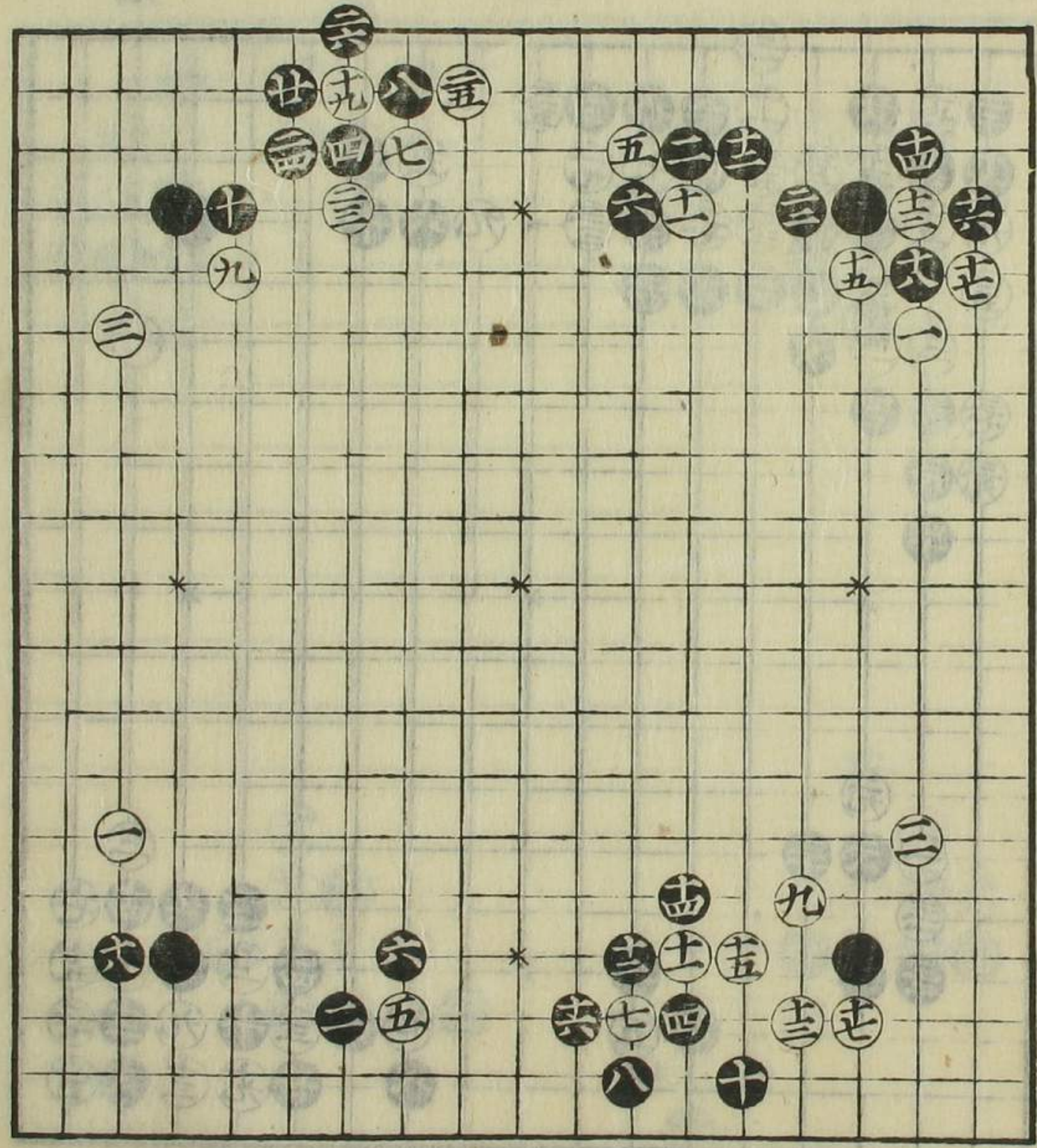
何也



白先
三十劫
三三劫

兩附之圖

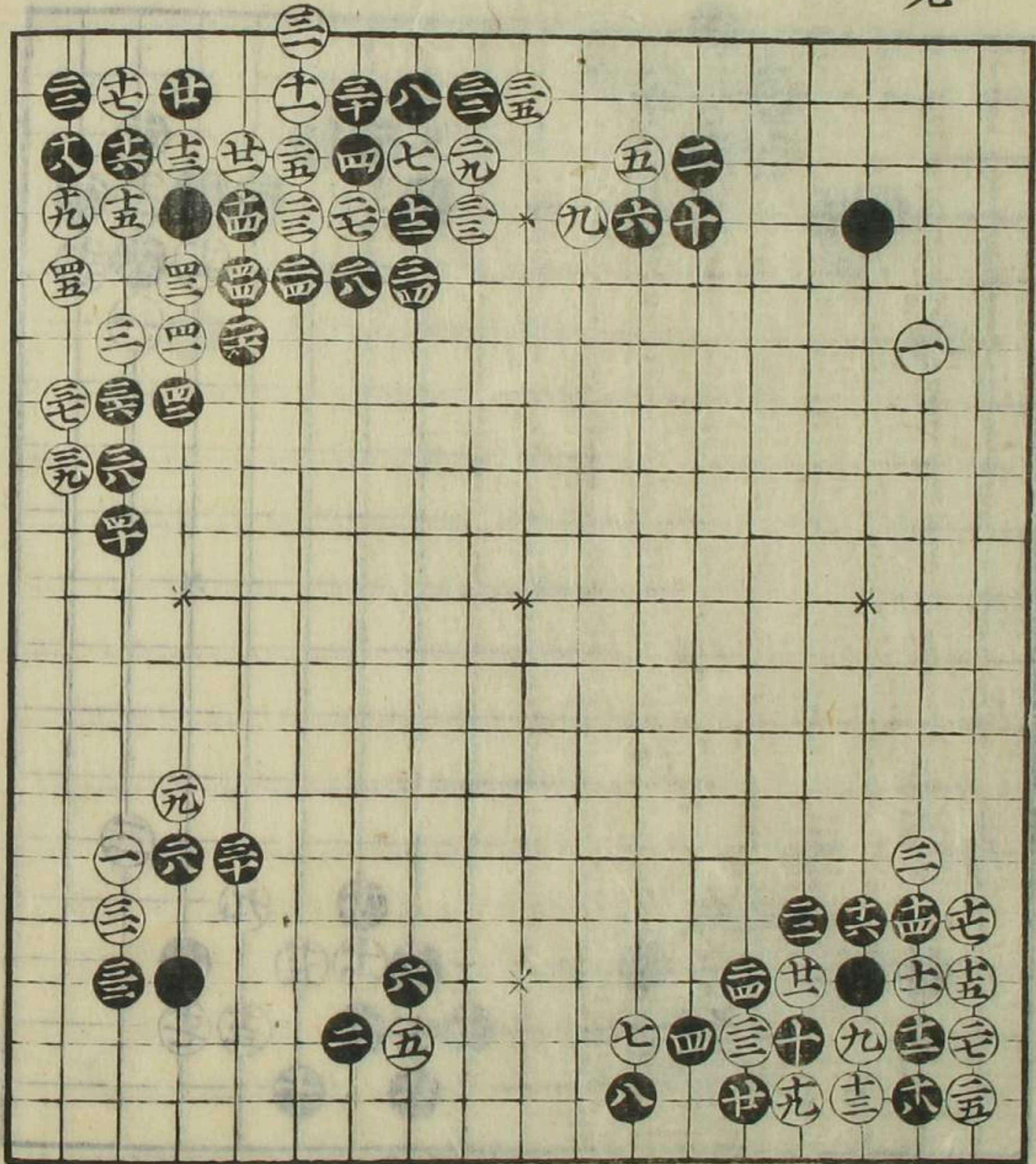
廿劫
白先



白先

西附之圖

白先



三六ト九

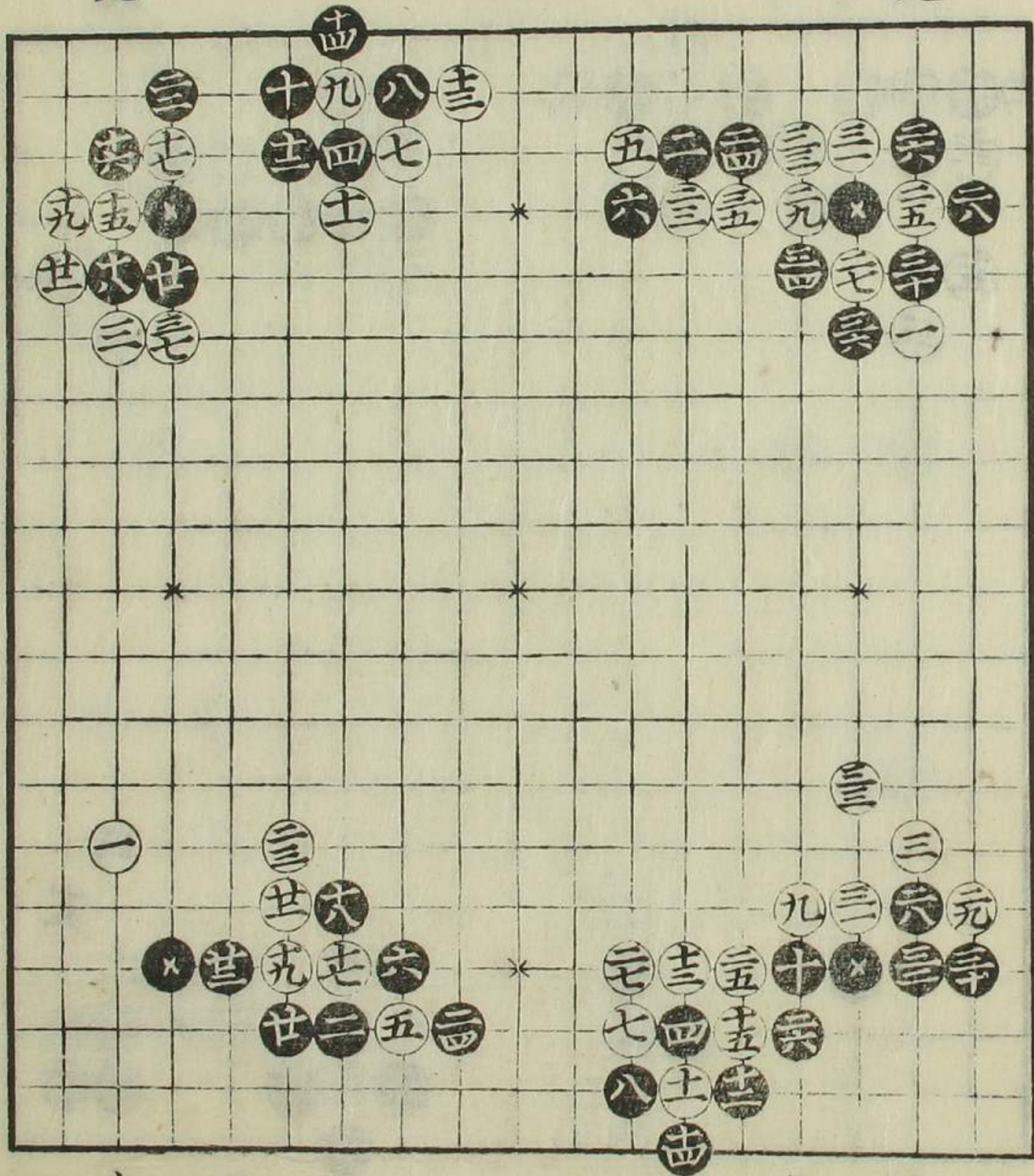
十の手吉流と
察元改より古
の定石は後
よありす

白先

三三ツク
此隅黒徳あり

西附之圖

白先



十六ツク

白先

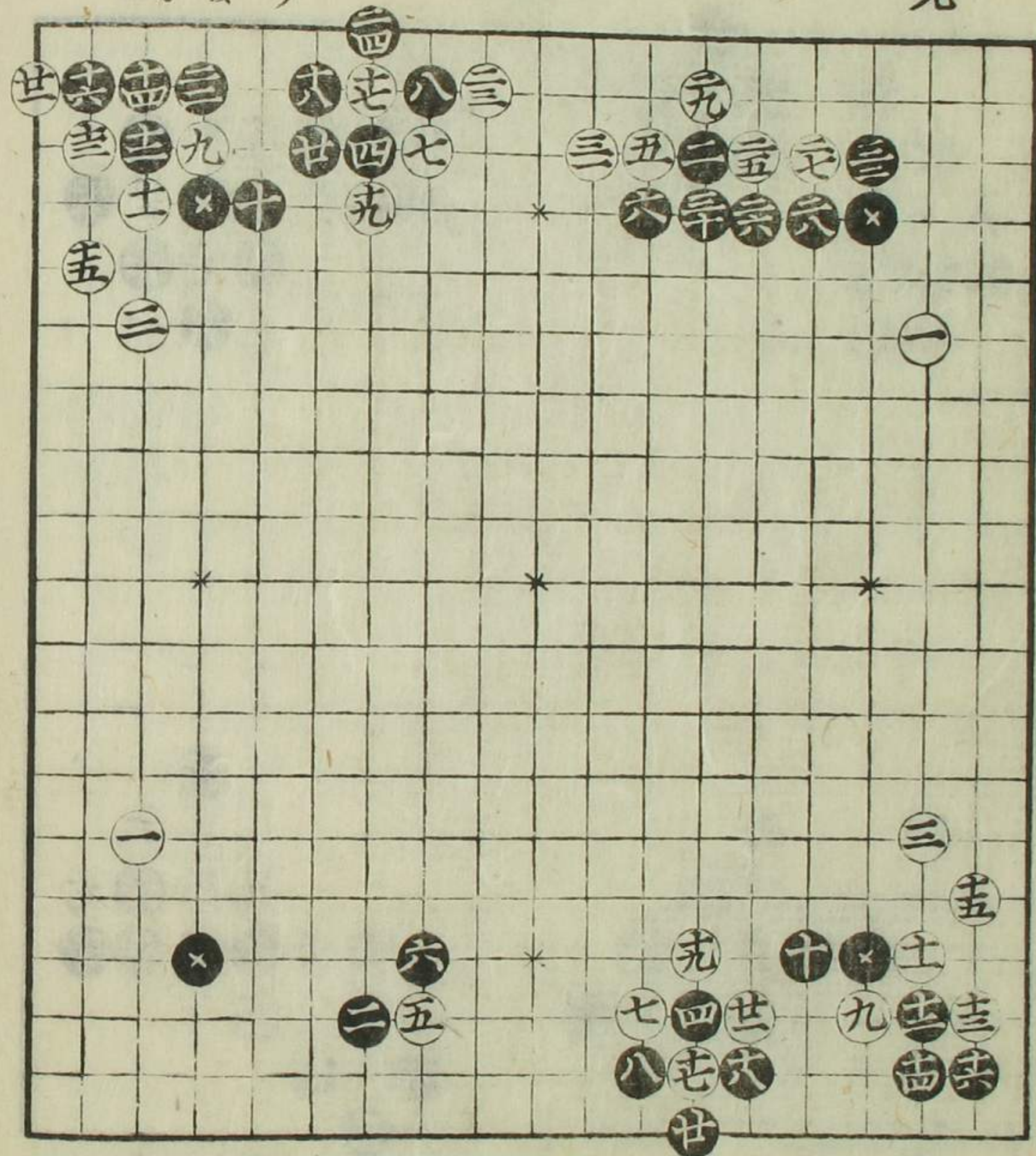
白先

兩附之圖

十の手古流形り
ころ過てあきま
り前は察元改まる
は随ふ

白先

白先



白先

二ニツク

白先

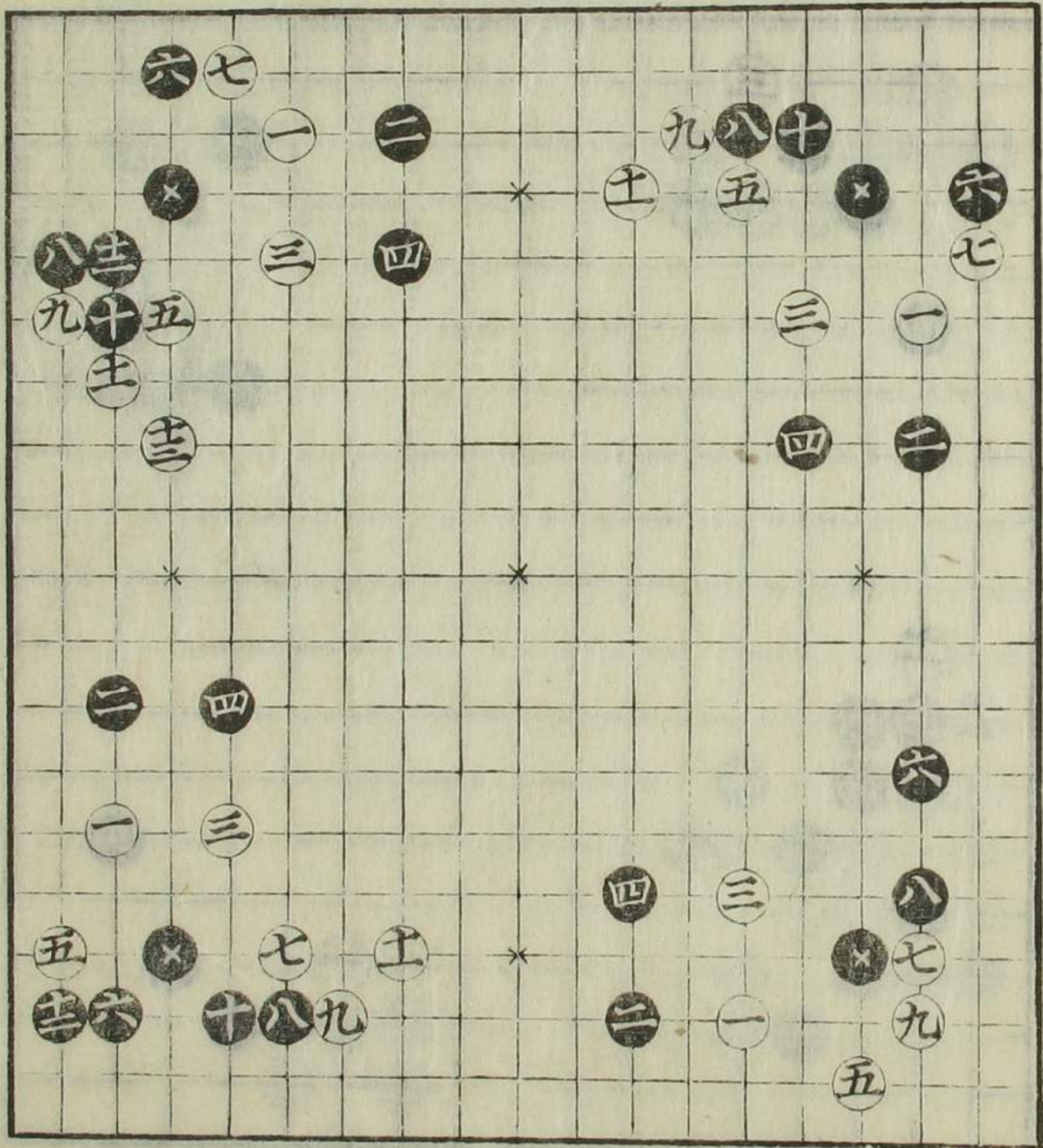
ハサミ
夾之圖

惣て二と夾事
損るる所まよと
まよ

白先

八の手唐風あり
如是ころは理あり
るも似たり

白先



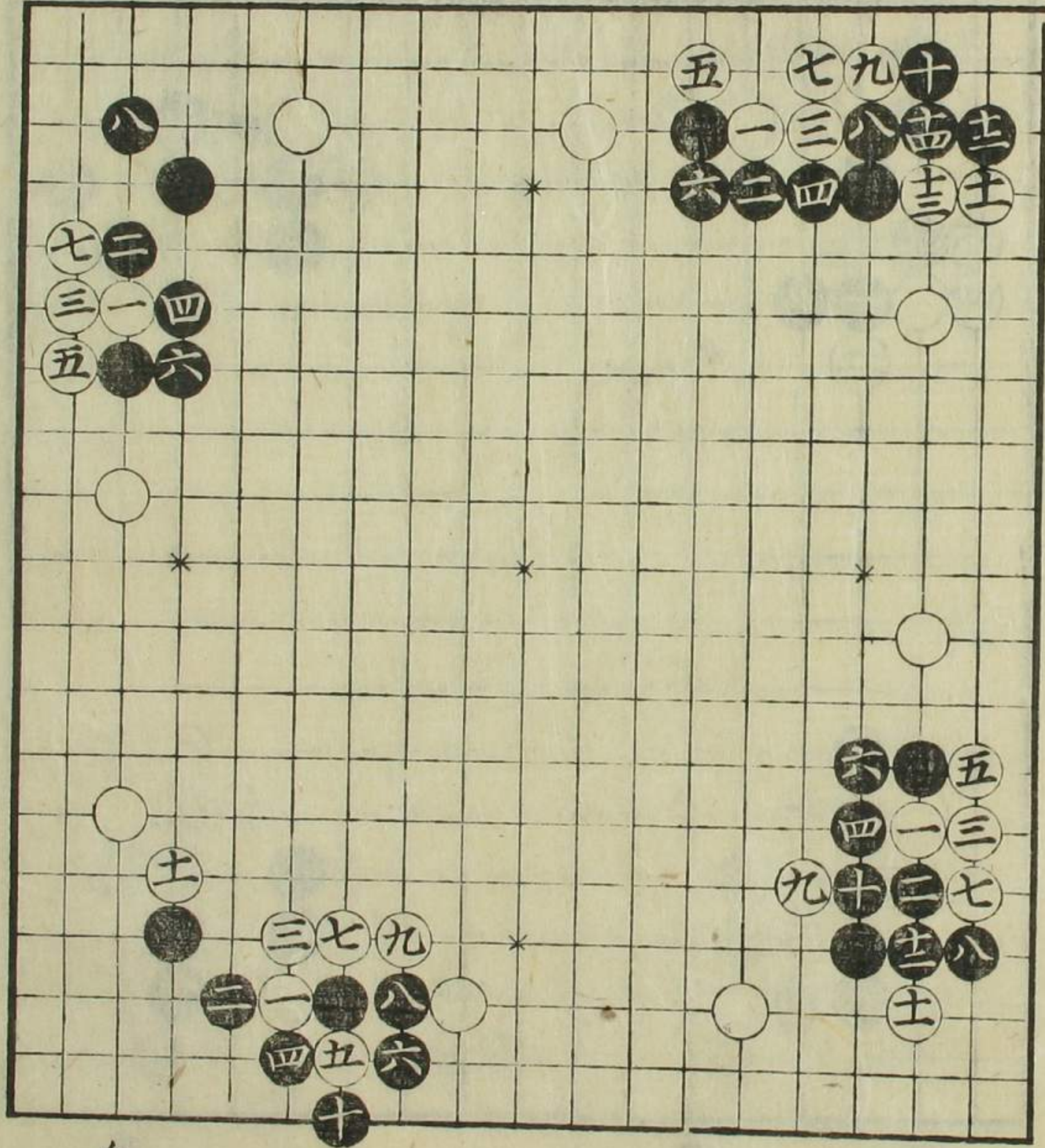
白先

白先

手技之圖

白先

白先



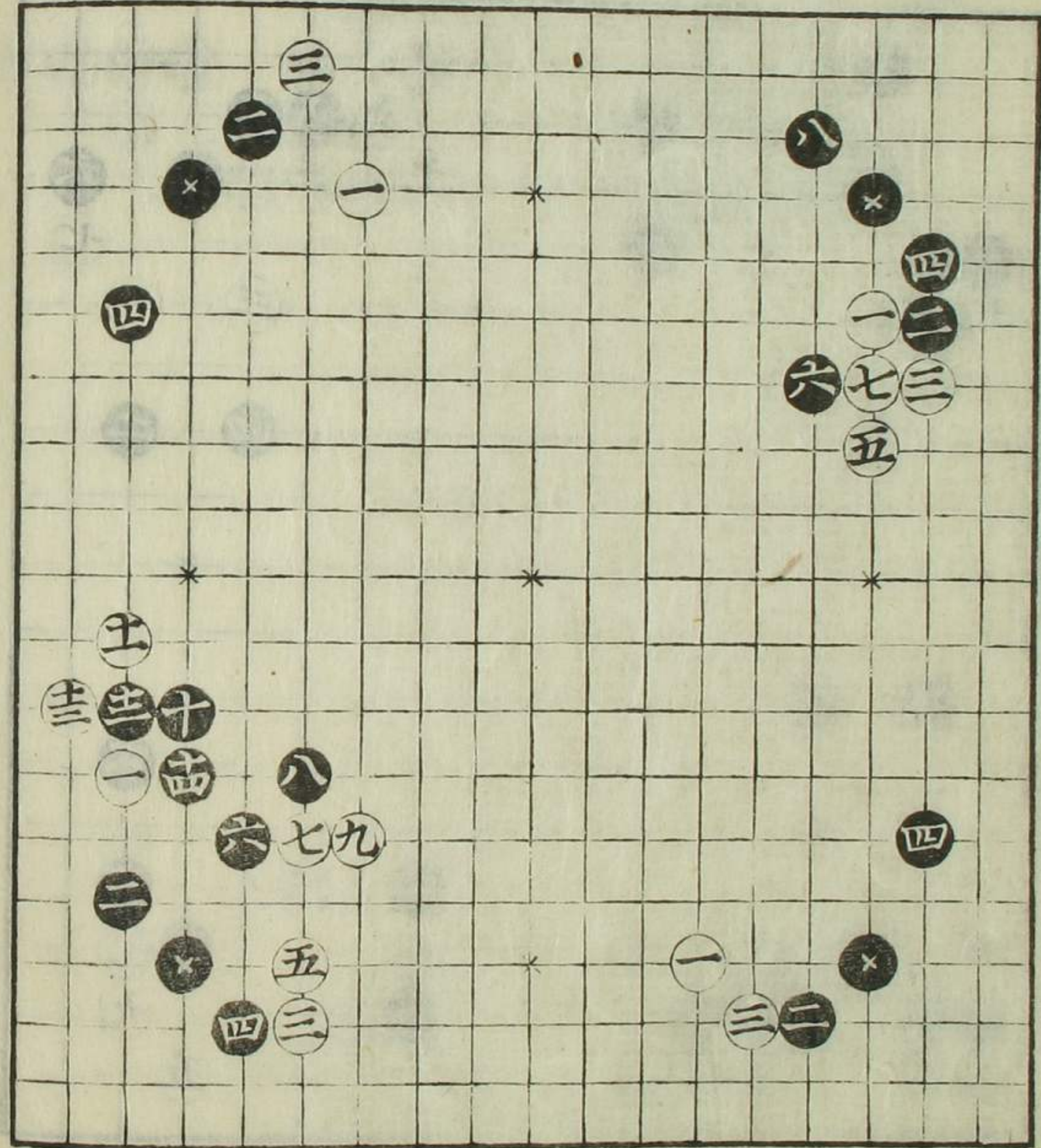
白先

白先

夾之圖

白先

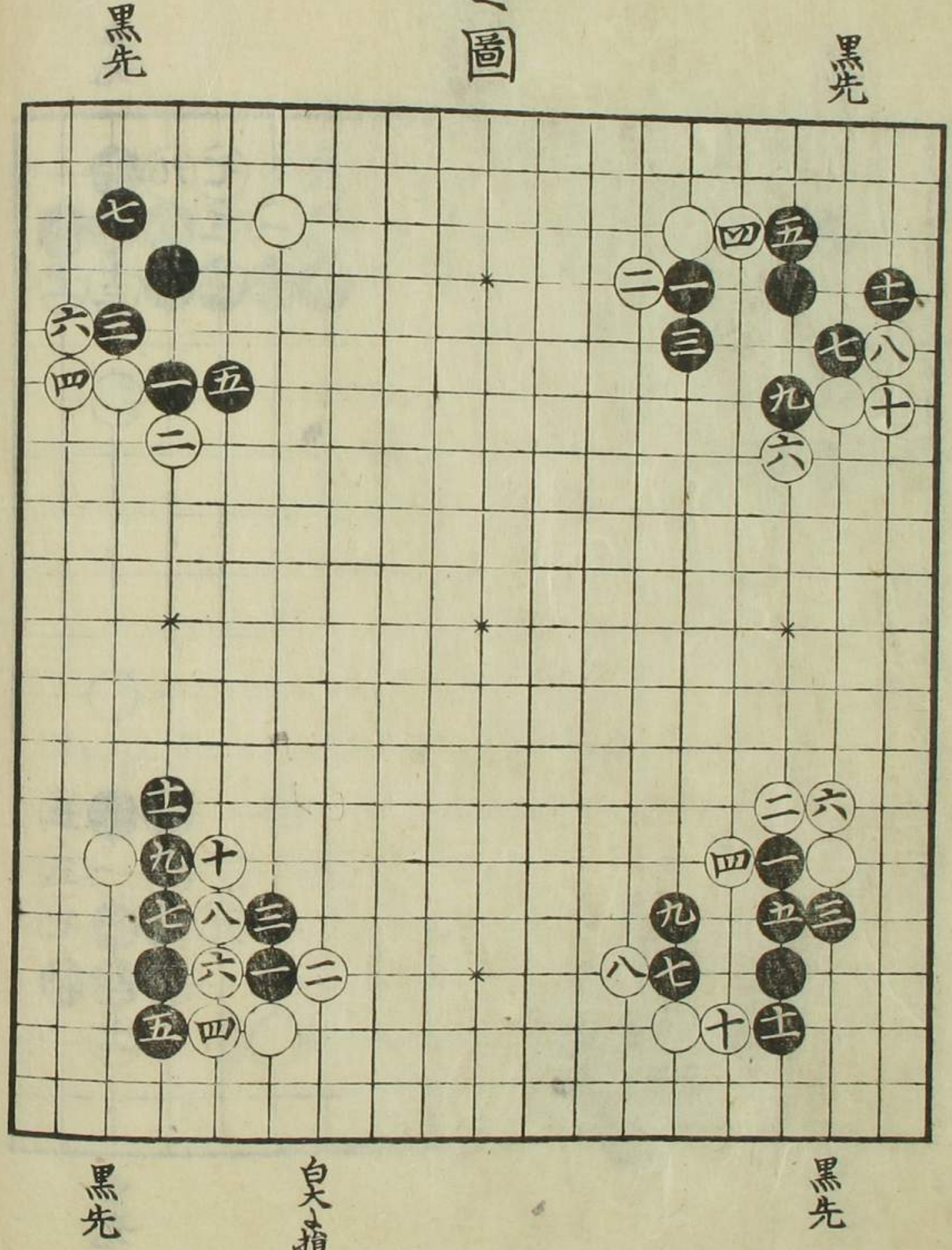
白先



白先

白先

手拔之圖



黒先

黒先

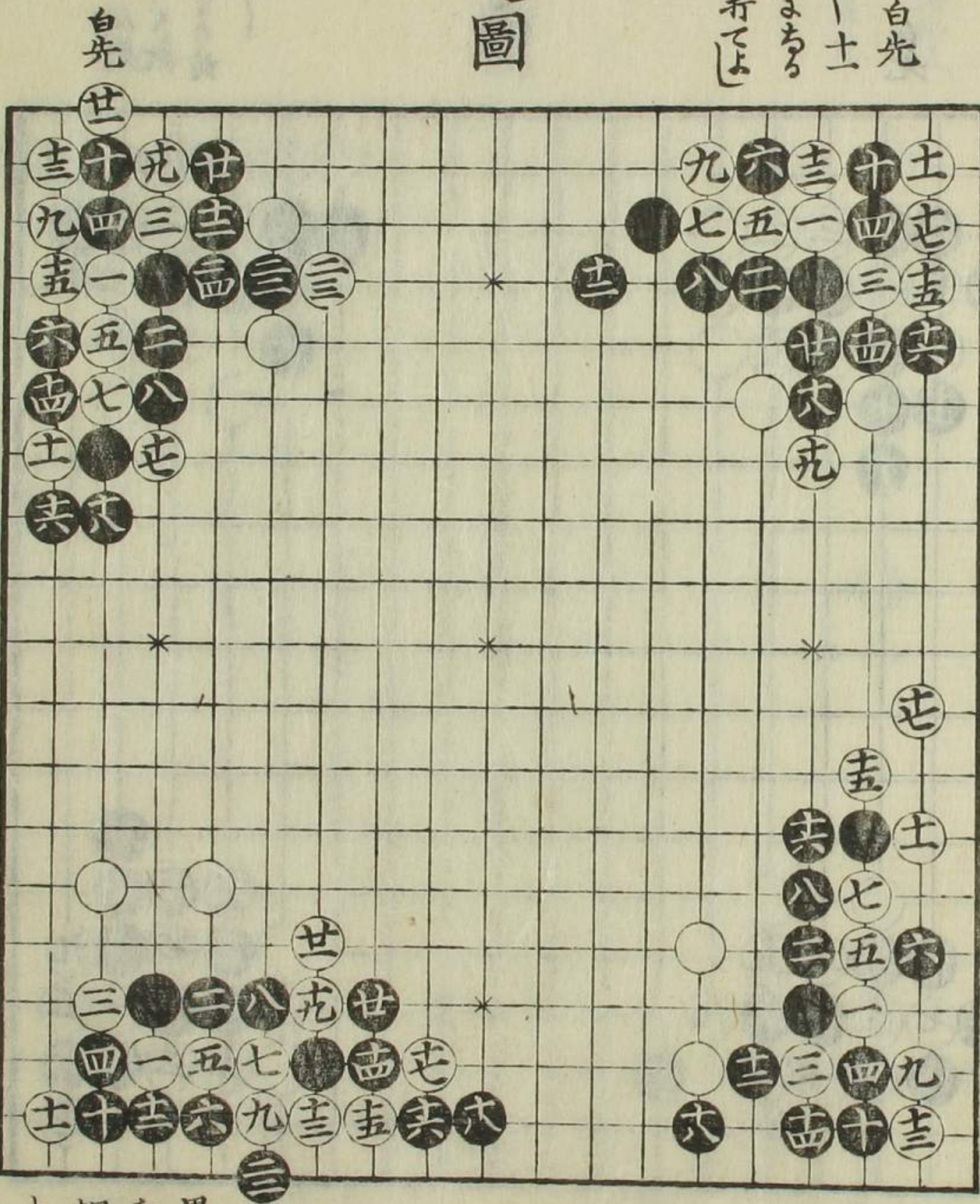
黒先

白損り

黒先

腹附之圖

六の手より土
妙なり征まら
るときは是打てよ



白先

白先

白先

白先

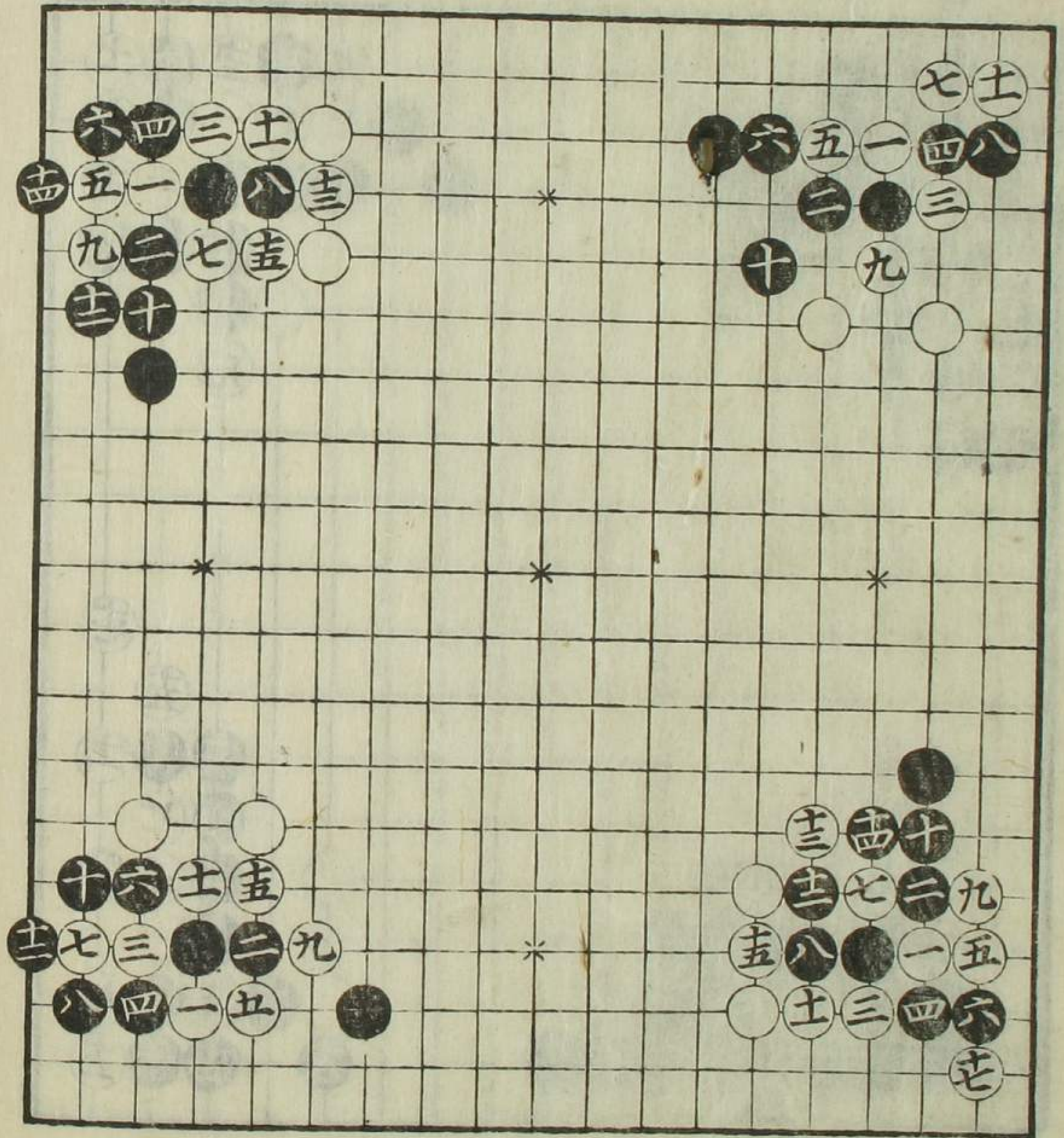
黒の三石征り
あつたるとは
如是打て白を
とらるり

六の手新し故
如是ちりそり前
のちよ打

腹附之圖

十六カウ

白先



白先
十六カウ
二のち打

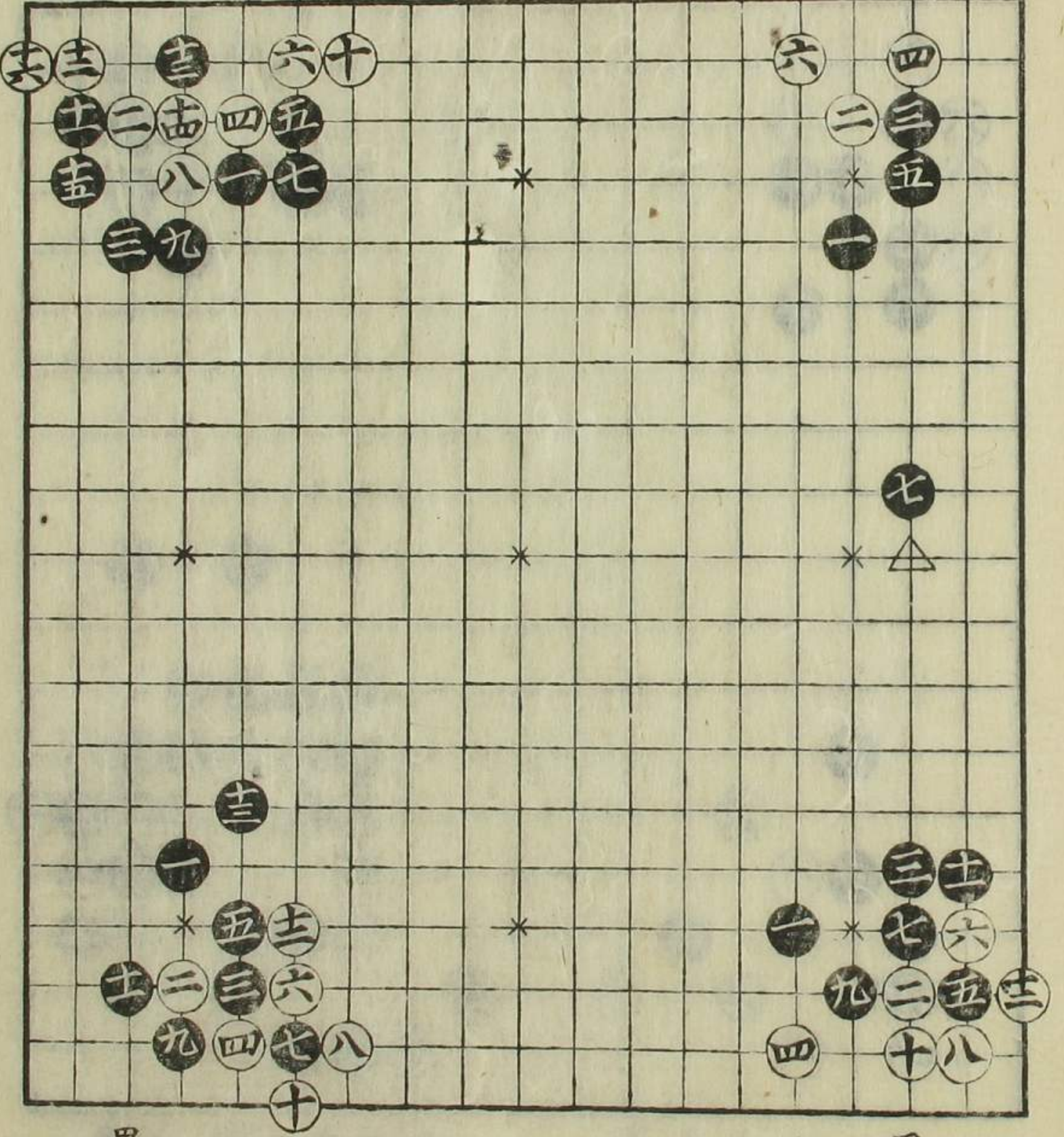
六の手打

十三打カウ
十四カウ
白先

大目之圖

七の手△此印
も打る

黒先

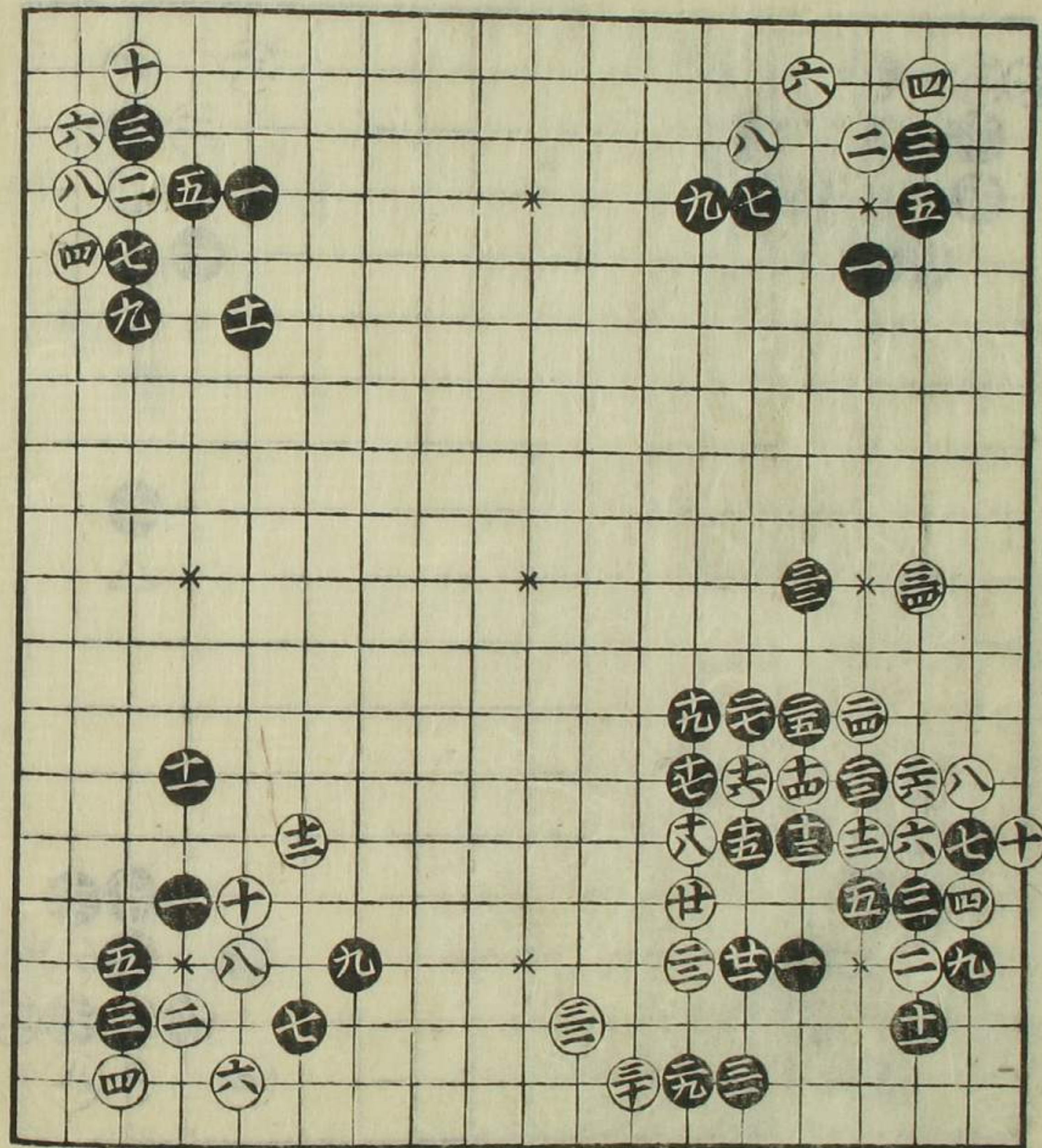


黒先

黒先

大目之圖

此隅道知と因
碩の基又出
事あり
土の手か
やふるれと
黒先

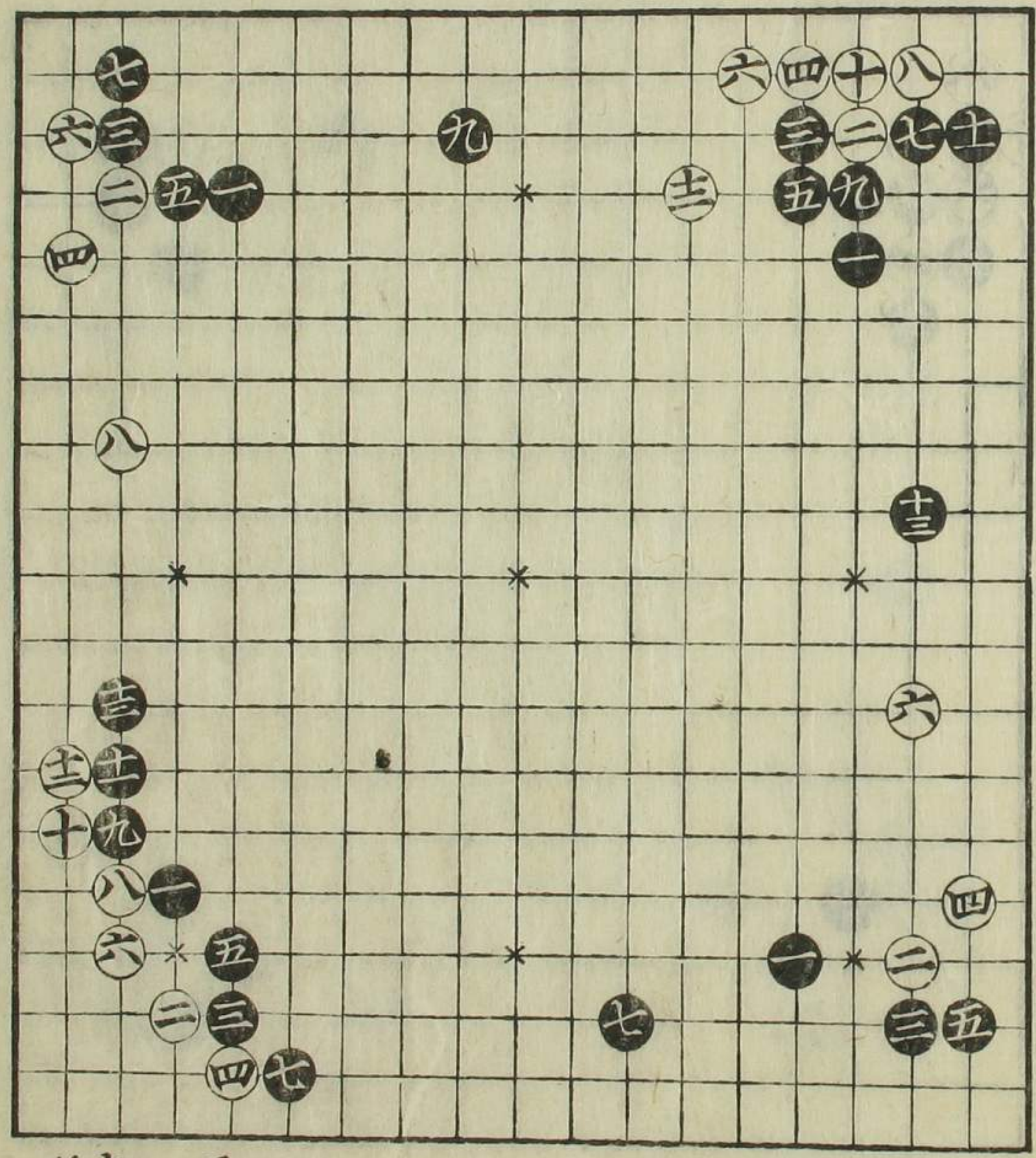


黒先
六ツク
二九三北
とと
多く
筋何
なり
七の手
より打
とと初
うら
なり
黒先

大目之圖

四の手
黒先

六の手
黒先

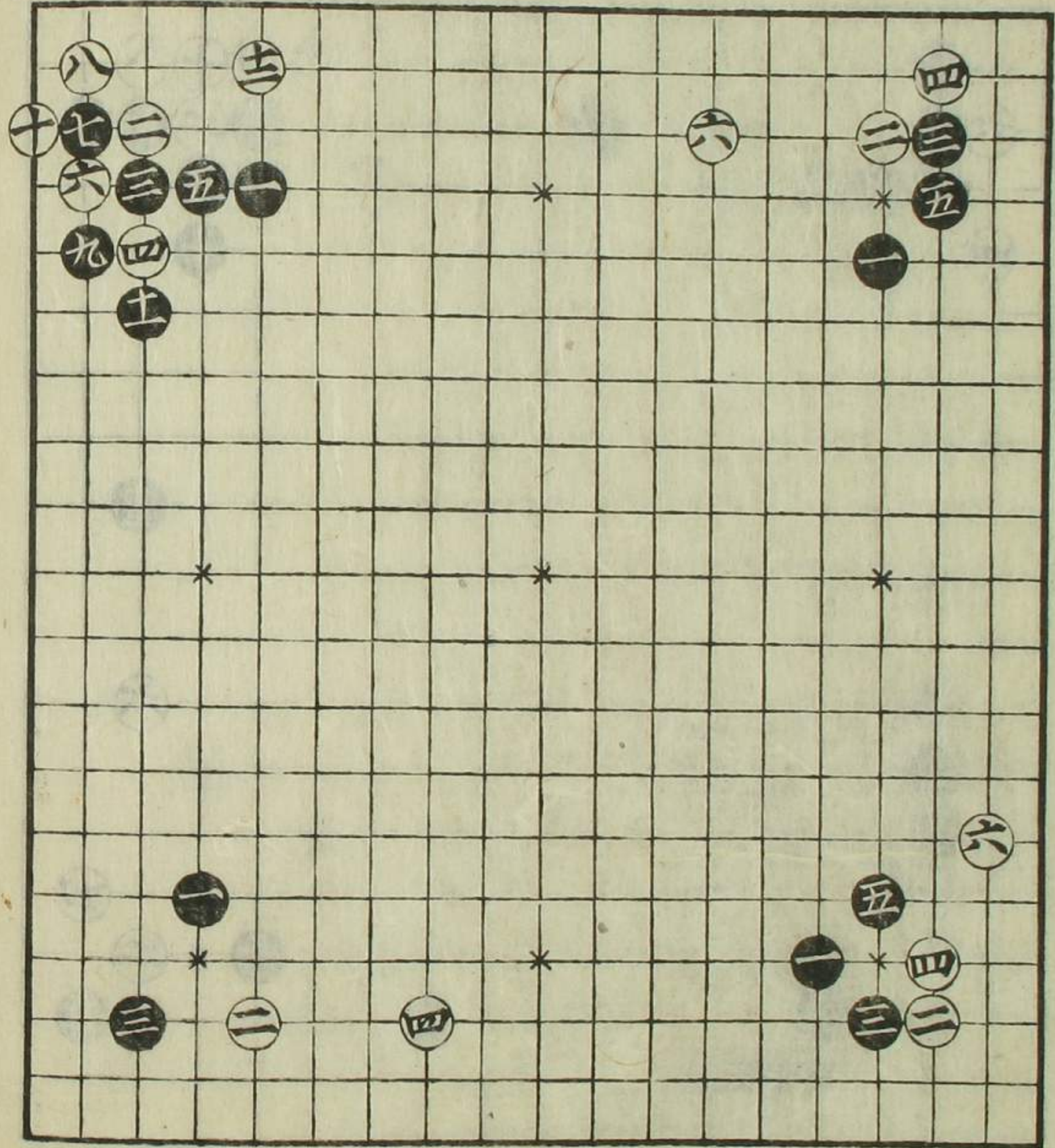


黒先
六の
なり
黒先

六比手所より
うろ 黒先

大目之圖

三の手惡 道策
杉村の基 出子より 黒先



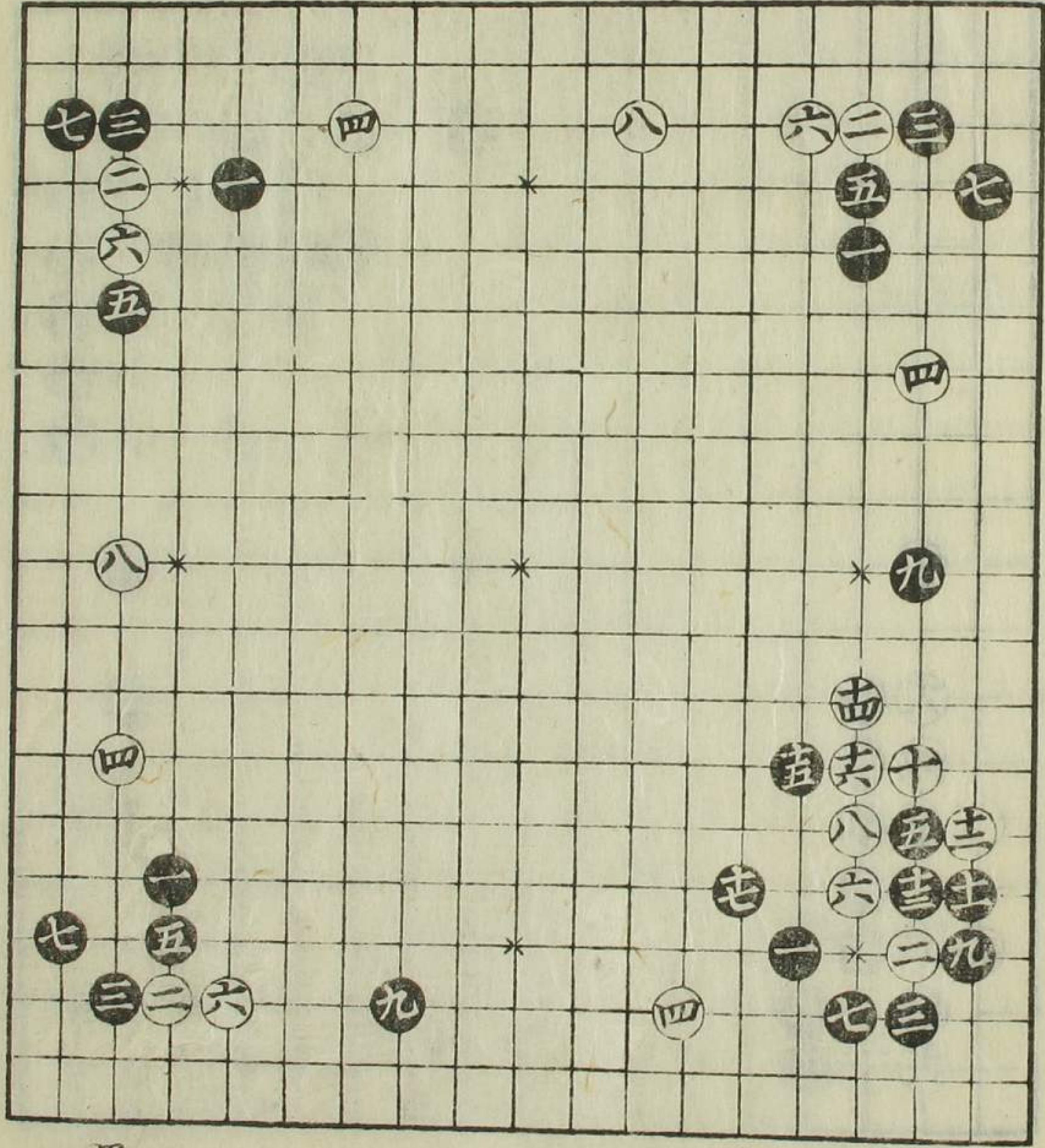
黒先

黒先

四のほ悪くよ
うろ 黒先

大目之圖

黒先



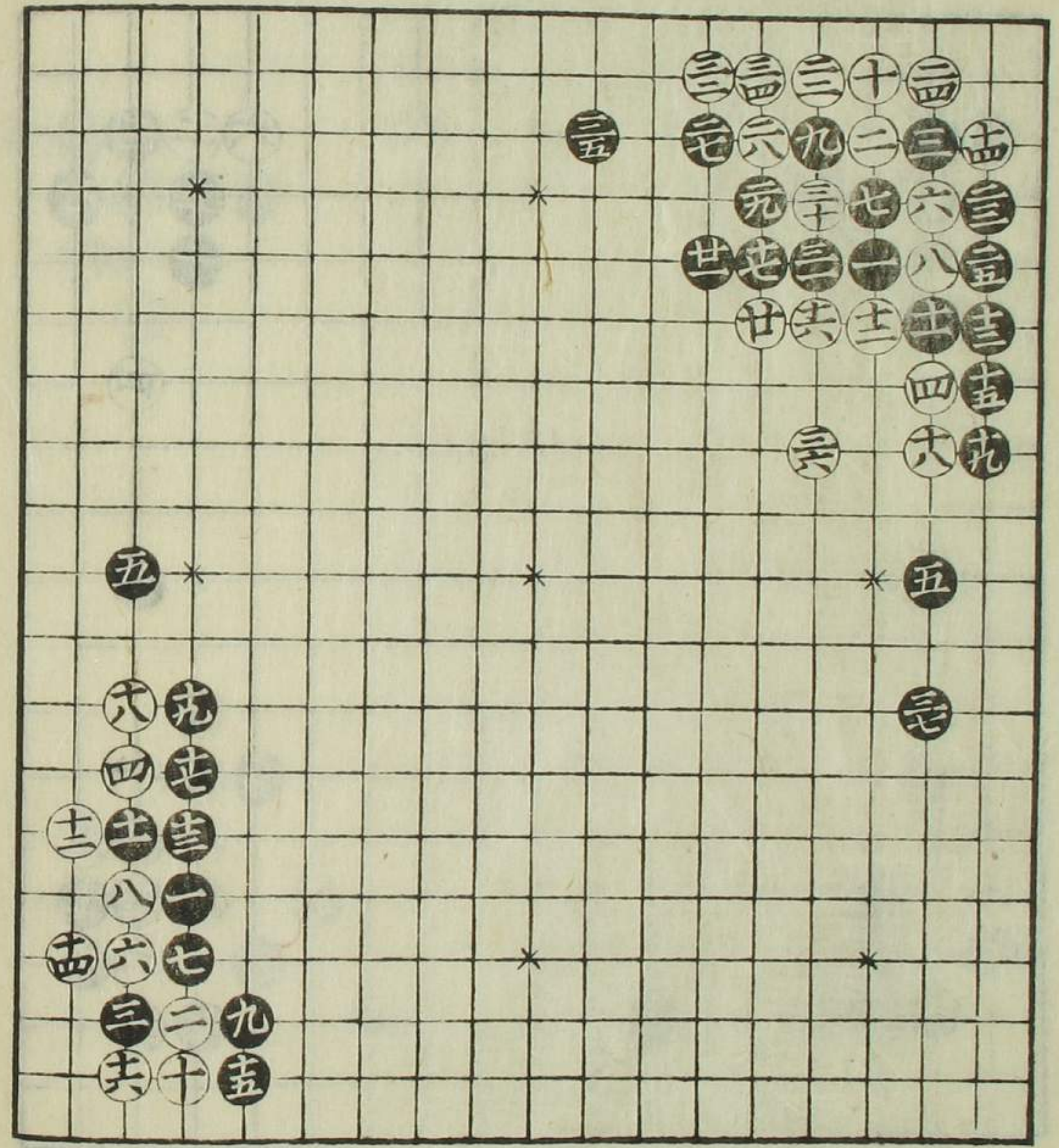
黒先

黒先

大目之圖

三六
三九

此隅對勢多
黒先

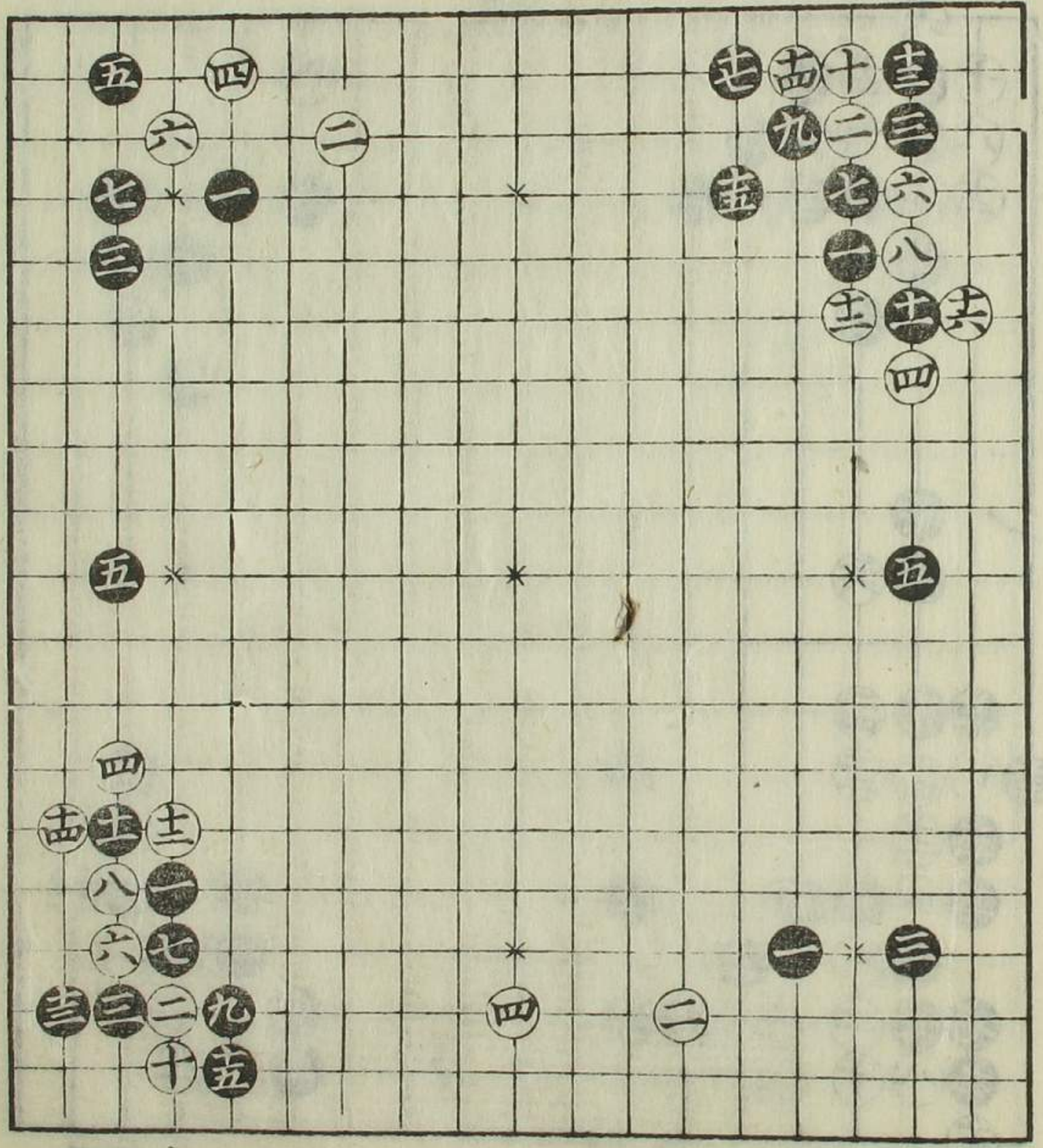


黒先
土の手勢
野よ

大目之圖

十三の手損
黒先

黒先



十三の手損
黒先

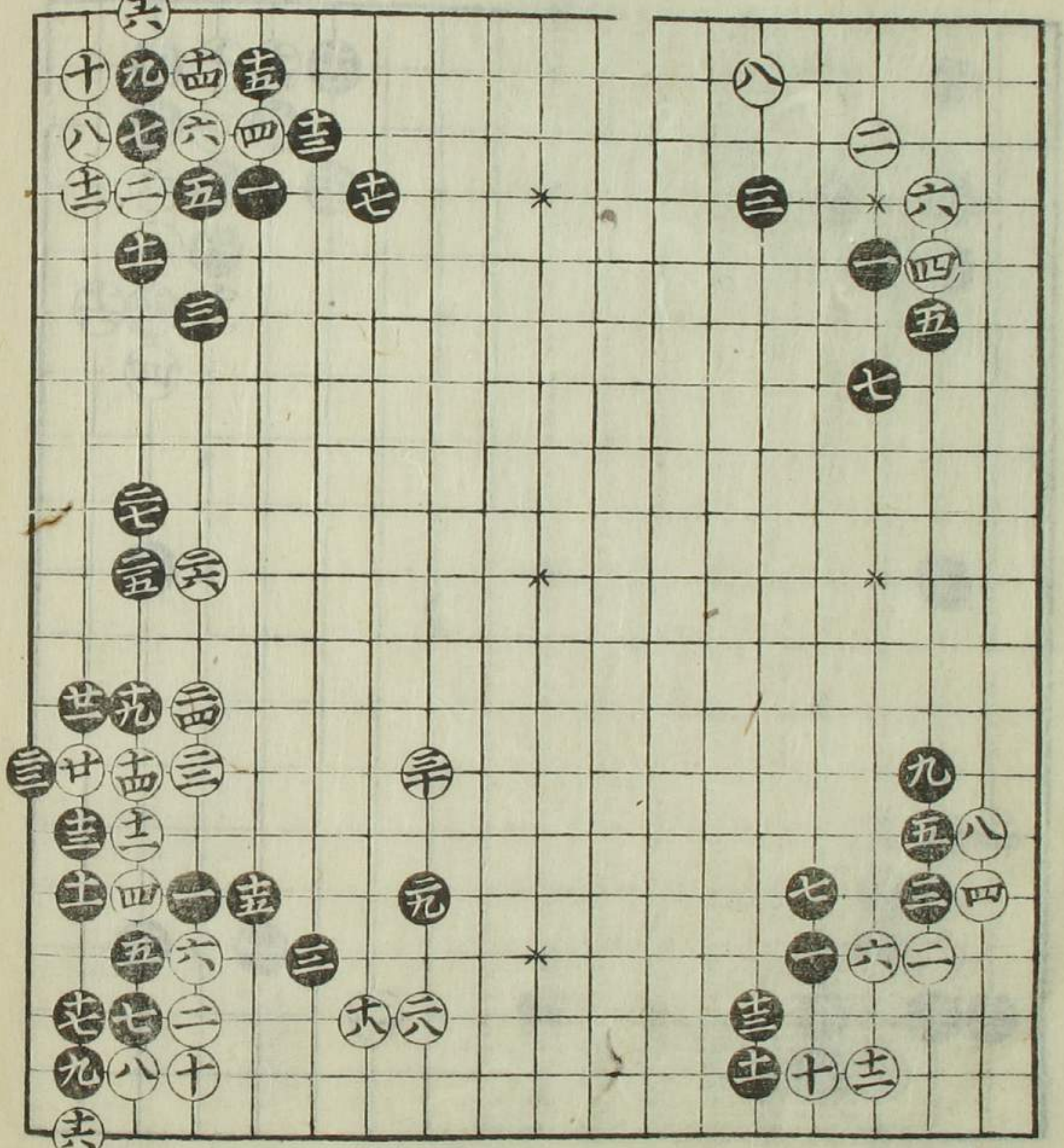
三の手大は損也
打つては

黒先

大目之圖

此隅黒の方損
なり

黒先



五の手大損なり
黒先

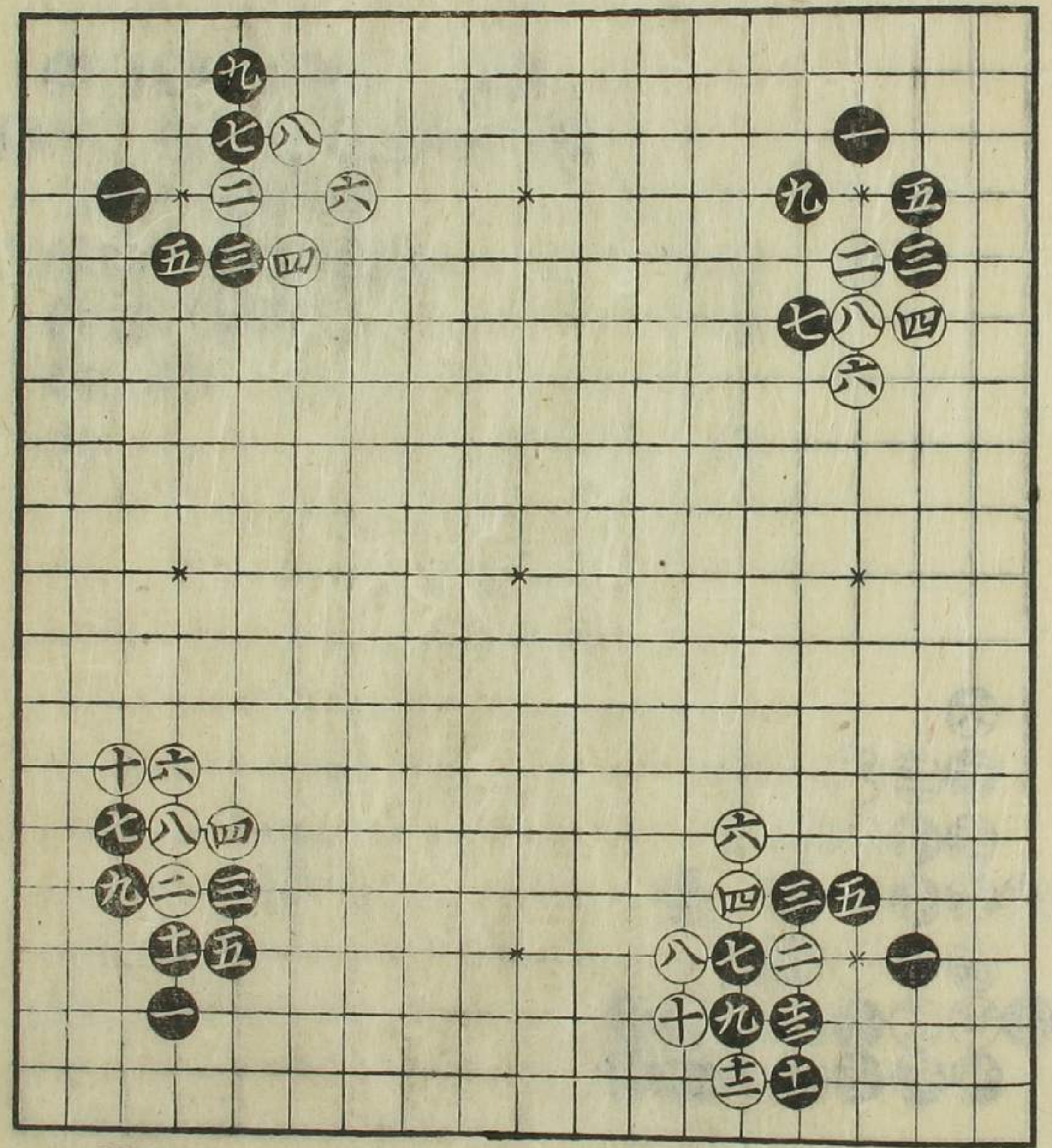
二八三十一の両
手共よし

黒先

高目之圖
多カモク

黒先

黒先

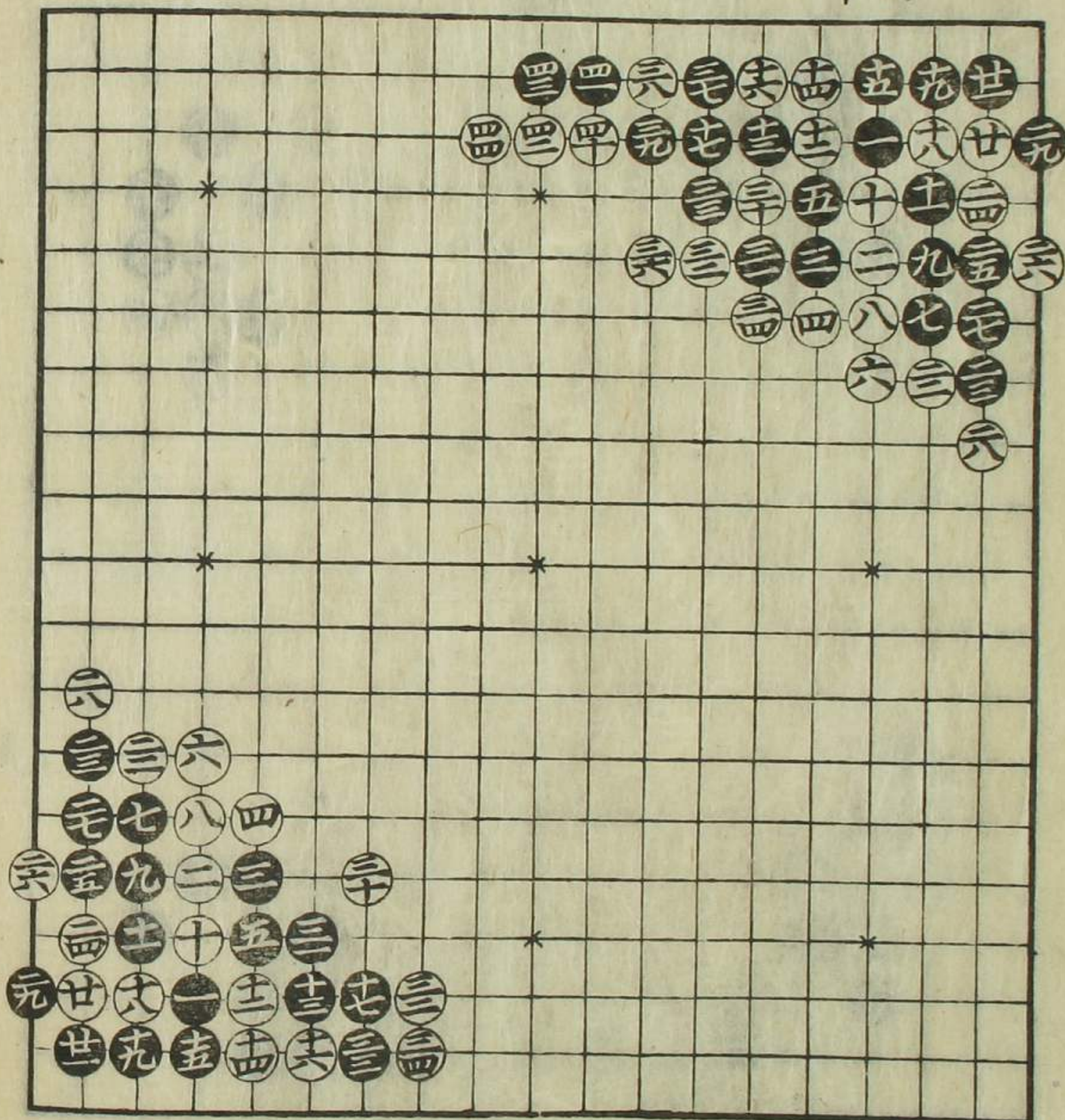


黒先

黒先

三五ツテ 黒先
十の手所より打
るありとすも常
ハ接ぎ
三十の手征の見
合せあり

高目之圖

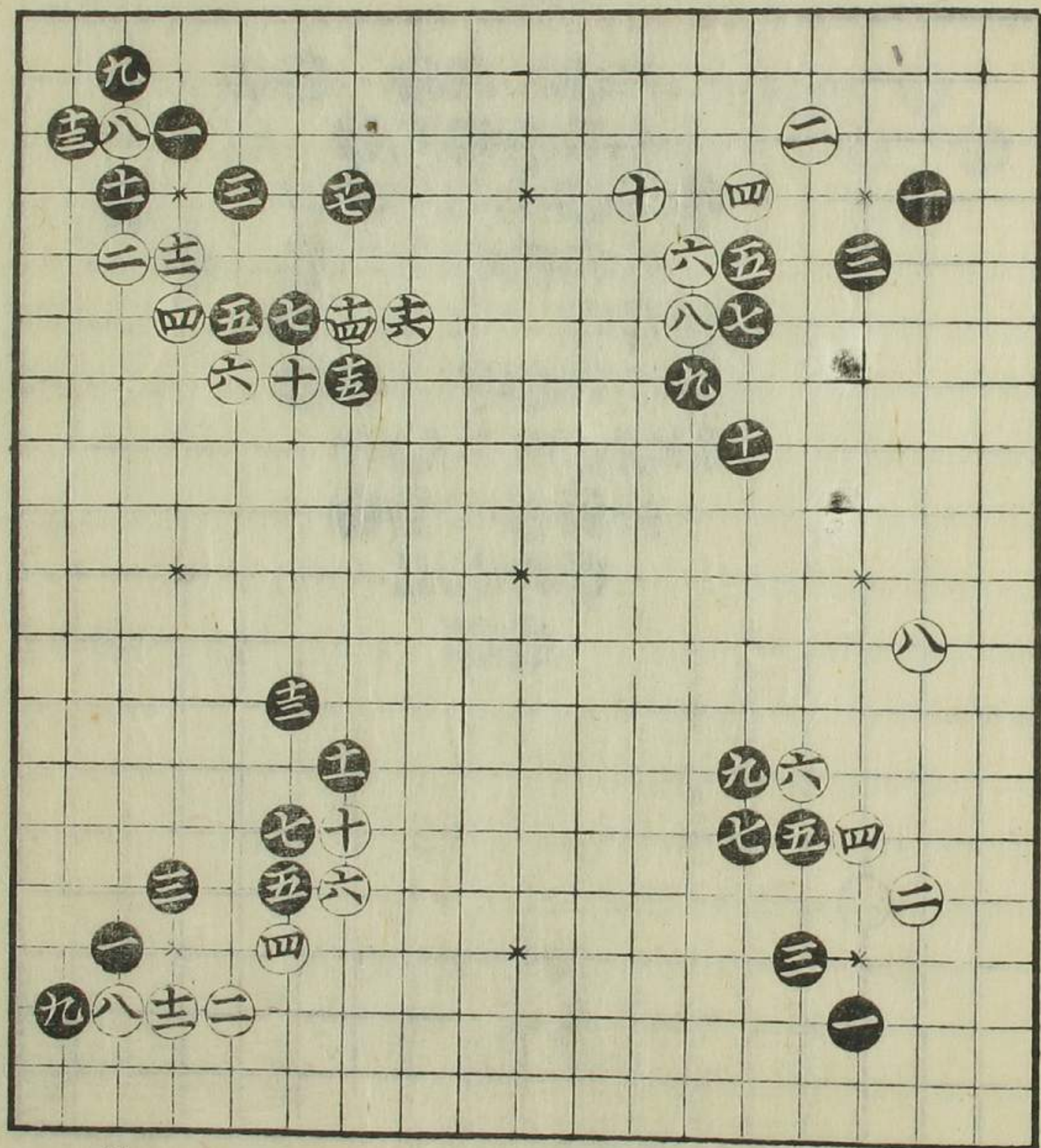


黒先

合尖之圖

黒先

黒先



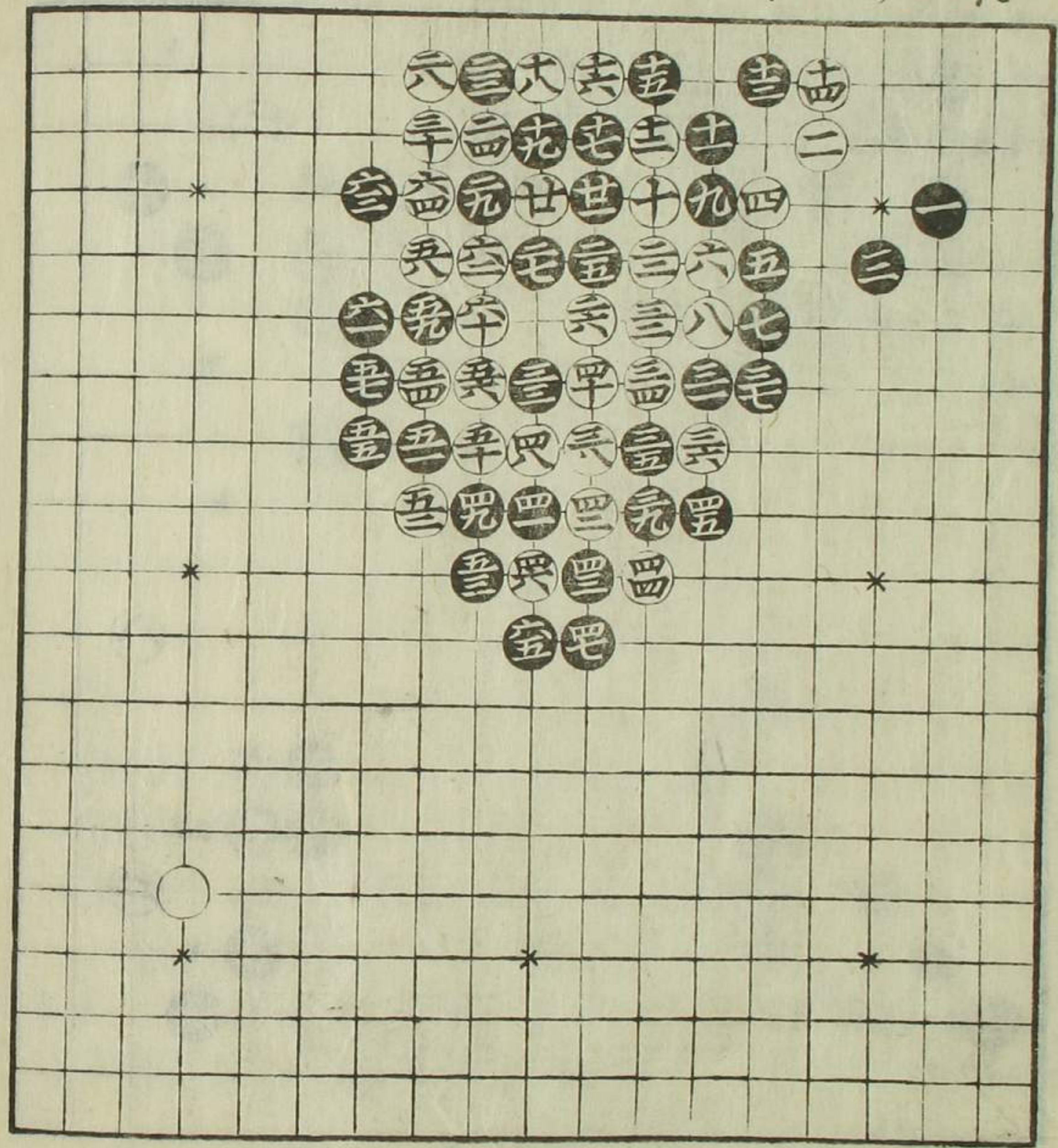
黒先

黒先

九の手征のあら
り何々時ハ無理
ありなき如きあり
てハ白甚悪ニ
六の手と二ハ西行
一ききあり

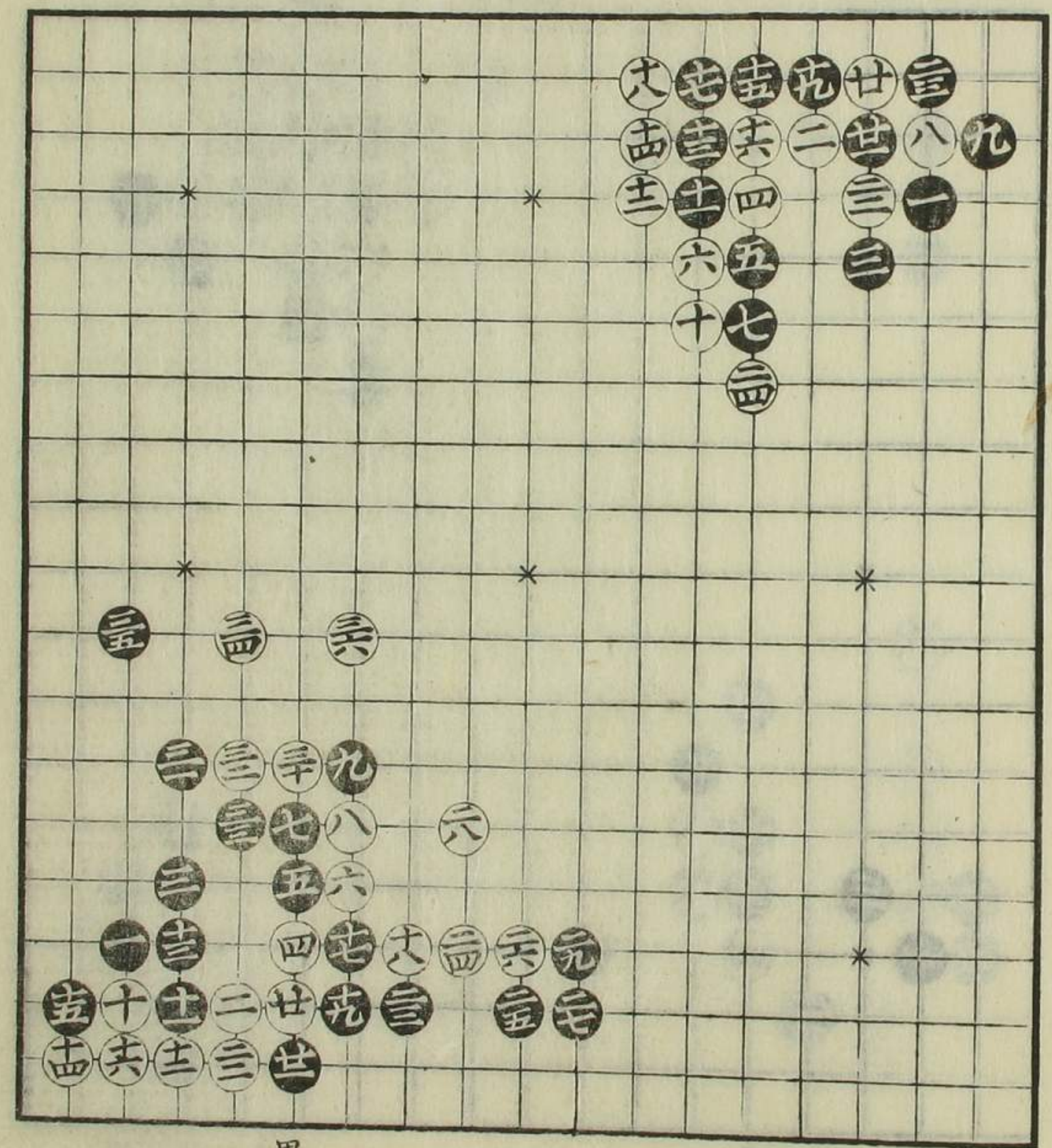
合尖之圖

黒先



合尖之圖

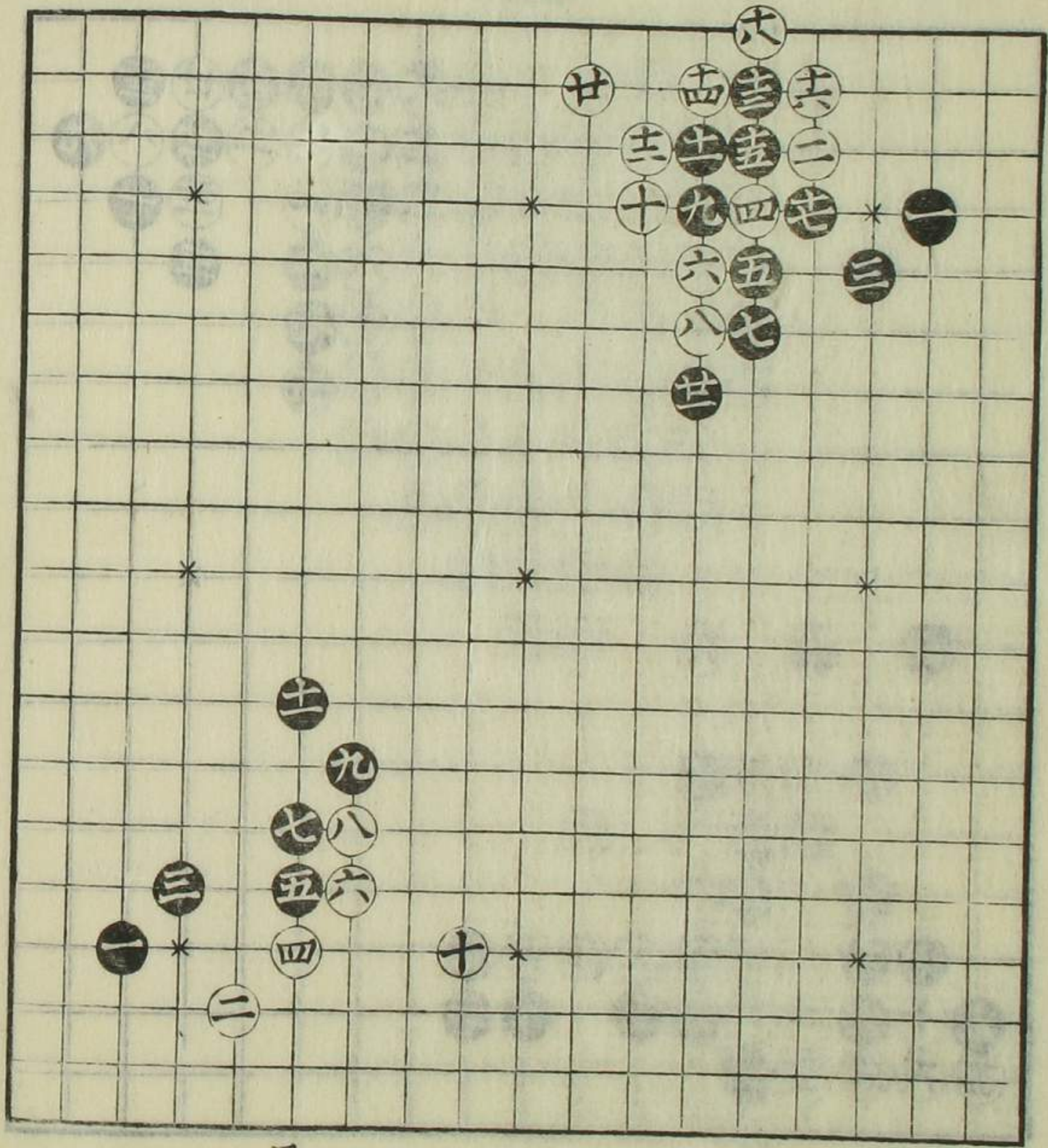
黒先



黒先

白損多し八の手九のまうらるるときハ打へらす

合尖之圖

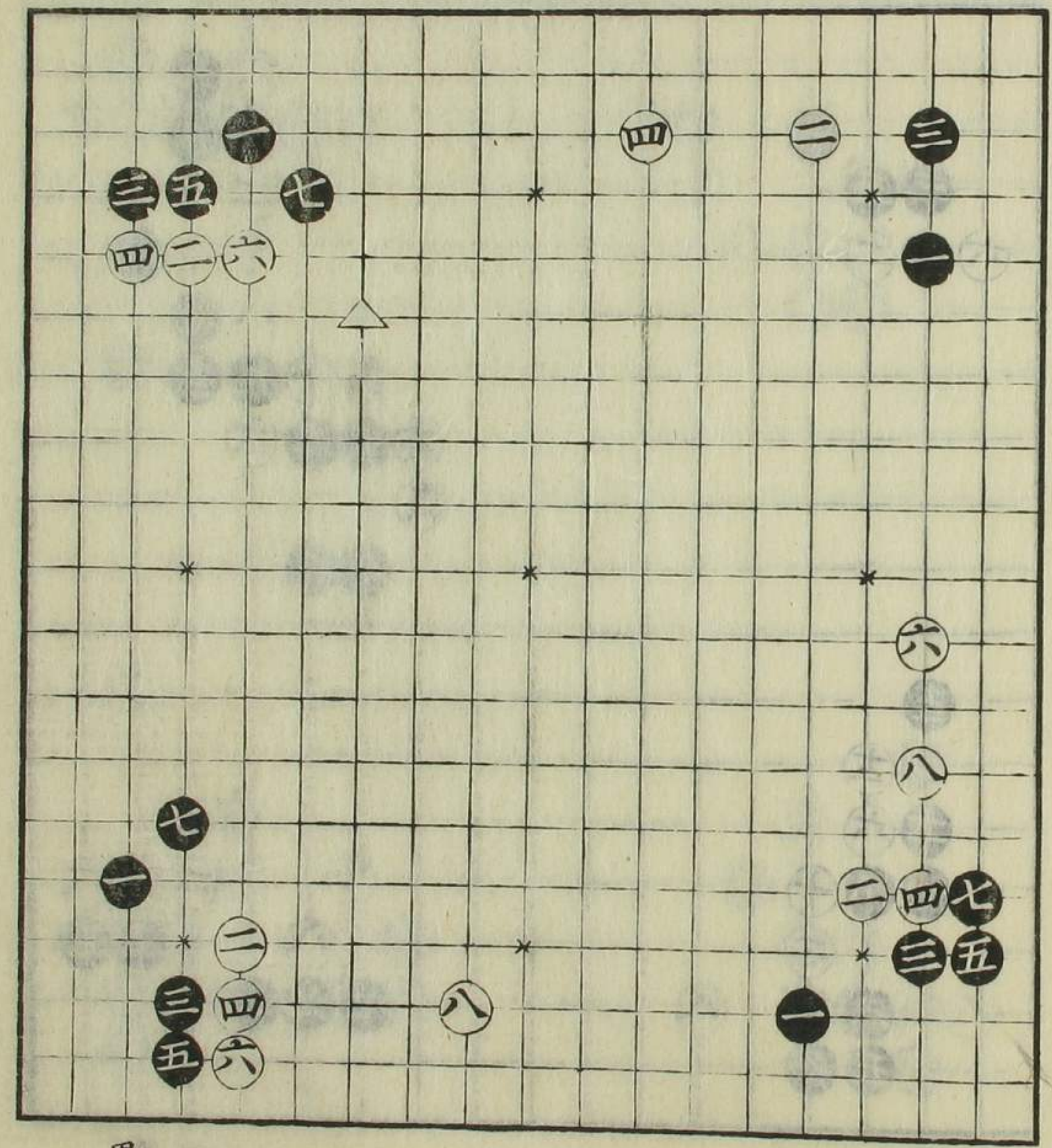


黒先

二の手古流あり 黒先

目んぐし圖

五の手所より△此印の所五より大争の場所あり一番の位より黒先

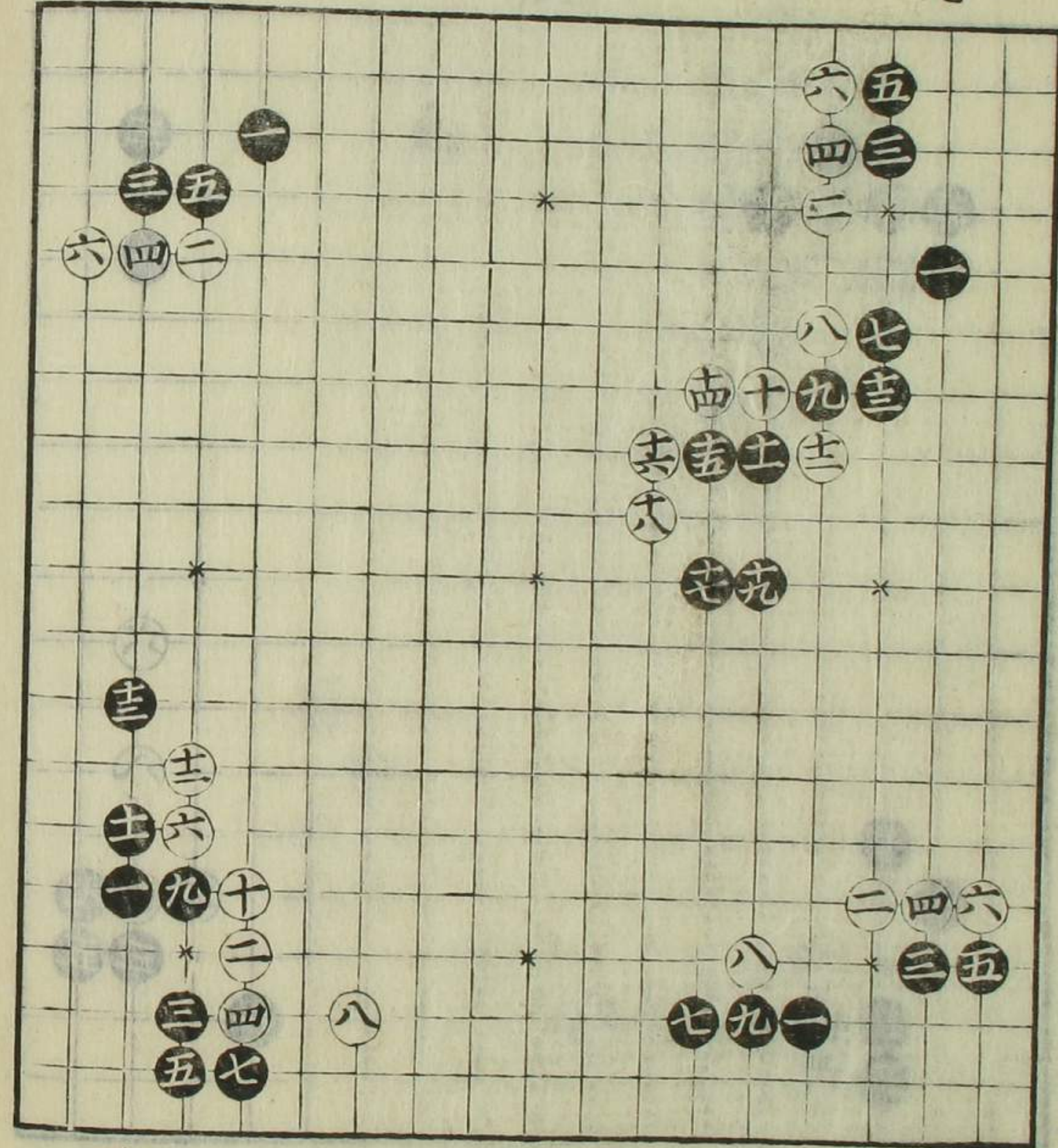


黒先

目づぐ圖

六の手所よる

黒先



黒先

黒先
七の手所よる

黒先

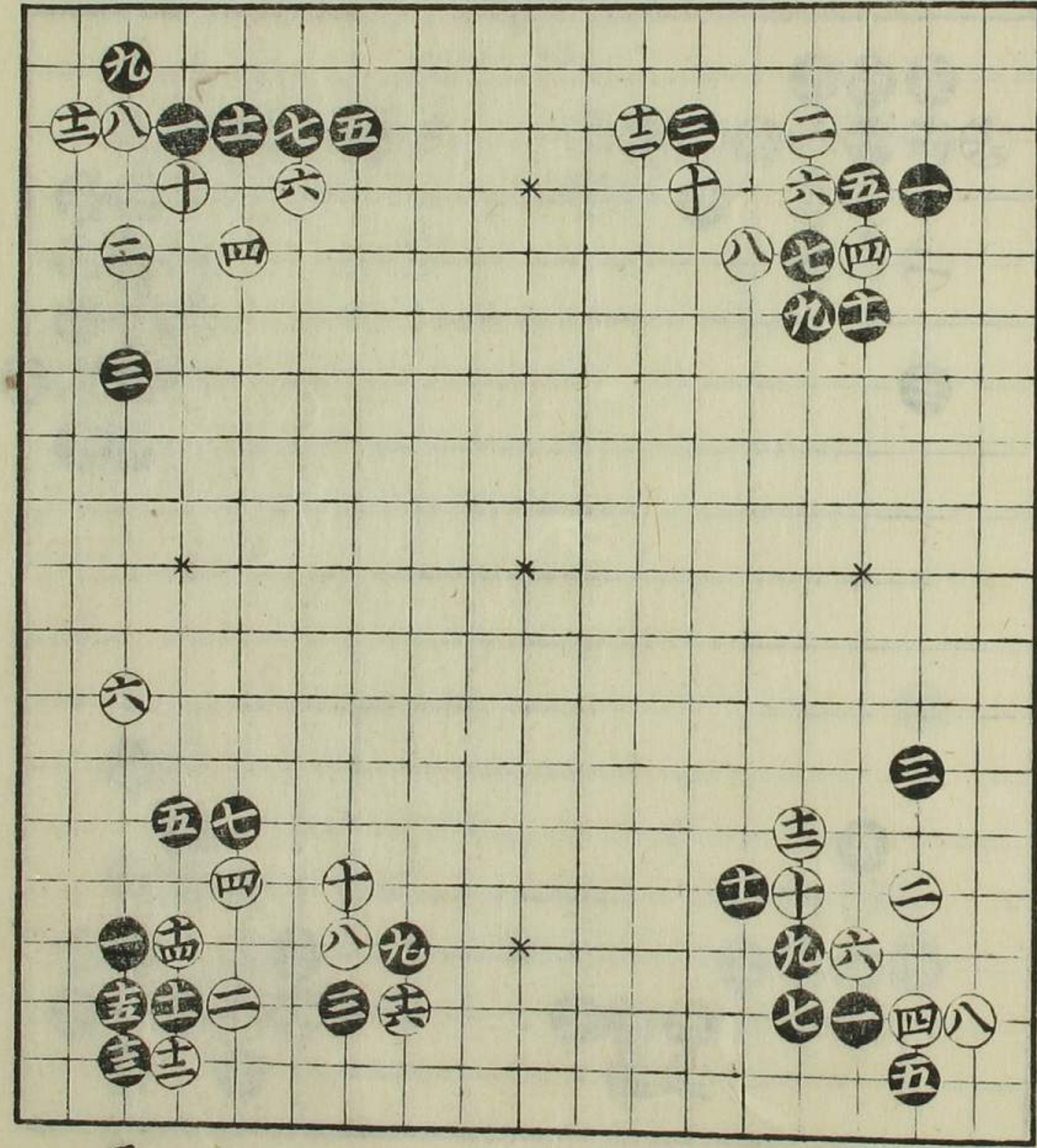
五の手古風損也

黒先

一問夾之圖

山ヶんがま

黒先



黒先

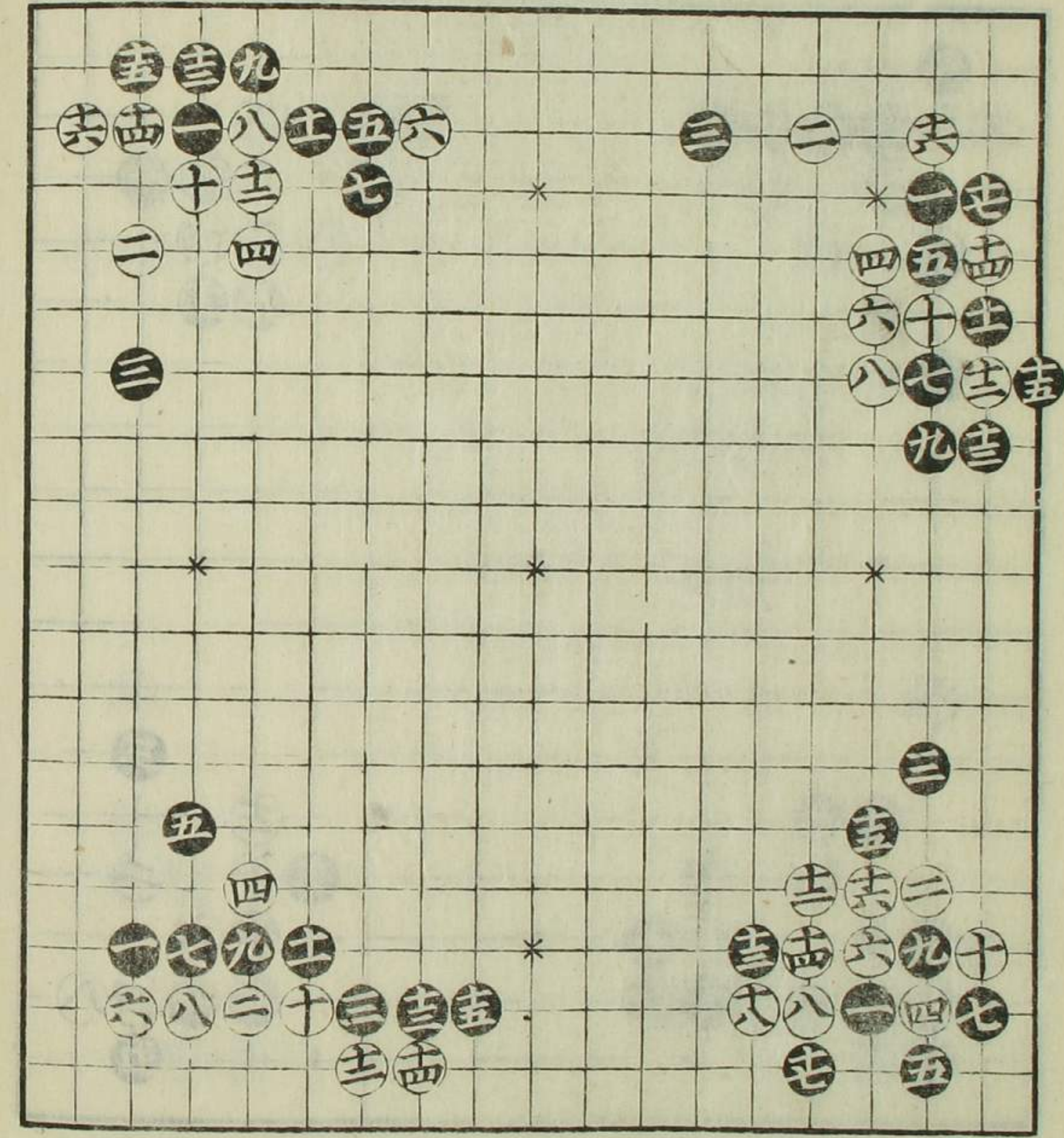
黒先

一間夾之圖

六の手形よりて
趣あり

黒先

黒先



黒先

七の手損あり

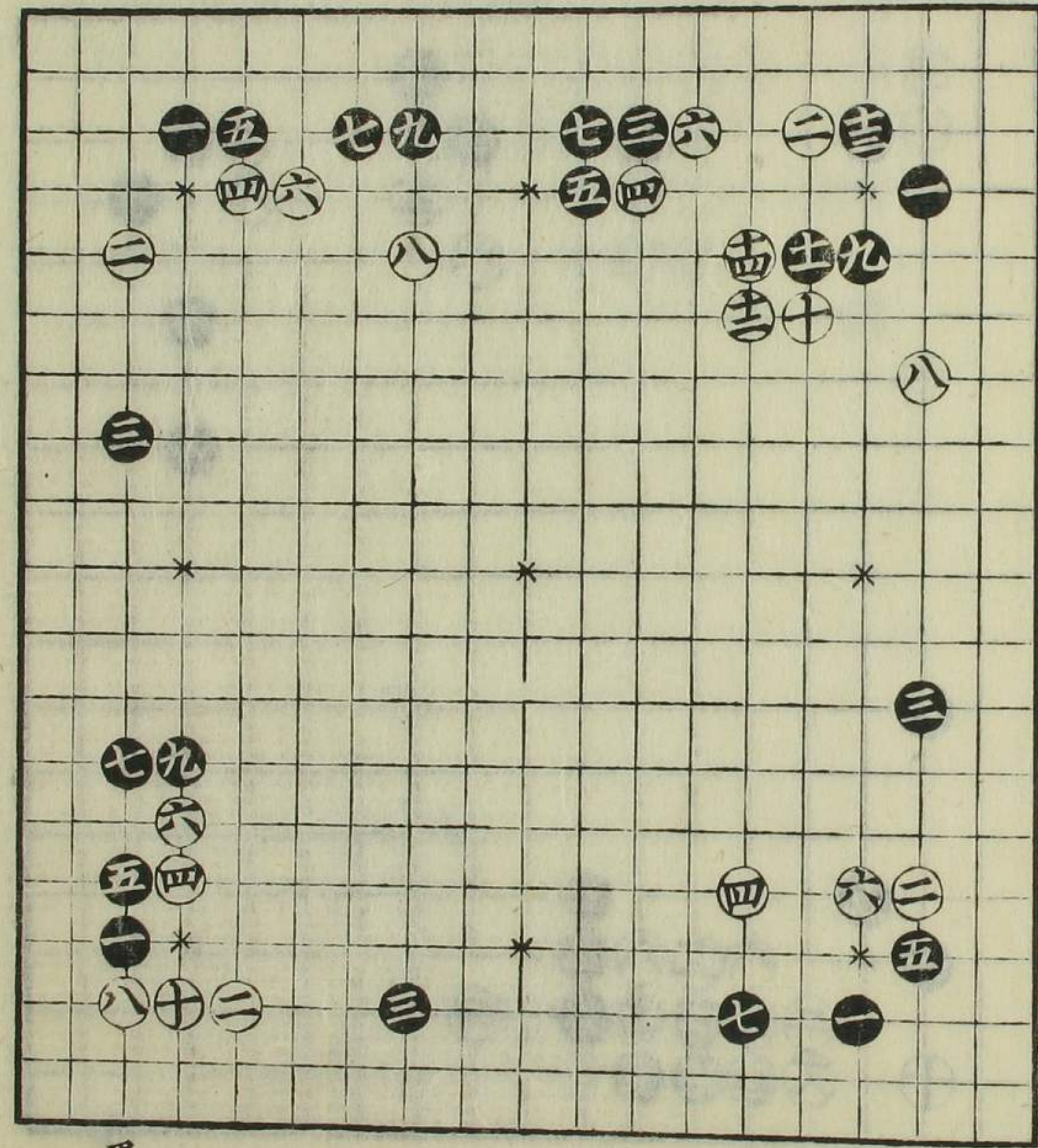
黒先
土ッ

二間夾之圖

九の手形より

黒先

黒先

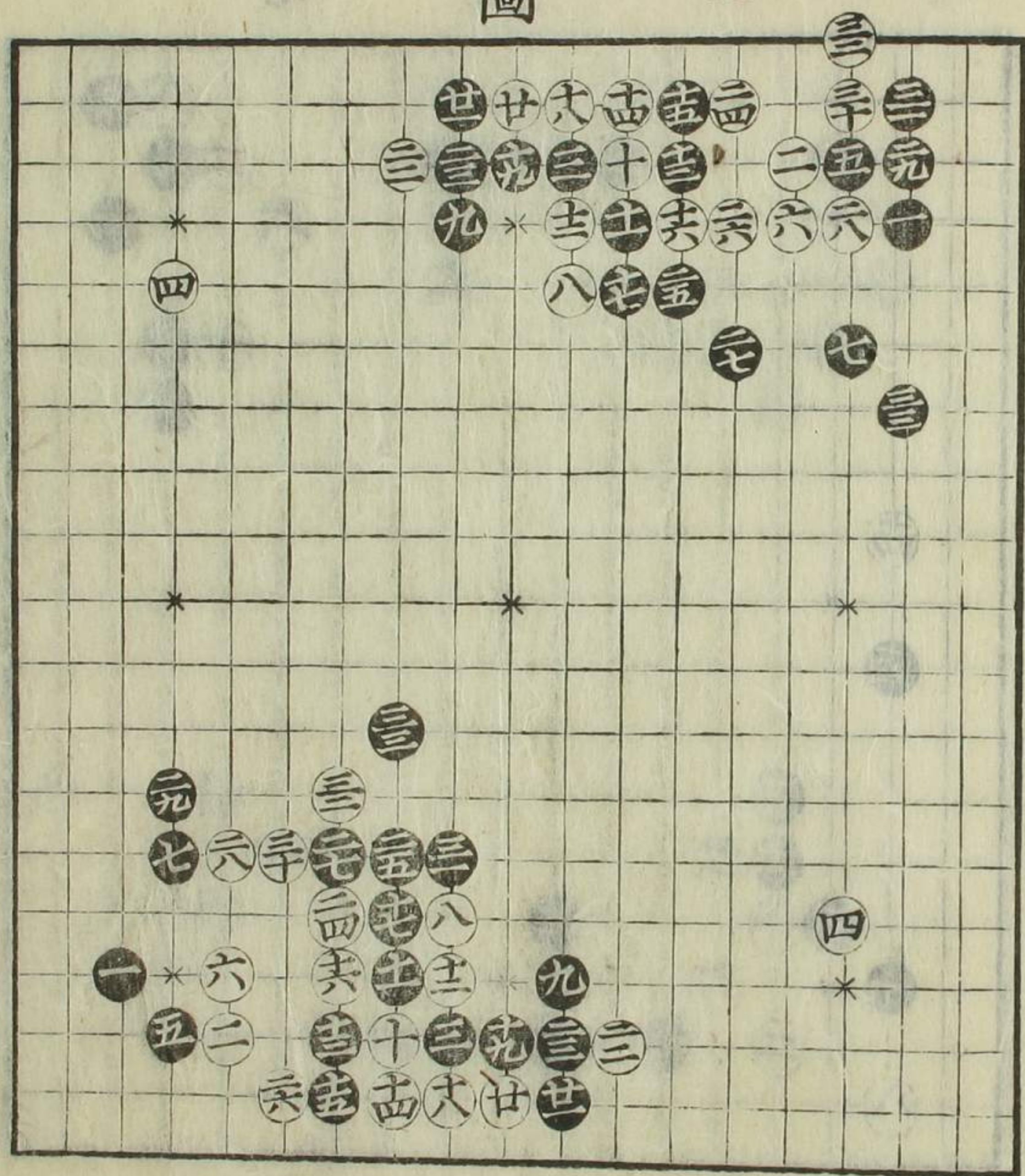


黒先

黒先

三間夾之圖

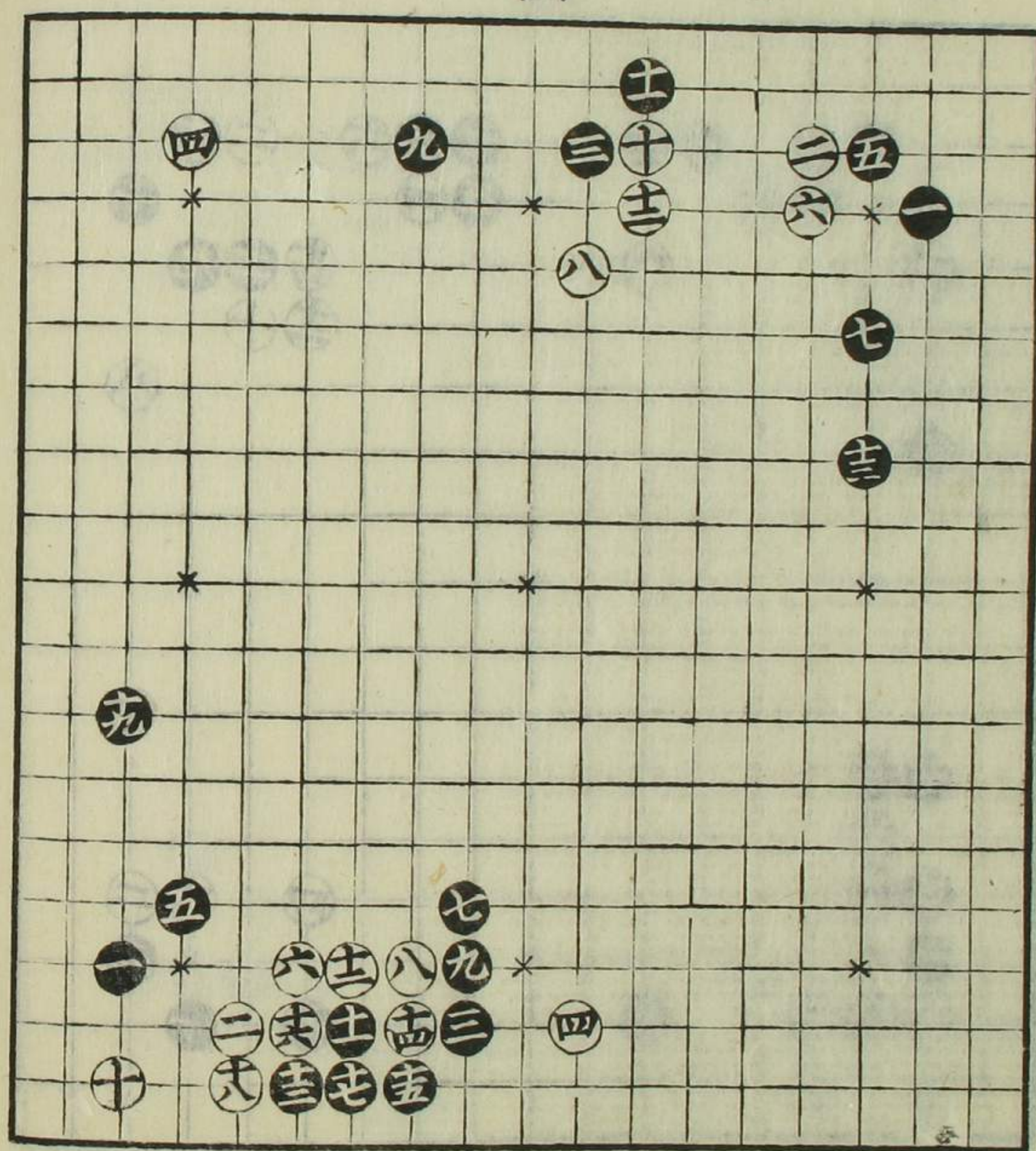
黑先



黑先

三間夾之圖

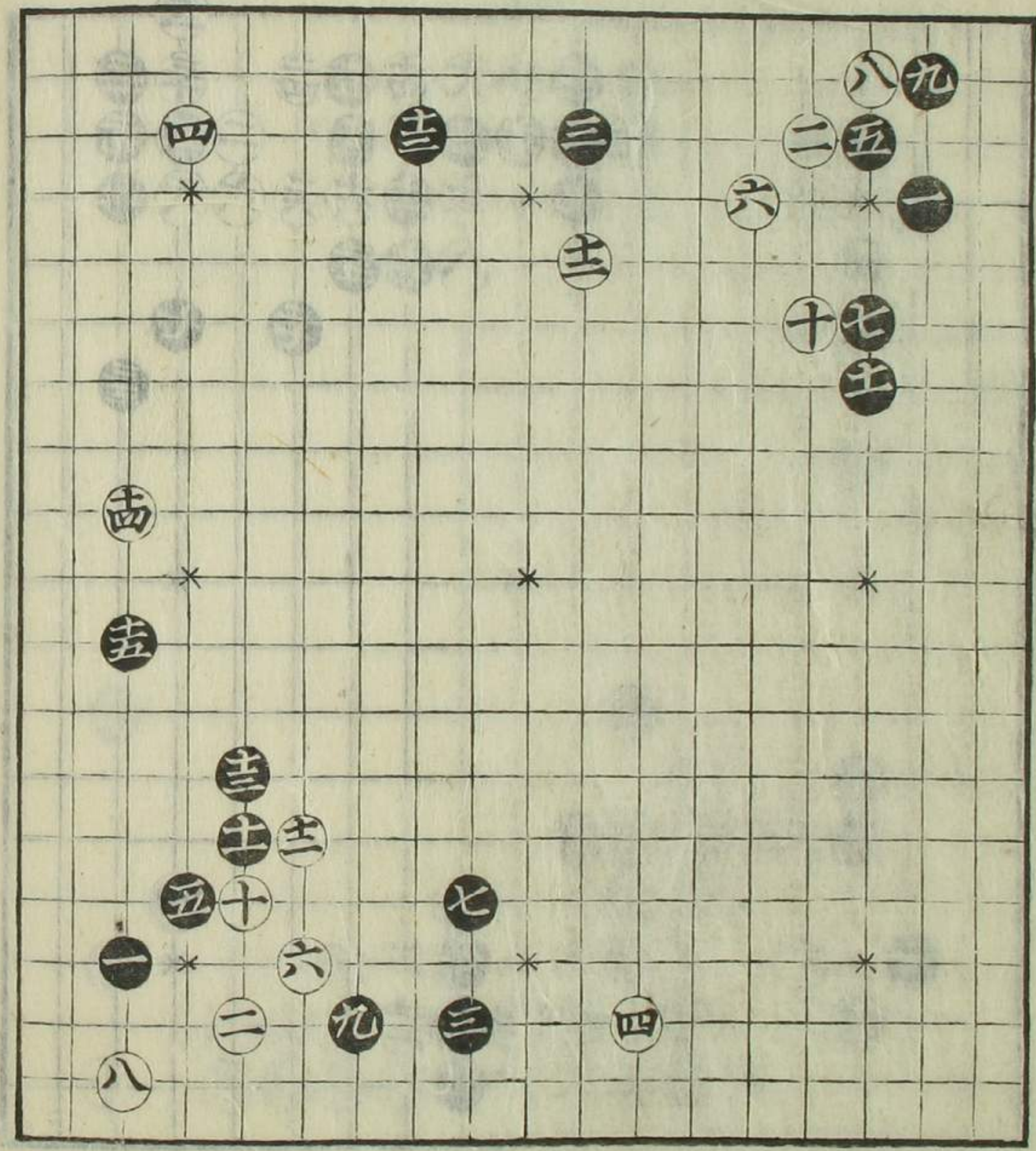
黑先



黑先

三間夾之圖

黒先

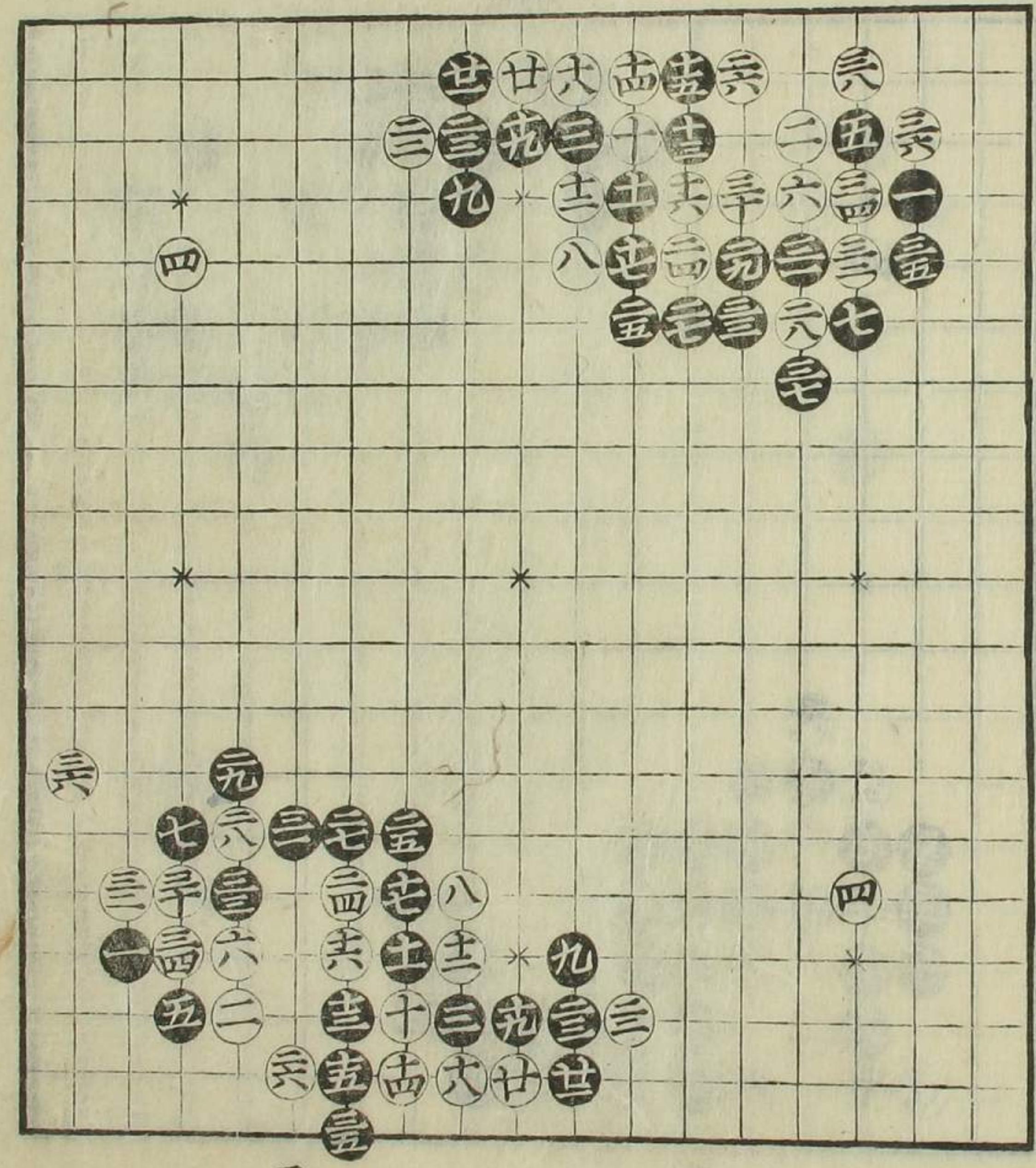


黒先

二九の手損あり

黒先

三間夾之圖

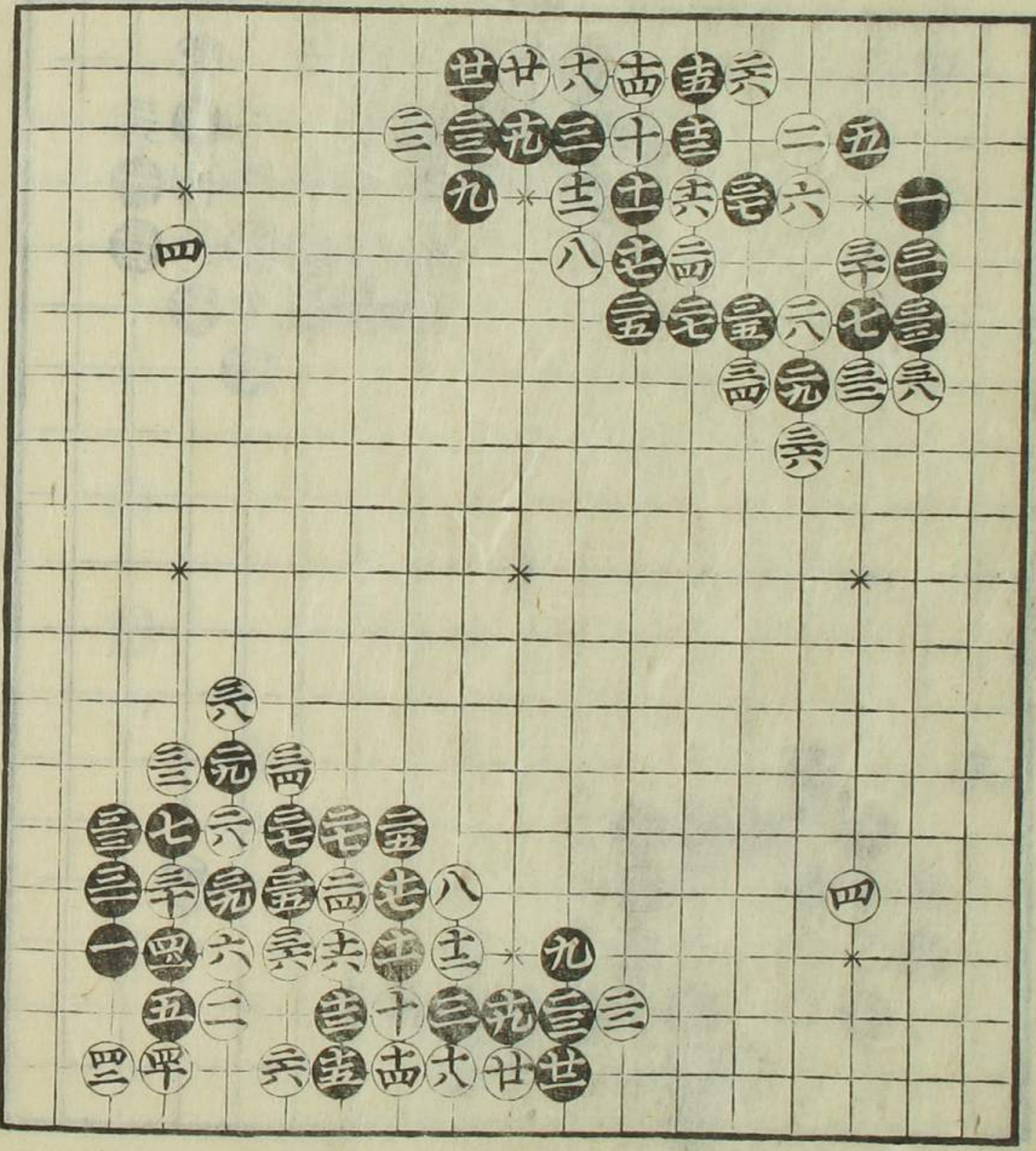


黒先

二九の手大は換
ちり

黒先

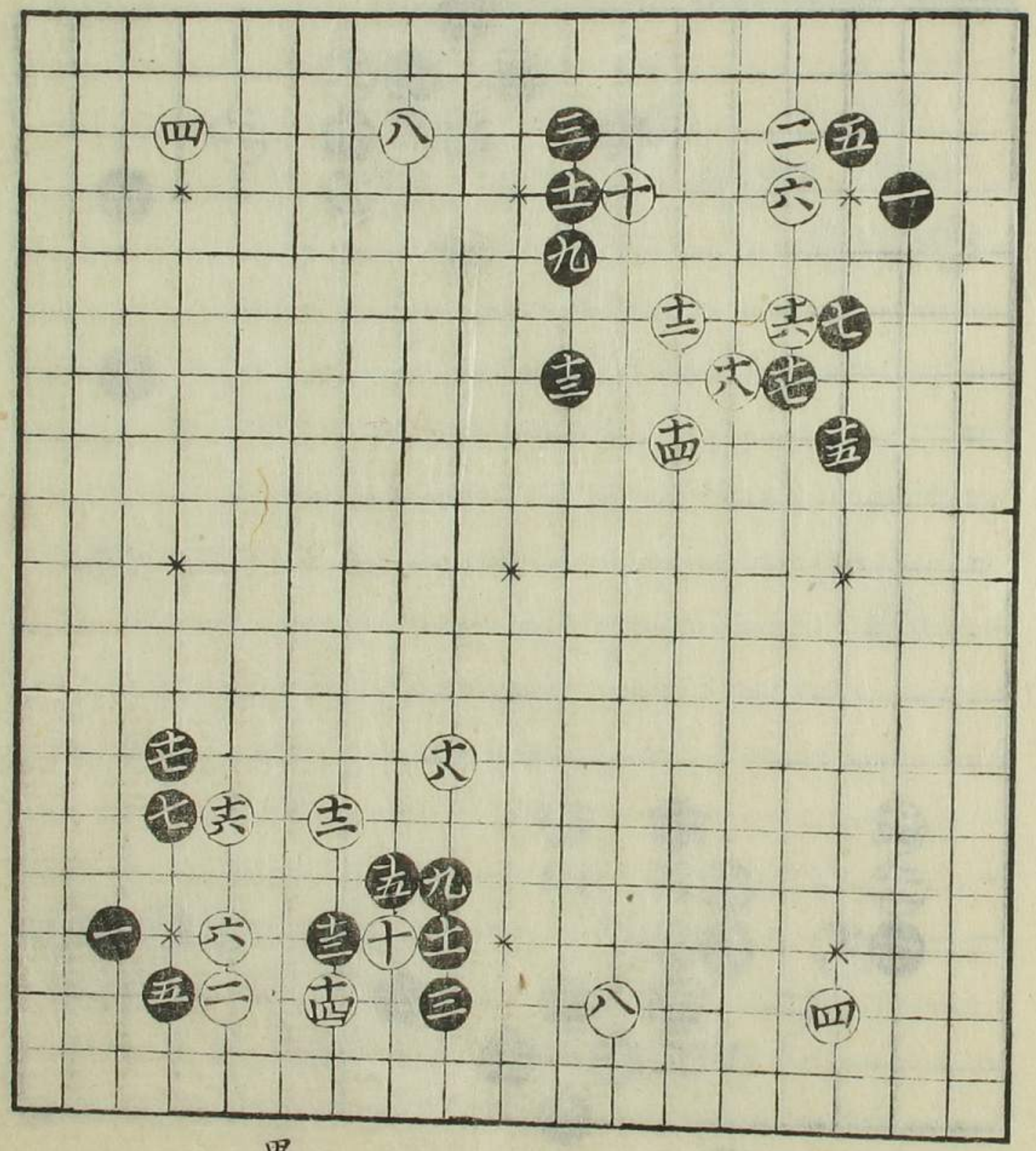
三間夾之圖



黒損形
黒先

黒先

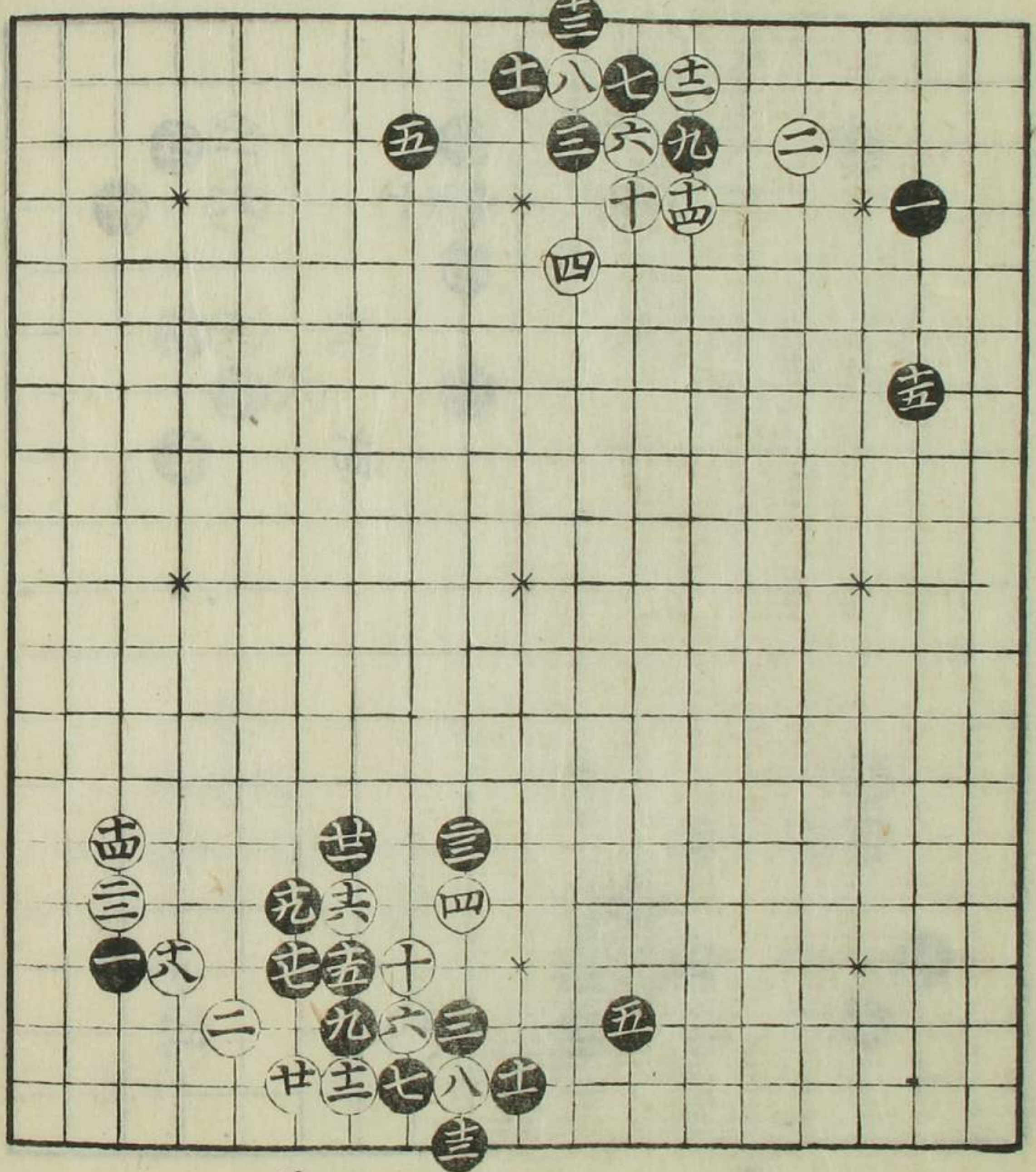
三間夾之圖



黒先

三間夾之圖

黒先



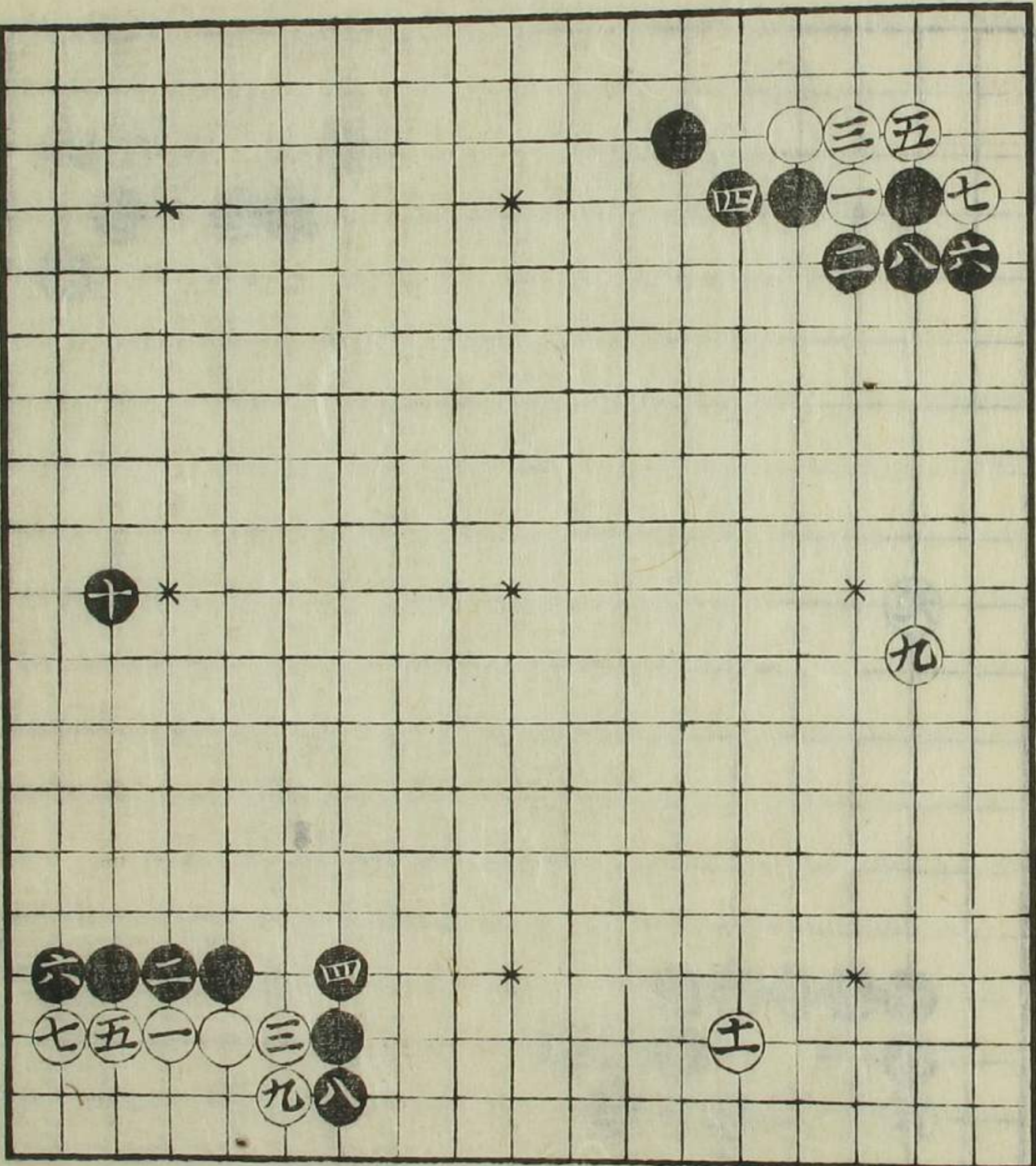
黒先

常に出る形勢あり

白先

テヌキ 手抜之圖

一手古流あり



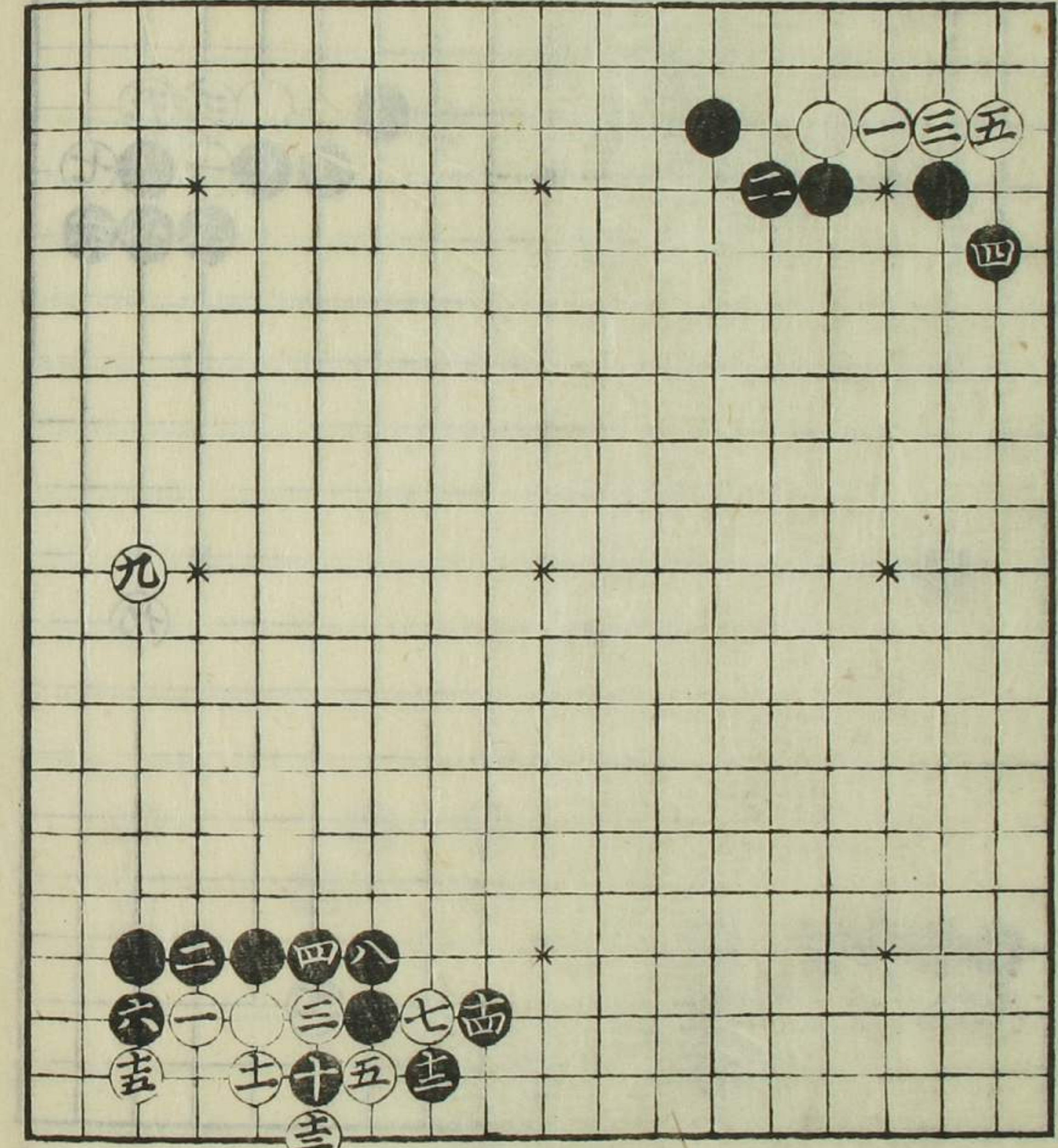
白先

四の子より
かす

白先

手拔之圖

九と手と抜
事熟あり

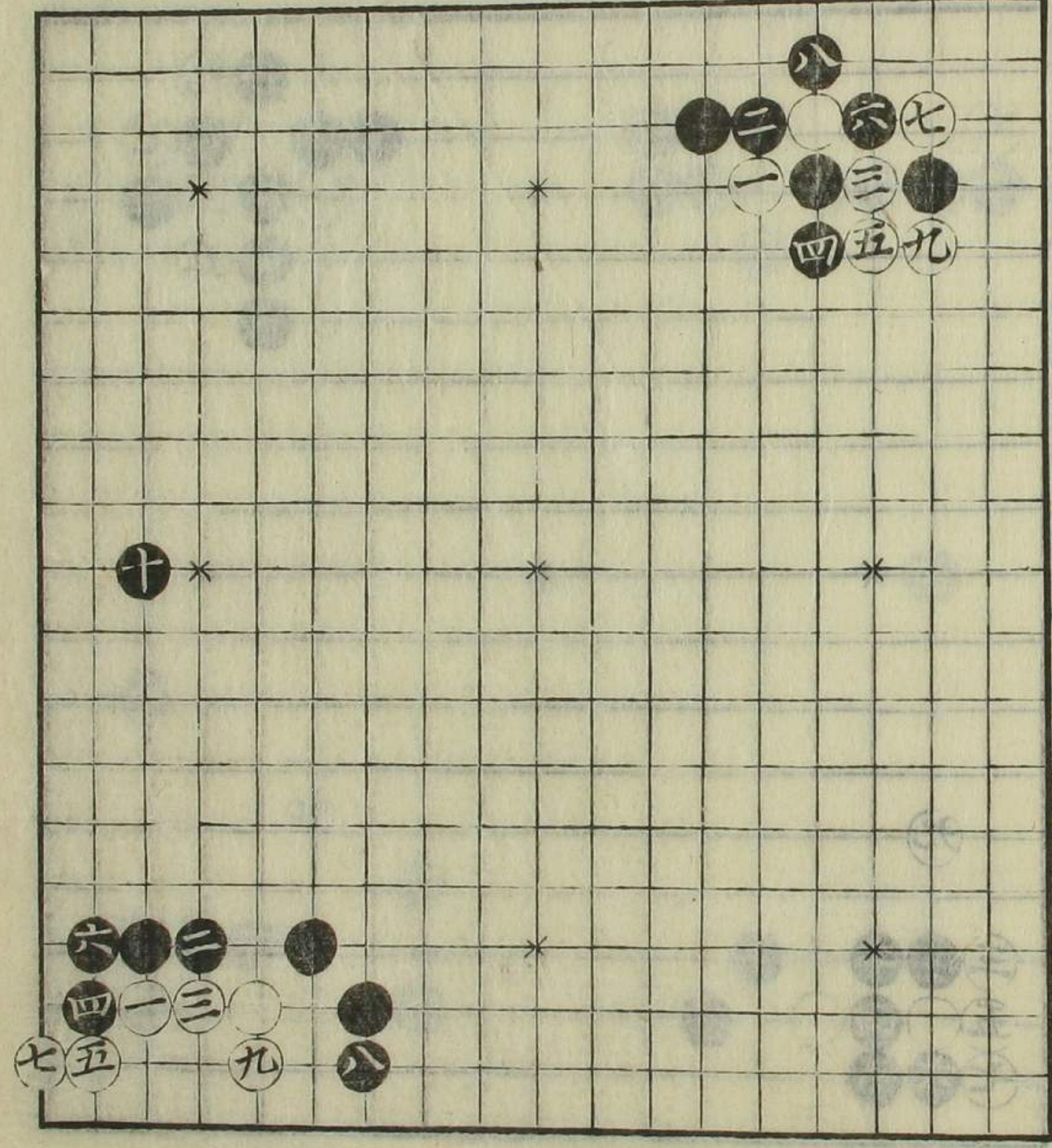


白先

白の方より
かす

白先

手拔之圖

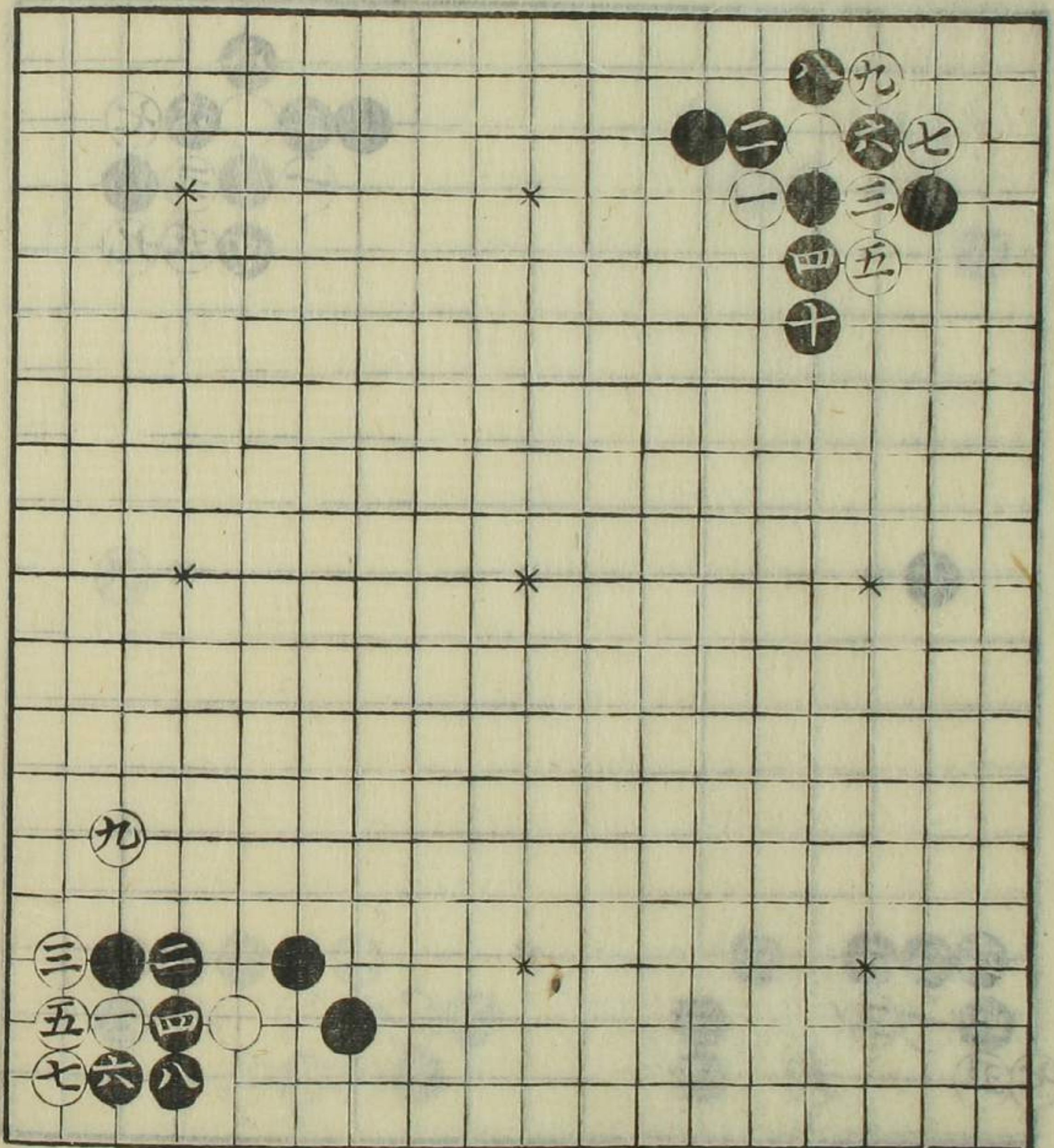


白先

九の子あり

白先

手拔之圖

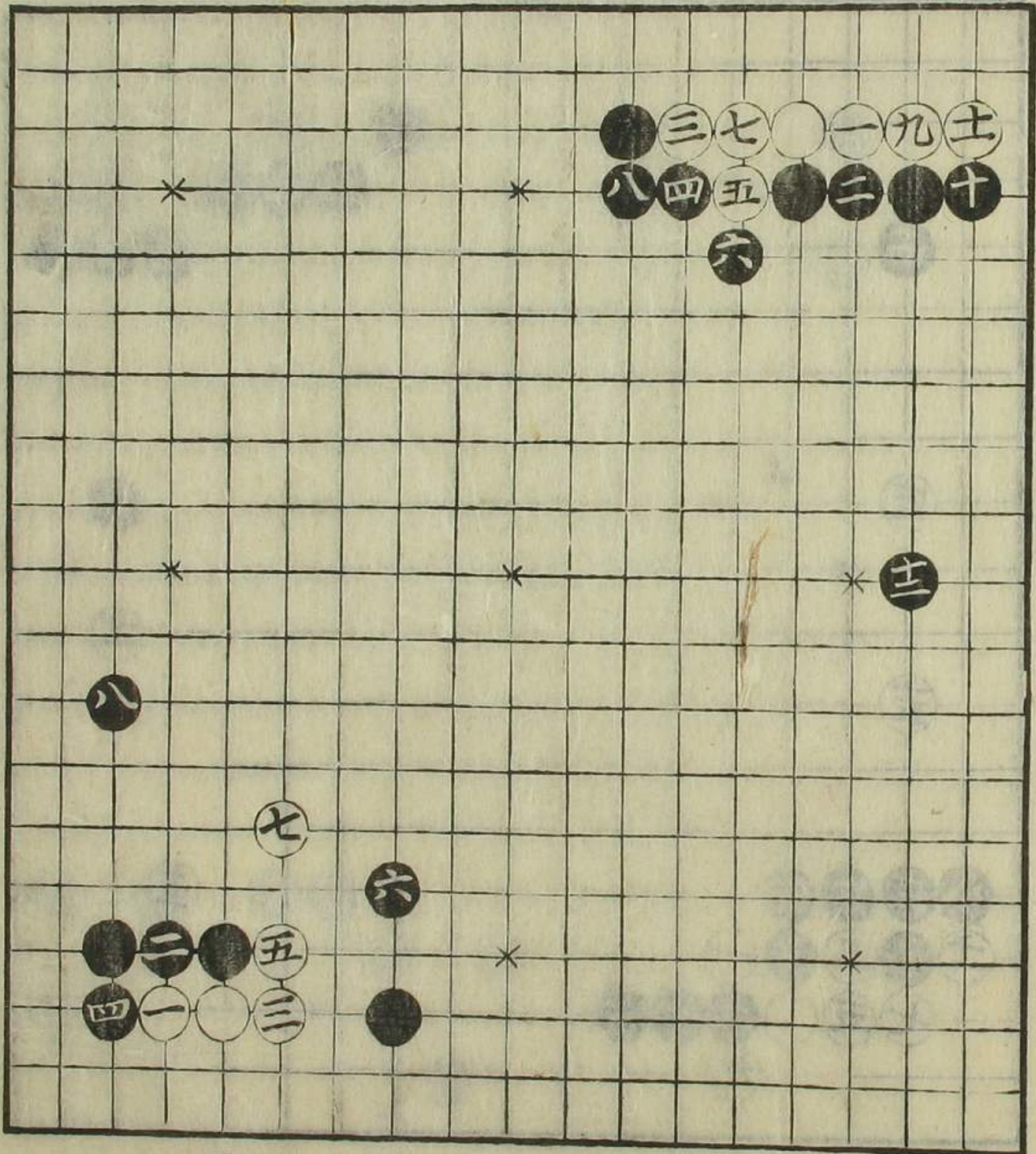


此隅常台損
ありまやま
一ノ道策
の圍棋よ
きり
白先

此隅常道碩
筆哲好く是を
うらまひ

白先

手拔之圖

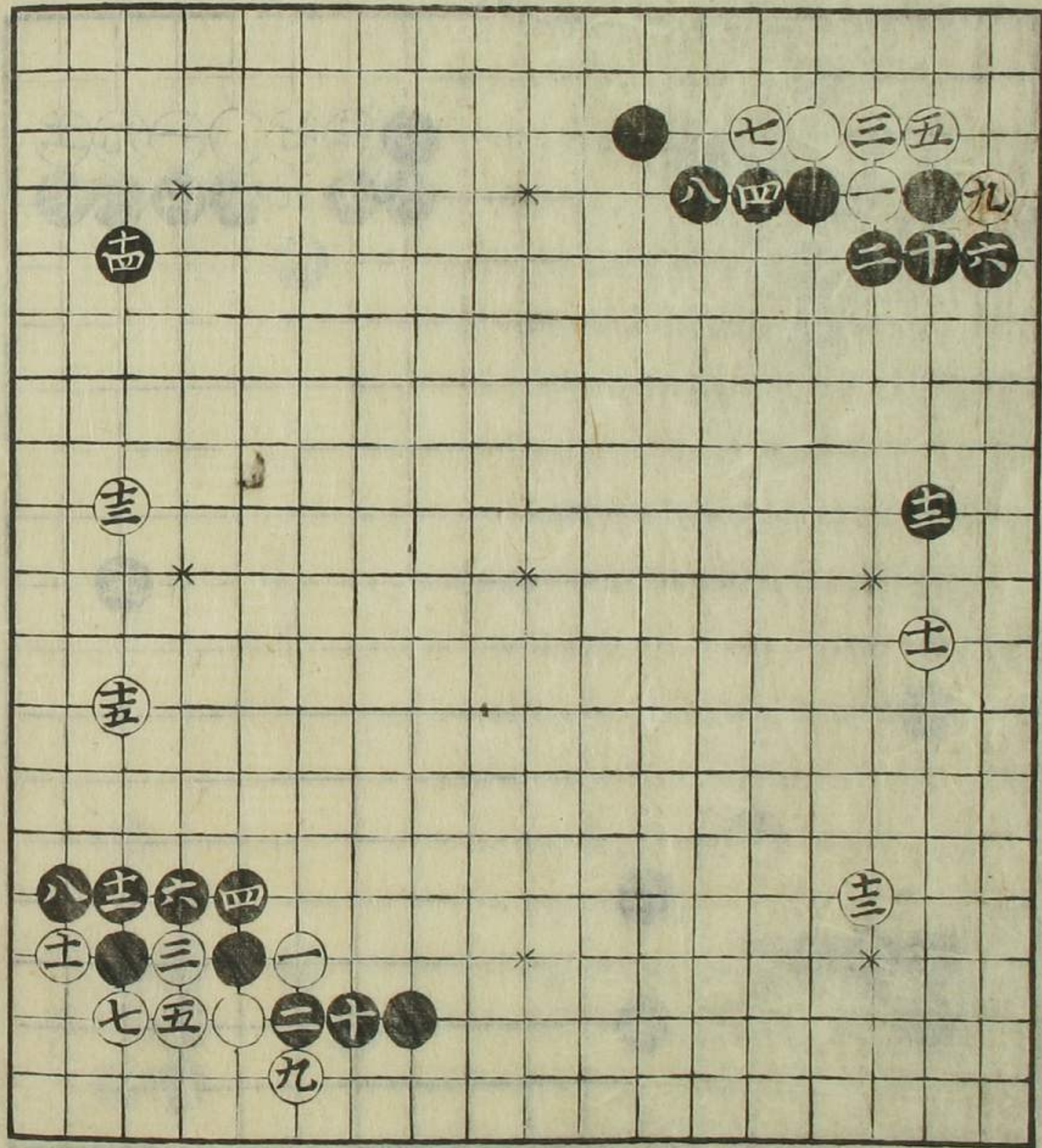


白先
三の手近世少
あり大損や

常用の形多し

白先

手拔之圖



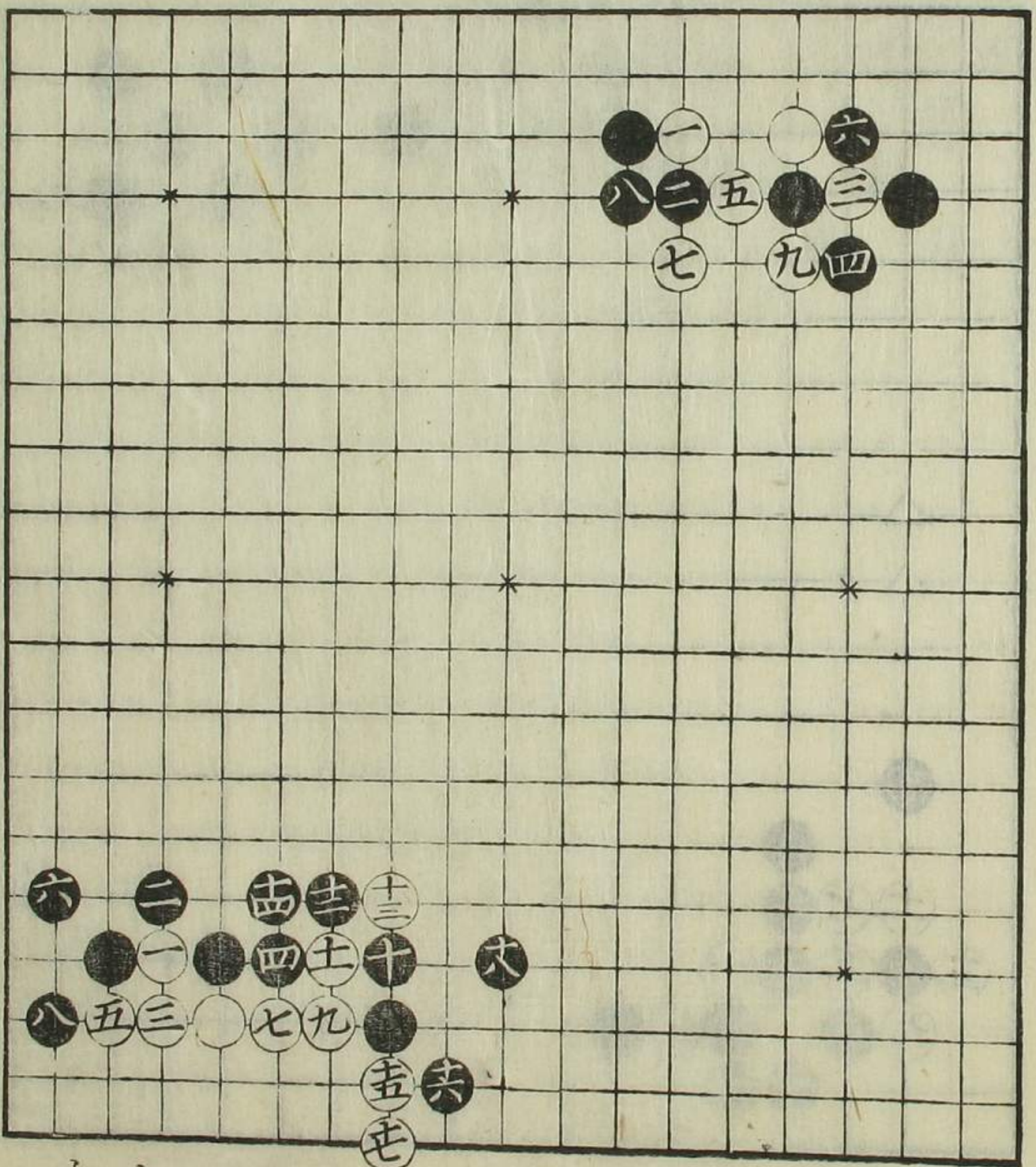
白先

十ツク

此隅道悦と杉村の圍基に出たり
白の方損あり

白先

手拔之圖

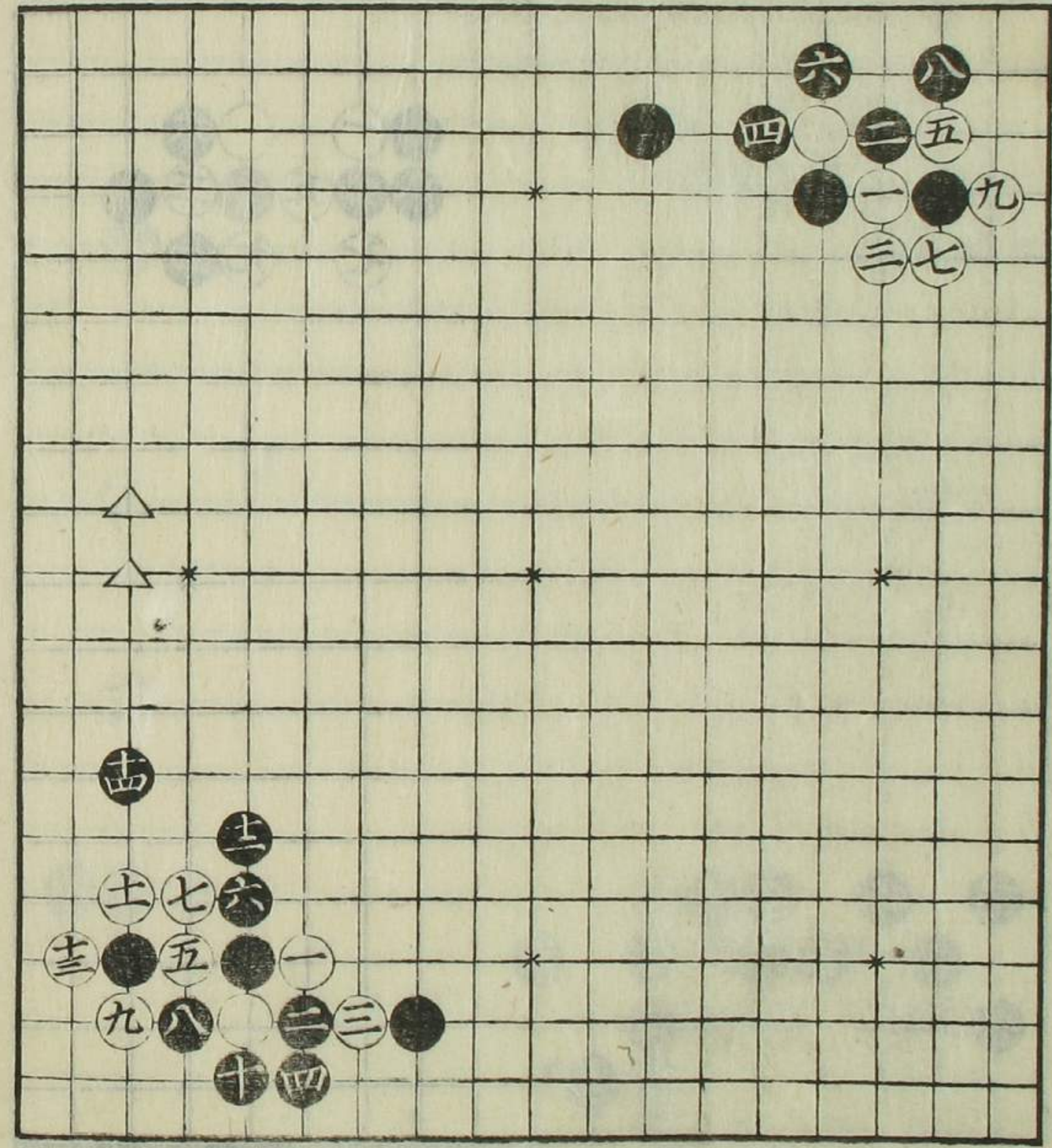


白先

八の手所より
するなり

此隅稀打
人可れとも多く
ハ黒の方損なり

白先

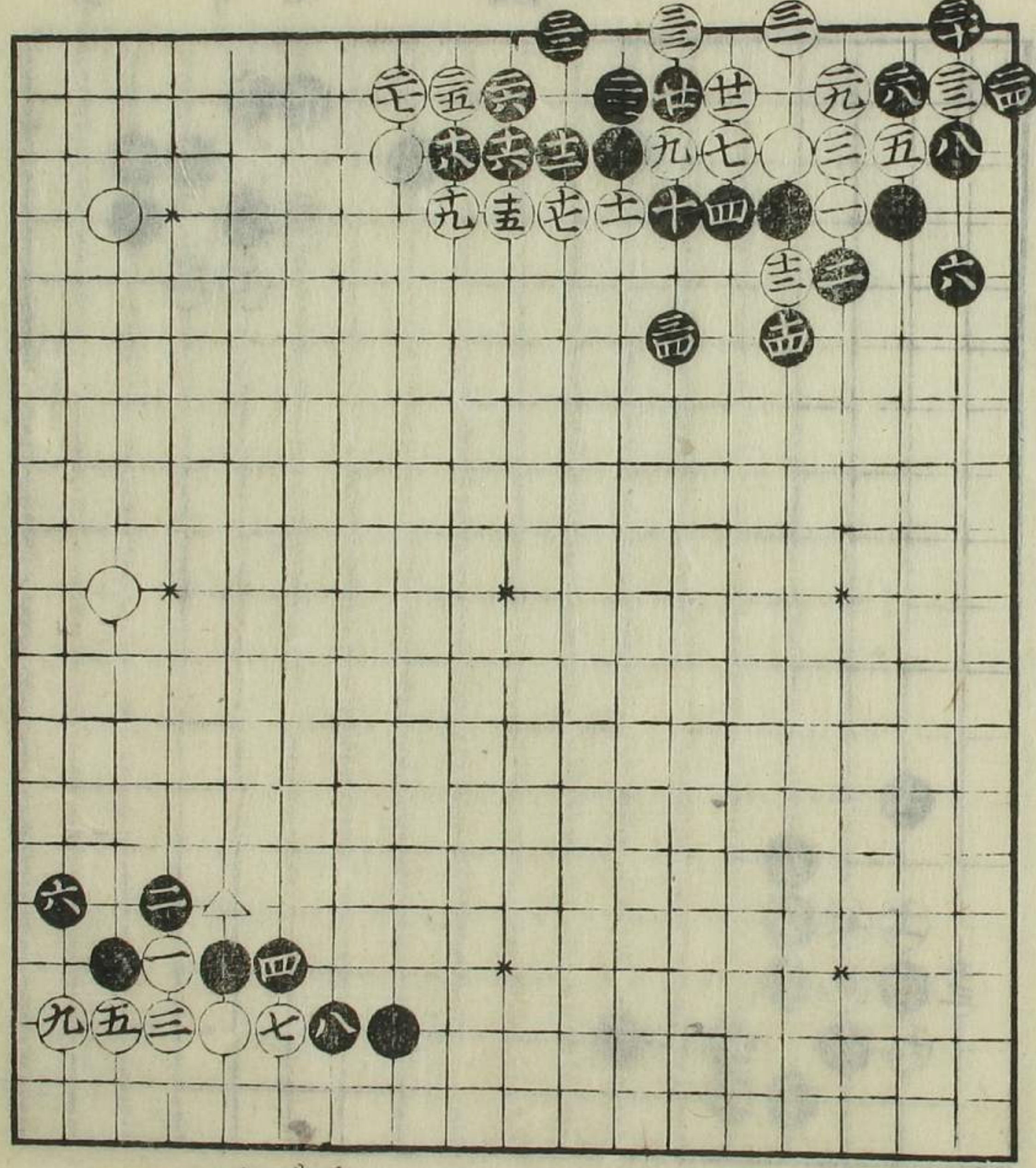


白先
△此印二箇の内
は黒石あるや
ハ黒の方損なり

此隅算却替齊
の棋に出しなり

白先

手拔之圖



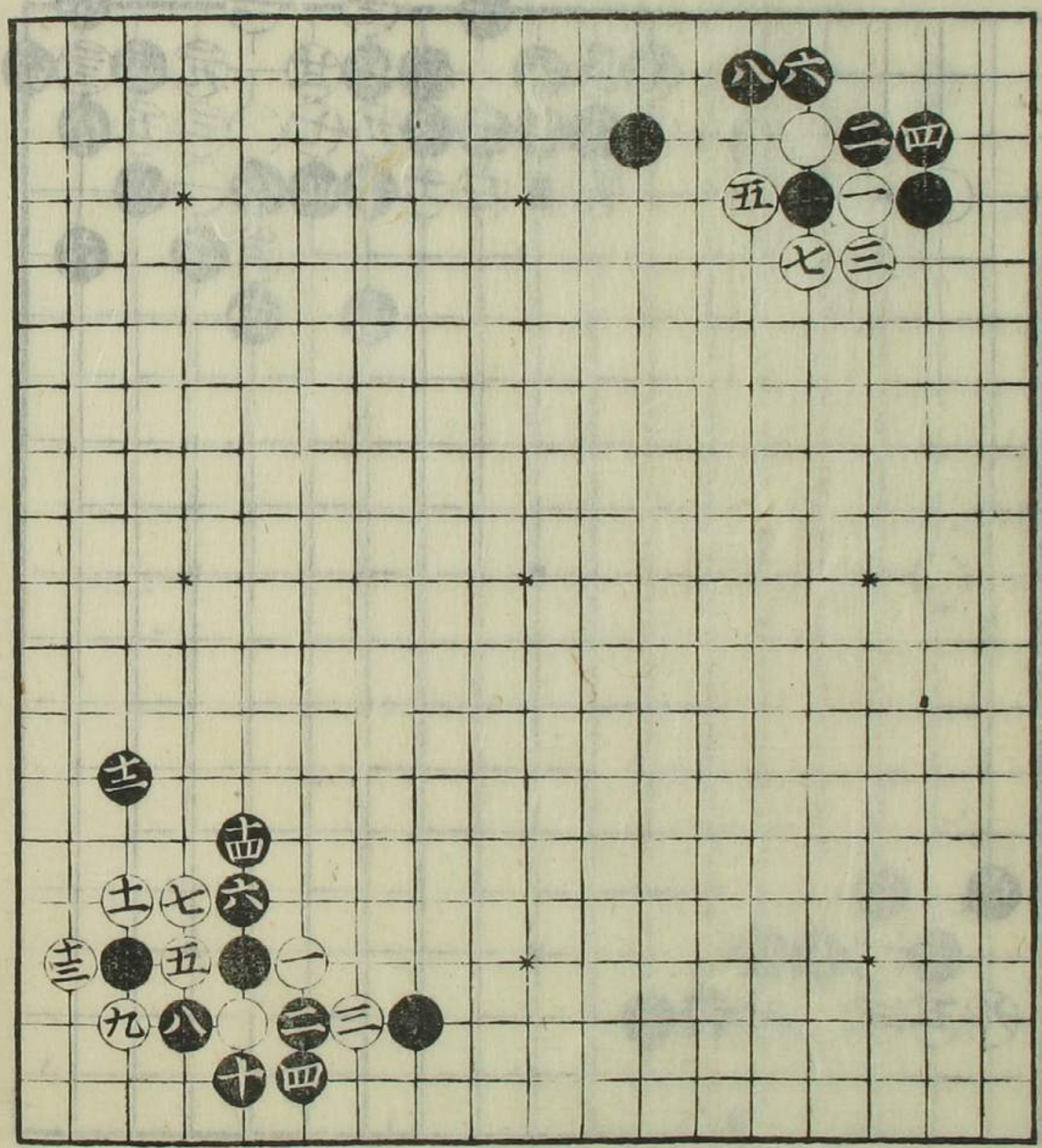
ハの手ある一△
此印の兩はまきり
ある故なり
白先

此隅本碩仙角の
碁に出きり

二の手大指かり

白先

手拔之圖

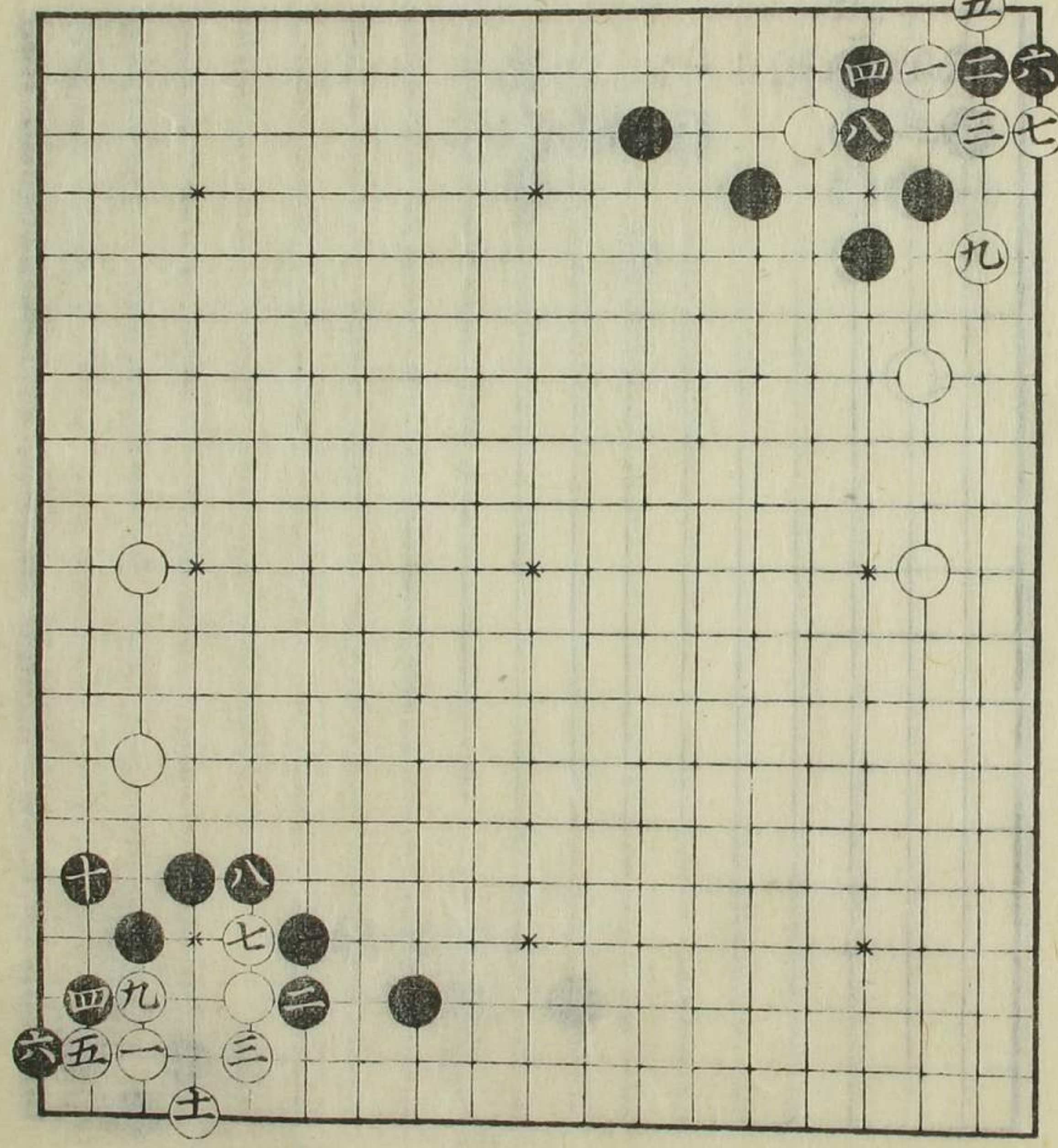


白先

此隅常出る
形あり

白先

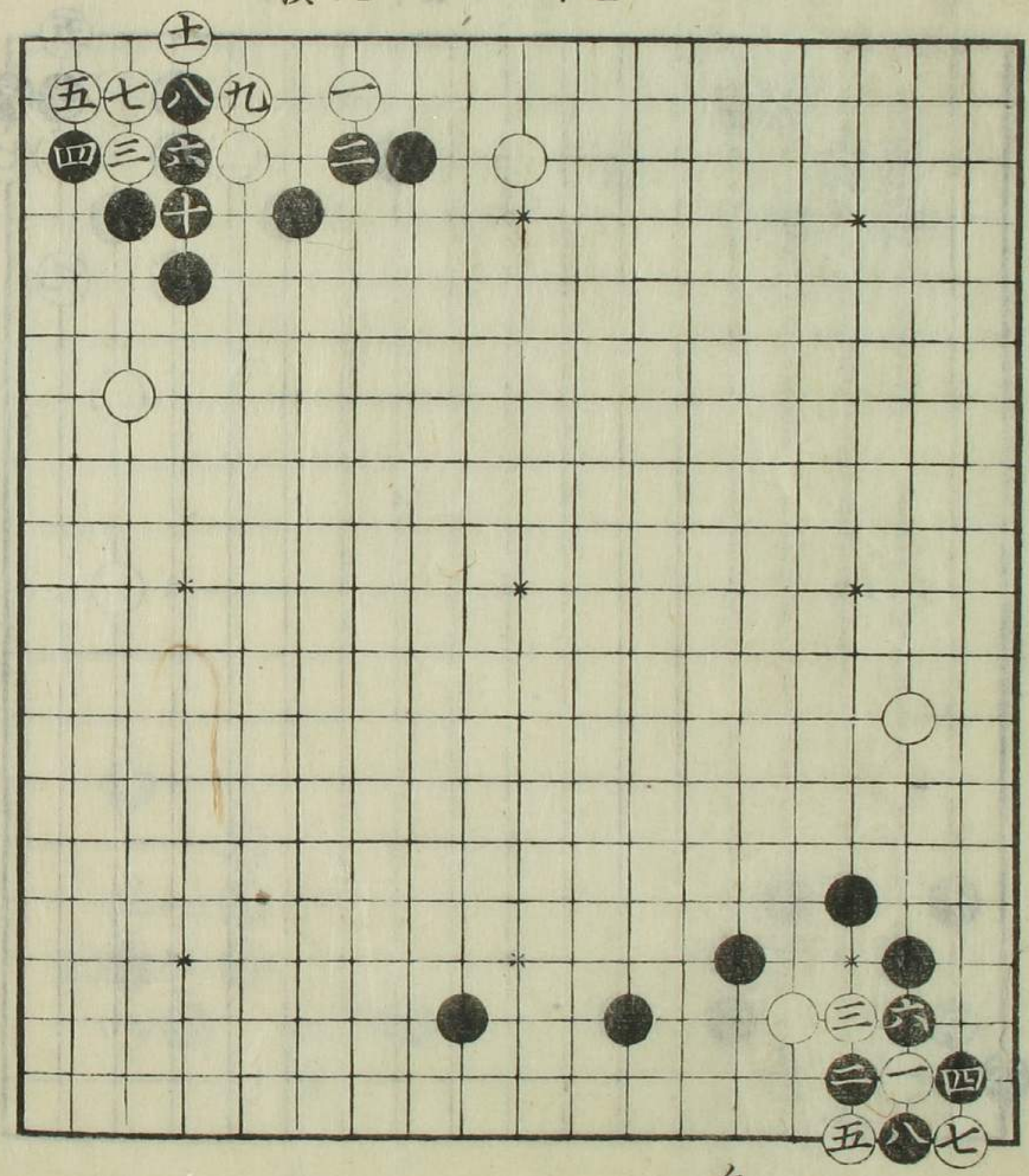
分シカヘシテヌキ
夾返手拔
之圖



白先

夾返手拔之圖

道節智哲の圍棋
と出きり
白先

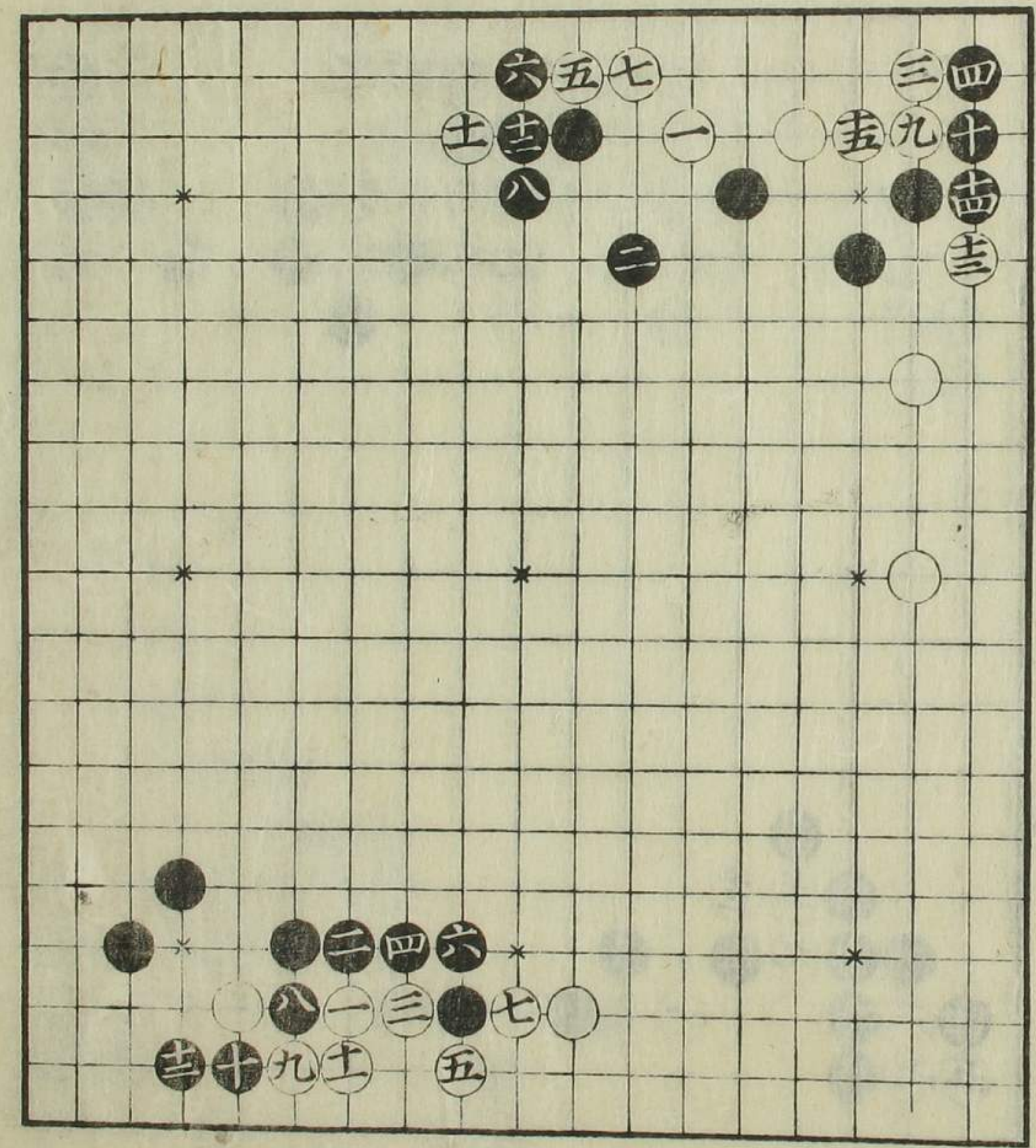


白先

常用の定石也

白先

三間夾手拔の圖



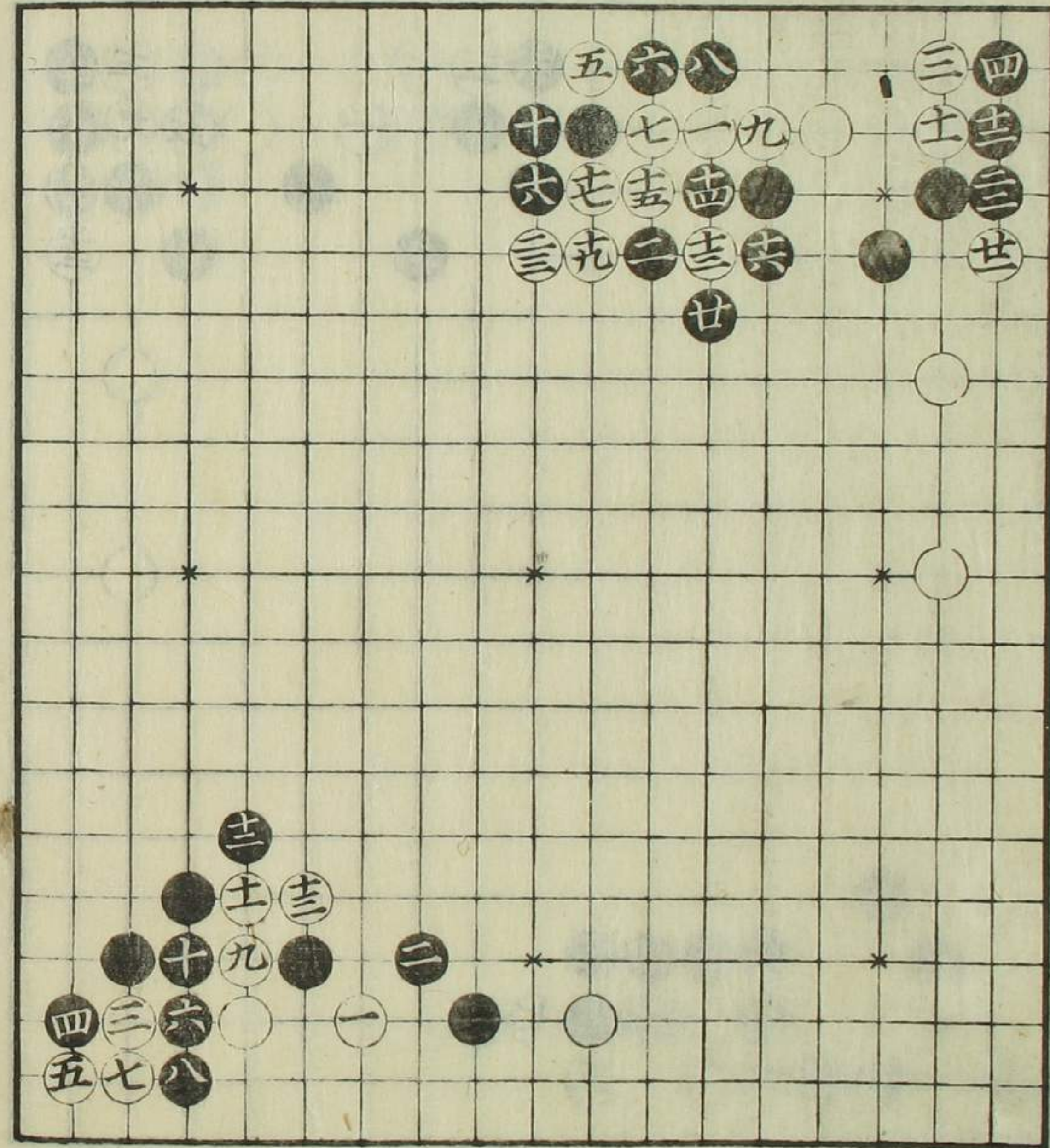
白先

二の手悪と云ふ

黒の方大損也
六此手ありき
故あり

白先

三間夾手
拔之圖

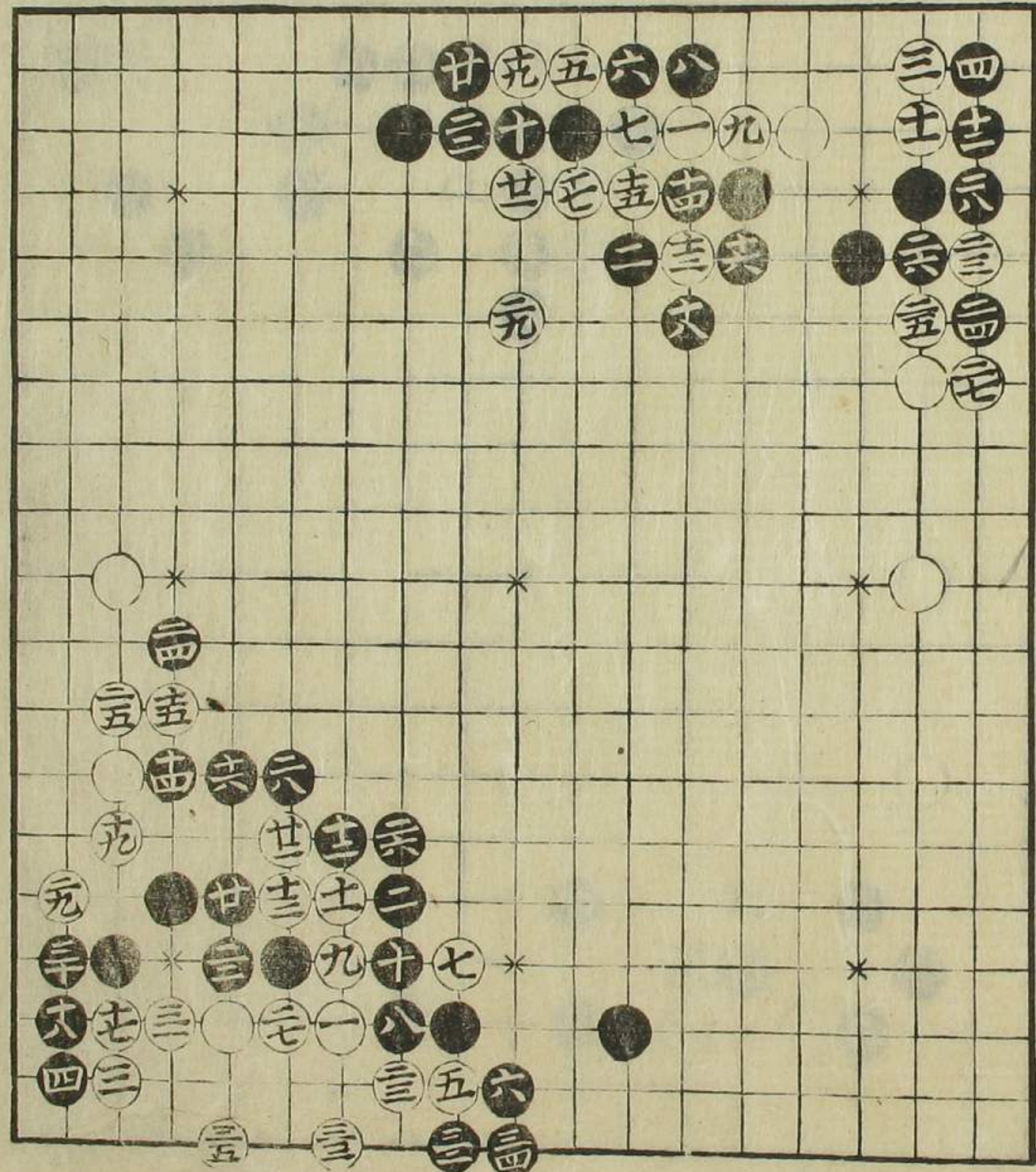


如是手
あり
白先

黒大損あり

白先

三間夾手
拔之圖



白先
此隅昔一客元
門八の圖
出ぞり

